

# PC98-

# PC98-NX >U-X MateNX

(Windows NT 4.0インストールモデル)

# <mark>活用ガイド</mark> ハードウェア編

本体の構成各部

システム設定

SCSI設定

### 本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている 場合があります。また、 印のマニュアルは、省スペース型をご利用の場合、電 子化マニュアルをご覧になれます。詳しくばばじめにお読みください』6.マニュ アルの使用方法」でご確認ください。 添付品の確認、本機の接続、Windows NT 4.0のセットアップ ➡『はじめにお読みください』 本機を安全に使うための情報 ➡ 『安全にお使いいただくために』 Windows NT 4.0の基礎知識、基本的な操作方法 → Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』 このマニュアルです 本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定) →『活用ガイド ハードウェア編』 MA46H/Sのシステム設定(BIOS設定) →『本機をお使いの方へ』 本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他の OS のセットアップ →『活用ガイド ソフトウェア編』 トラブル解決方法 →『活用ガイド ソフトウェア編』 再セットアップ方法 ➡『活用ガイド 再セットアップ編』 本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明 ➡『ハードウェア拡張ガイド』 ATコマンドについて(FAXモデムボード搭載モデルの場合) →『ATコマンド(電子化マニュアル) ディスプレイの利用方法 → 液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添付されてい ます。ご使用のモデルにより異なります。 選択アプリケーション ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア の利用方法 → Office 2000 Personal、Office 2000 Professional、一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000があり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルに よって異なります。 ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報の紹介 →『メンテナンス&サポートのご案内』 パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網の紹介 →『NEC PC あんしんサポートガイド』 - Microsoft関連製品の情報について -次のwebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技 術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍 やトレーニングキットなどが紹介されています。

やトレーニングキットなどが紹介されています。 http://www.microsoft.com/japan/info/press/



このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウな ど、Windows NT の基本操作に必要な用語とその意味を 理解していること、また、それらを操作するためのマウス の基本的な動作が一通りでき、Windows NTもしくは添付 のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、 解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれ ています。

もし、あなたがコンピュータにはじめて触れるのであ れば、上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験し てから、このマニュアルをご利用になることをおすすめ します。

この活用ガイドは、以下の機種について書いてあります。

PC98-NX シリーズ Mate NX

MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C

MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L

MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/S MA60J/M、MA50J/M

(Windows NT 4.0インストールモデル)

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様 が選択できるようになっているため、各モデルの仕様に あわせてお読みください。

仕様についての詳細は、「PART4 付録」をご覧ください。

1999年 10月 初版

2000年1月 二版

#### このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



▲ 注意 人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ 発生が想定されることを示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左記の記号の場合は、感電の可能性が想定されることを示します。感電注意の他に、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれのマークとともに記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



このマニュアルでは、本体の型ごとの説明をわかりやすくするために、次の記号を使っていま す。



このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NX シリーズ Mate NX MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C MA46H/Z、MA46H/L MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/S MA60J/M、MA50J/M (Windows NT 4.0インストールモデル) * 本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかりま す。型番の調べ方・読み方については、『はじめにお読みく ださい』をご覧ください。
本体	<b>ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない、</b> MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C MA46H/Z、MA46H/L MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/S MA60J/M、MA50J/M <b>を指します。</b>
省スペース型	<b>次の機種を指します。</b> MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、 MA46H/L
デスクトップ型	<b>次の機種を指します。</b> MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/S
ミニタワー型	<b>次の機種を指します。</b> MA60J/M、MA50J/M
NetPC <b>モデル</b>	フロッピーディスクドライブおよびCD-ROMドライブがない状 態でご購入いただいたモデルです。次の機種を指します。 MA46H/Z
ディスプレイセット	CRTディスプレイまたは液晶ディスプレイとセットでご購入い
モデル	ただいたモデルです。
アプリケーションなし	選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェ
モデル	ア)がない状態でご購入いただいたモデルです。
Office 2000	Office 2000 Personalがインストールされた状態でご購入いただ
Personal <b>モデル</b>	いたモデルです。
Office 2000	Office 2000 Professionalがインストールされた状態でご購入い
Professional <b>モデル</b>	ただいたモデルです。
ー太郎10・花子10 <b>パック</b>	ー太郎10・花子10パックおよびロータス1-2-3 2000がインス
& 1-2-3 2000モデル	トールされた状態でご購入いただいたモデルです。
「スタート」ポタン	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニュー
「設定」	から「設定」を選択し、横に現れるサプメニューから「コント
「コントロールパネル」	ロールパネル」を選択する操作を指します。

- 【 】 | 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
- 『 』 『 』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。

この	D.	マ:	ニュ	ア	ル	で使	用	ι	τ	L	١వ	ア	フ	٩IJ	J	ケー	シ	'=>	ソ	名な	:ど	C	)正式	名	称
----	----	----	----	---	---	----	---	---	---	---	----	---	---	-----	---	----	---	-----	---	----	----	---	-----	---	---

本文中の表記	正式名称
Windows NT、 Windows NT 4.0、 Windows NT Workstation 4.0	$Microsoft_{\circledast}$ Windows $NT_{\circledast}$ Workstation Operating System Version 4.0
Windows 98	Microsoft⊚ Windows⊚ 98 Second Edition Operating System <b>日本語版および</b> Microsoft⊚ Windows⊚ 98 operating system <b>日本語版</b>
Office 2000 Personal	$Microsoft_{\odot}$ Office 2000 Personal (Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook_ $_{\odot}$ 2000, Microsoft/Shogakukan Bookshelf_ $_{\odot}$ Basic )
Office 2000 Professional	Microsoft <sub>®</sub> Office 2000 Professional( Microsoft <sub>®</sub> Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook <sub>®</sub> 2000, Microsoft PowerPoint <sub>®</sub> 2000, Microsoft Access 2000, Microsoft Publisher 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf <sub>®</sub> Basic )
ー太郎10・花子10パック	<b>一太郎</b> 10・花子10 <b>パック( 一太郎</b> 10、花子10、三四郎9、 ATOK13 <b>)</b>
1-2-3 2000	<b>ロータス</b> 1-2-3 2000
スーパーディスク	SuperDisk™
Zip	Zip <sup>TM</sup>

このマニュアルで使用しているイラストおよび画面

このマニュアルに記載のイラストおよび画面は、実際のものとは異なることがあります。

#### 技術基準等適合認定について

この装置は、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく、端末機器の設計についての認証を受けています。申請回線と認証番号は次の通りです。

認証機器名:SF-DJP-ST 認証番号

**電話回線:**A99-0794JP

導入にあたっては、「MDMNDJP.INF」または「MDMDJPNT.INF」のファイルを含む専用ドライバを必ず 使用してください。使用されない場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますので、十分にご注意 ください。

#### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置で す。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に 近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして ください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

#### 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。 (社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイトラインに基づく表示)

レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS+C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブ、またはCD-RWドライブが搭載されています。

#### 高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

#### ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気 付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへ ご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずい かなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備 や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図され ておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが 生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows NT 4.0および本機に添付のCD-ROM、 フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵 害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft, MS, MS-DOS, Windows, Windows NT, Active Movie, NetMeeting, Outlook, PowerPoint, Bookshelf, Windows MediaおよびWindows、Windows NTのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国 における商標または登録商標です。

「一太郎」花子」ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎10・花子10パック」にかか る著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標 三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を 受けています。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録 商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995 YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標です。

Savage4は、S3社の商標です。

pcANYWHERE32、pcAnywhere は Symantec Corporation の米国における登録商標です。

Intel、Pentium、Celeron および LANDeskは、Intel Corporationの米国およびその他の国々における商標およ び登録商標です。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロ ジを使用しています。

SCSI SELECT™は、Adaptec. Inc. の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

K56flexは、Lucent TechnologiesとCONEXANT SYSTEMSの商標です。

SuperDisk、SuperDiskロゴば、米国イメーション社の商標です。

Iomega、Zipおよびそれらのロゴは、米国Iomega社の商標です。

Preboot Managerは、Phoenix Technologies Ltdの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1999, 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

#### 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本 国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスお よび技術サポート等は行っておりません。本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通 るの産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられま す。輸出に際しての許可の要可については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。 このマニュアルの構成・読み方

このマニュアルはPART1からPART4までの構成となっていますが、PART1から順 に読んでいく必要はありません。

『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、必要に応じてこのマニュアルを活用してください。

また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。 索引に載せてある用語は、目次、注意していたたきたい内容( ♥ チェック? )、用語 ( ● ● ? )、メモ( 」王 )を検索するのに都合の良い言葉を選んでいます。

目次

索引

PART1 本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明しています。

PART2 システム設定

本機を使用環境にあわせて設定するための、BIOSセットアップメニューの使い方を 説明しています。

別売の機器を利用するときにも、状況に応じて設定を変更できます。

MA46H/Sをご利用の場合は、『本機をお使いの方へ』をご覧ください。

PART3 SCSI 設定

Ultra SCSI インタフェースボード(Wide 対応)を搭載しているモデルのユーティリティ SCSI SELECT」のSCSI の設定方法について説明しています。

PART4 付録

本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

はじめに	3
このマニュアルの表記について	4
ご注意	8
このマニュアルの構成・読み方	9
目次(このページです)	
索引	14
大体の進む名刻	10
<b>本体の構成合</b> 品	19
各部の名称	20
本体正面	20
本体背面	26
電源	
電源の状態と操作方法	
電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)	
サスペンド/レジューム(電源の手動操作)	
電源の目動操作	
添付されるキーホードの種類	
USB109キーホードとPS/2 109キーホード	
アノリグーションキーとWindowsキー	
ロ本語八月	
マリスについて	
ノイ スノレイ	
ベホモビる肝原皮とな小已 ディフプレイの公室力爆能	
ううスノレイの自宅力成能	
コロッシュ インレーモビン	
使用上の注音	
ドライブ番号の割り当て	
エラーチェックの操作手順	

# PART

目 次

フロッピーディスクドライブ	59
使用できるフロッピーディスク	59
フロッピーディスクの内容の保護	59
スーパーディスクドライブ	60
使用できるディスク	60
ディスク内容の保護	61
ディスクのフォーマット	61
非常時のディスクの取り出し	62
Zip ドライブ	63
使用できるディスクについて	63
ディスク内容の保護	64
ディスクのフォーマット	64
非常時のディスクの取り出し	65
CD-ROM <b>ドライブ</b>	66
<b>再生できる</b> CD <b>の種類</b>	66
CD-ROM <b>のセット(省スペース型の場合)</b>	67
非常時のディスクの取り出し	68
CD-RW <b>ドライブ</b>	69
<b>再生できる</b> CD <b>の種類</b>	69
CD-R <b>および</b> CD-RW <b>への書き込みおよび</b> CD-RW <b>のフォーマット</b>	69
非常時のディスクの取り出し	70
サウンド機能	71
音量の調節	71
LAN <b>( ローカルエリアネットワーク )ボード</b>	72
LAN <b>( ローカルエリアネットワーク )への接続</b>	72
LAN <b>の設定</b>	73
FAX <b>モデムボード</b>	74
FAX <b>モデムボードについて</b>	74
FAX <b>モデムボードを使用するときの注意</b>	74
Mate NXセキュリティ/マネジメント機能	77
セキュリティ/マネジメント機能の概要	77
セキュリティ機能	77
運用管理機能	80

	障害管理機能	
	サーバ管理機能	
PART	システム設定	85
	BIOS セットアップメニューについて	
	BIOS <b>セットアップメニューの起動とメイン画面</b>	
	日本語のメニューを表示する	87
	BIOS <b>セットアップメニューの終了</b>	
	工場出荷時の設定値に戻す	
	メインの設定	89
	メインの設定	
	詳細の設定	
	詳細の設定	
	セキュリティの設定	97
	セキュリティの設定	
	パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合	)
	省電力の設定	100
	起動の設定	
	電源の設定	
	起動順位の設定	105
PART	SCSI <b>設定</b>	107
	SCSI SELECTについて	108
2	SCSI SELECT <b>での設定が必要な場合</b>	108
J	SCSI SELECTを使用するときの注意	108
	SCSI SELECT <b>での設定項目</b>	
	SCSI SELECT <b>の設定項目一覧と初期設定</b>	109
	SCSI SELECTの画面の説明	110
	SCSI SELECTの構造	111
	各画面の説明	112



# PART

付録	ŧ	133
機能一覧		
型番	の読み方	134
仕椁	一覧	134
割り込みし	レベル・DMAチャネル	
本機のお	手入れ	149
マウ	スのクリーニング	150
スー	・パーディスクドライブのクリーニング	151



ページ太字:説明や作業のあるページを指します。 ページ細字:図や文章に出てくるページを指します。

### 英数字

100BASE-TX 72
100BASE-TX/10BASE-T <b>用コネクタ</b> 29
100Mbps <b>ネットワーク接続ランプ</b> 29
109 <b>キーボード</b> 41
10BASE-T 72
10Mbps <b>ネットワーク接続ランプ</b> 29
1G <b>バイト</b> 56
1M <b>バイト</b> 56
3.5インチフロッピーディスクドライブ 22
98 <b>記列キーボード</b> 45
AC <b>電源コネクタ</b> 28
AC <b>投入</b> 104
BIOS LOCK 77
BIOSセットアップメニュー 86
BIOS <b>リビジョン</b> 91
Caps Lock ランプ 41, 43
CD-ROM
CD-ROM <b>アクセスランプ</b> 24
CD-ROM ドライブ 23, 66
CD-RW ドライブ 23, 69
DAT <b>ユニット</b> 121
DFP 54
DMA <b>チャネル</b> 148

DMI <b>イベントログ</b>	96
DPMS	53
ECC <b>機能</b>	83
FAT16	63
FAX <b>機能</b>	147
FAX <b>モデムボード</b>	74
FAX <b>モデムボード機能仕様</b> …	147
I/O <b>ロック</b>	79
IDE <b>デバイス</b>	102
IEC825	7
IRQ	92
ITU-T	76
JIS	7
K56flex	76
LAN	72
LANDesk(R)Service	96
LAN <b>の設定</b>	73
LAN <b>ボード</b>	. 28, 72
LAN <b>ボード機能仕様</b>	146
NetPC	5
Num Lock <b>ランプ</b>	. 41, 43
N <b>キーロールオーバ</b>	40
OFF state Alert II	82
PC-11-1988	7
PC-9800	. 30, 60

PC-M-SCUWS2	108
PCI <b>スロット</b>	30
PCI <b>設定</b>	92
PCI <b>パス監視</b>	103
PICROBO	84
PK-CA101	30
PK-CA102	30
PK-SM001	78
PK-SM002	78
PK-SM003	78
PME	99
Preboot Management 82,	96
PS/2 <b>接続キーボードコネクタ</b>	31
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b>	31
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b> RS-232C <b>変換アダプタ</b>	31 30
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b> RS-232C <b>変換アダプタ</b> Scroll Lock <b>ランプ</b> 41,	31 30 43
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b> RS-232C <b>変換アダプタ</b> Scroll Lock <b>ランプ</b> 41, SCSI SELECT 108, 1	31 30 43 09
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b> RS-232C <b>変換アダプタ</b> Scroll Lock <b>ランプ</b> 41, SCSI SELECT 108, 1 Ultra SCSI	31 30 43 09
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b> RS-232C <b>変換アダプタ</b> Scroll Lock <b>ランプ</b> 41, SCSI SELECT 108, 1 Ultra SCSI Ultra SCSI インタフェースボード	31 30 43 09 108
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b> RS-232C <b>変換アダプタ</b> Scroll Lock <b>ランプ</b> 41, SCSI SELECT 108, 1 Ultra SCSI Ultra SCSI <b>インタフェースボード</b> (Wide <b>対応</b> )	31 30 43 09 108
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b> RS-232C <b>変換アダプタ</b> Scroll Lockランプ	31 30 43 09 108 108 28
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b> RS-232C <b>変換アダプタ</b> Scroll Lockランプ	31 30 43 09 108 108 28 7
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b> RS-232C <b>変換アダプタ</b> Scroll Lockランプ	31 30 43 09 108 28 7 53
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b> RS-232C <b>変換アダプタ</b> Scroll Lockランプ	31 30 43 09 108 28 28 7 53 46

# ア行

アース端子	30
アナログRGBコネクタ	29
アプリケーションキー 41, 44,	46
イラスト	6

インサートキー	42,	44
ウイルス	84,	99
ウィンドウアクセラレータ		50
運用管理機能		80
液晶ディスプレイ		50
エスケープキー	41,	43
エラーチェック		58
エンターキー	42,	44
エンドキー	42,	44
エンドユーザ管理		80
オフ		53
オルトキー	41,	44
音量の調節		71

# カ行

カーソル移動キー	42,	44
解像度		50
<b>書き込み禁止</b> 59,	61,	64
拡張メモリ		91
カタカナひらがな/ローマ字キー …	42,	44
型番の読み方	···· <sup>·</sup>	134
カバーオープン		99
カバーセンサ		80
カバーをロック		79
画面		6
キーボード		40
キーボード機能		90
キーロールオーバ		40
<b>起動順位</b>	···· <sup>/</sup>	105
キャッシュメモリ		93

3
9
5
95
3
51
8
7
3
3
53

### サ行

サーバ管理	84
サウンド	95
サウンド機能	71
サスペンド	53
サスペンド状態	32
資源管理	83
<b>時刻指定</b> 1	02
自己診断	91
<b>システムスイッチ</b> 1	01
システムメモリ	91
<b>自動サスペンド</b> 1	01
<b>シフトキー</b> 41, 41,	43
シャットダウン	34
周辺機器設定	93
瞬時電圧低下	. 7
障害管理機能	82
状態監視	83

省電力	. 53,	100
<b>省電力機能</b>		53
初期化		92
シリアルコネクタ		30
<mark>スーパーディスクドライブ</mark>	. 22	, 60
スーパバイザパスワード		97
スキップセクタ		56
スクロールボタン		49
スクロールロックキー	. 41	, 43
スタビライザ		25
スタンバイ		53
スペースキー	. 42	, 44
スマートカード		78
セカンダリスレープ		90
セカンダリマスタ		90
セキュリティモード		98
ソフトウェアパワーオフ機能		84

# タ行

タイマ	39
タイムアウト	101
<b>タブキー</b> 41,	43
通風孔	30
データ通信機能	74
ディスクアクセスランプ	22
ディスクイジェクトボタン	22
ディスクトレイイジェクトボタン	25
<b>デリートキー</b> 42,	44
<b>電源</b>	104
電源スイッチ	22

電源ランプ	22
電波障害	7
電話回線用モジュラーコネクタ …	29
電話機用モジュラーコネクタ	29
盗難防止	30
ドライブ番号	57
取り外し可能なデバイス	105

# ナ行

内蔵スピーカボリューム	23
日本語入力	47
ニューメリックロックキー 42,	44
認証番号	7
ネットワーク起動	98
ネットワーク通信/接続ランプ	29
ネットワークプート	86

### 八行

ハードディスクアクセスランプ	22
ハードディスクドライブ	55
パケット	81
パスワード	98
パスワードの解除	99
<b>バックアップ</b> 55,	99
<b>バックスペースキー</b> 42,	44
ハプ	72
パラレルコネクタ	30
<b>半角/全角/漢字キー</b> 41,	43
表示色	50
ファイルベイカバー	25

ファンクションキー 41, 43
フォーマット 61, 63, 64
プライマリスレープ 90
<b>プライマリマスタ</b> 90
<b>プラグ&amp;プレイ</b> O/S 92
<b>不良セクタ</b> 56
プリンタインターフェース変換アダプタ 30
プリントスクリーンキー 41, 43
フロッピーディスクドライブ 59
<b>フロッピィアクセス</b> 98
<b>フロントマスク</b> 25
ページアップキー 42, 44
ページダウンキー 42, 44
<b>ヘッドホン端子</b> 23, 24
<b>ヘッドホンボリューム</b> 24
変換キー 42, 44
<b>ポーズ/ブレークキー</b> 41, 43
<b>ホームキー</b> 42, 44
本機5
<b>本機のお手入れ</b> 149
本体

### マ行

マイクロホン端子	28
マウス	49
マネジメント機能	77
マルチポートリピータ	72
ミニDIN6ピン	31
ミニジャック	28
<b>無変換キー</b> 41,	44

モデムリング10
----------

# ヤ行

ユーザパスワード	 97
輸出	 8

# ラ行

ライトプロテクト	59,	61
ライトプロテクトノッチ	59,	61
ライン出力端子		28
ライン入力端子		28
リード/ライトプロテクト		64
リモートコントロール		81
リモートパワーオン機能	39,	81
リンクケーブルの接続		72
ルーフカバーオープン検知		80
レーザ安全基準		7
レジューム	•••••	102
<b>ローカルバス</b> IDE <b>アダプタ</b>		95
漏洩電流自主規制		7

# ワ行

割り込みレベル	 148
	-



本機の外観上に見えるものから、内蔵されている機器まで、ハードウェア 全般の機能と取り扱いについて説明します。

Ρ

ART

### この章の読み方

順番に読んでいく必要はありません。目的にあわせて該当するページを お読みください。

### この章の内容

各部の名称	
電 源	32
キーボード	40
マウス	49
ディスプレイ	50
ハードディスクドライブ	55
フロッピーディスクドライブ	
スーパーディスクドライブ	60
Zip <b>ドライブ</b>	63
CD-ROM <b>ドライブ</b>	66
CD-RW <b>ドライブ</b>	69
サウンド機能	71
LAN( ローカルエリアネットワーク )ボード	72
FAXモデムボード	74
Mate NXセキュリティ/マネジメント機能	77



# 各部の名称

ここでは、本体の各部の名称とその役割について説明しています。各部の 取り扱い方法や詳しい操作方法については、各項目にある参照ページを ご覧ください。





MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合





#### MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/Sの場合





MA60J/M、MA50J/Mの場合



**電源スイッチ(**(<sup>|</sup>))

本体の電源の状態を変更(入れる/切るとサスペンド/レジューム)するス イッチです。「電源(P.32)

電源ランプ(①)

電源の状態を表示するランプです。電源が入っているときとサスペンド 状態のときに点灯します。「電源(P.32)

ハードディスクアクセスランプ(?)

IDEデバイスが読み書きしているときに点灯します。 工場出荷時に内蔵されているIDEデバイスは、ハードディスクドライブ (プライマリマスタ)と、モデルによって異なりますが、追加ハードディス クドライズ(プライマリスレーブ)、CD-ROM/CD-RWドライズ(セカンダ リマスタ)、スーパーディスクドライズ(セカンダリスレーブ)、Zipドライ ズ(セカンダリスレーブ)があります。なお、CD-ROM/CD-RWドライブ、 スーパーディスクドライブ(P.55)、「スーパーディスクドライブ」 (P.60)、「Zipドライブ(P.63)、「CD-ROMドライブ(P.66)、「CD-RWドライブ(P.69)

チェック パードディスクアクセスランプ点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容がこわれることがあります。

3.5インチフロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブまたは空き

3.5インチのフロッピーディスクの読み書きをする装置です。 「フロッピーディスクドライブ(P.59)

さらにスーパーディスクドライブでは、スーパーディスクに大容量の データを書き込むことができます。

「スーパーディスクドライブ(P.60) NetPCモデルの場合は、どちらも搭載されていません。

ディスクイジェクトボタン

フロッピーディスクやスーパーディスクを取り出します。

ディスクアクセスランプ

フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブが動作しているときに点灯します。

チェック? ディスクアクセスランプ点灯中は、電源スイッチを押したり、ディスクイジェクトボタンを押したりしてフロッピーディスクやスーパーディスクを取り出さないでください。ディスクの内容がこわれることがあります。

ヘッドホン端子(〇)

ミニプラグのステレオ ヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続する と内蔵スピーカからの音は出なくなります。

内蔵スピーカボリューム( 口 » )

内蔵スピーカ、またはヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。「サウンド機能(P.71)

マイクロホン端子( 🔊 )

ミニプラグのマイクロホンを接続します。「サウンド機能(P.71)

CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブまたは空き

CD-ROMや音楽CDのデータを読み出す装置です。

「CD-ROM**ドライブ(**P.66)

さらにCD-RWドライブでは、CD-RまたはCD-RWに大容量のデータを書き込むことができます。「CD-RWドライブ(P.69)

CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブを取り外して、他のファイルベ イ用内蔵機器に交換することができます。『ハードウェア拡張ガイド』

省スペース型の場合

CD-ROMドライブおよびCD-RWドライブ拡大図

NetPCモデルの場合は、どちらも搭載されていません。





CD-ROMドライブ拡大図

機種によってボタン、ランプなどの位置が異なる場合があります。



CD-RWドライブ拡大図



-a ヘッドホン端子( 〇 )

ミニプラグのステレオヘッドホンを接続します。この端子で聞くことができるのは、音楽CDの再生音だけです。

-b **ヘッドホンボリューム** 

CD用ヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。

-c CD-ROM**アクセスランプ** 

CD-ROMドライブが動作しているときに点灯します。

-d ディスクトレイイジェクトポタン

トレイを出し入れするときに使います。

-e CD-RW**アクセスランプ** 

CD-RWドライブが動作しているときに点灯します。

USB**コネクタ( -**↔ )

USB機器を接続します。Windows NT 4.0では、NEC製のUSB接続キーボー ドを、液晶ディスプレイセットモデルの場合は液晶ディスプレイのUSB ハブを接続できます。「キーボード(P.40)



ファイルベイおよびファイルベイカバー

ファイルベイ用内蔵機器を取り付けます。ファイルベイにはサイズの違いにより、3.5インチベイ、5インチベイの2種類があります。 ファイルベイに、リムーパプルメディア用の内蔵機器を取り付けるときには、このファイルベイカバーを取り外し、別売のファイルベイカバーを取り付けます。

参照 本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについて は、『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。

Zip ドライブまたはスーパーディスクドライブまたは空き

Zipドライブは、Zipディスクに大容量のデータを読み書きすることができ ます。「Zipドライブ(P.63) スーパーディスクドライブは、3.5インチフロッピーディスクおよびスー パーディスクに読み書きすることができます。 「スーパーディスクドライブ(P.60)

フロントマスク

本体前面のカバーです。



スタビライザ

本体を安定させるための脚です。

### 本体背面



MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合





MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合







MA60J/M、MA50J/Mの場合



AC 電源 コネクタ

ACコンセントから本体に100Vの電源を供給するためのコネクタです。添 付の電源ケーブルを接続します。

USBコネクタ(·↔)

USB機器を接続します。Windows NT 4.0ではNEC製のUSB接続のキー ボードを、液晶ディスプレイセットモデルでは液晶ディスプレイのUSB ハブを接続できます。「キーボード(P.40)

マイクロホン端子(ミニジャック) 🔊 )

市販のマイクロホンを接続します。

ライン入力端子(ミニジャック)(())

市販のオーディオ機器から音声信号を入力します。

ライン出力端子(ミニジャック)((-))

市販のオーディオ機器へ音声信号を出力します。

LANボードまたはFAXモデムボードまたは空き

LANボードまたはFAXモデムボードが内蔵されています。

LANボードが内蔵されているモデルでは、LANC ローカルエリアネット ワーク)に接続することができます。

「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード(P.72) FAXモデムボードが内蔵されているモデルでは、FAXの送受信などを行 うことができます。「FAXモデムボード(P.74)

LANボード拡大図

MA60J/C, MA55J/C, MA50J/C, MA60J/M, MA50J/M

-b ネットワーク通信/接続ランプ(ACT/LNK)



MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA46H/S





-a 100BASE-TX/10BASE-T用コネクタ(品)

100BASE-TX/10BASE-Tのケーブルを接続します。

-b ネットワーク通信/接続ランプ(ACT/LNK)

ネットワーク上で読み込み/書き込みが発生すると点滅します。また、ハ プ(マルチポートリピータなど)から、リンクパルスを受信すると点灯し ます。ただし、必ずしも本機の読み込み/書き込みとは限りません。

-c 100Mbpsネットワーク接続ランプ(LNK 100)

100Mbpsでネットワークが接続されていて、ハブ(マルチポートリピータ など)からリンクパルスを受信すると点灯します。

-d 10Mbpsネットワーク接続ランプ(LNK 10)

10Mbpsでネットワークが接続されていて、ハブ(マルチポートリピータ など)からリンクパルスを受信すると点灯します。

-e **電話機用モジュラーコネクタ(** 🕝 )

電話機を接続します。

-f 電話回線用モジュラーコネクタ( 🕡 )

電話回線を接続します。

**アナログ**RGB**コネクタ(**回)

アナログインタフェースのディスプレイを接続します。 「ディスプレイ(P.50)

**デジタル**RGBコネクタ(〇)

デジタルインタフェースのディスプレイを接続します。 「ディスプレイ(P.50)

✓ チェック // アナログRGBコネクタとデジタルRGBコネクタは、同時に利用できません。

1

本体の構成各部

パラレルコネクタ(凰)

プリンタなどの機器を接続します。

チェック ・PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリン タインターフェース変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。

・パラレルコネクタには、D-Sub25ピンのシリアル機器を接続しないでください。

シリアルコネクタ1,X 1[iOiOi]、2[iOiOi] )またはシリアルコネクダ( [iOiOi] ) モデムやISDN TAなどの機器を接続します。

チェック! ・PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダプ タ(PK-CA102)が必要です。

- ・RS-232C変換アダプタ(PK-CA102)は、シリアルコネクタ1のみで使用でき ます。なお、MA46H/Sの場合はRS-232C変換アダプタは利用できません。
- ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。また、隣り合ったコネクタに同時に変換アダプタを接続すると、変換アダプタ同士がぶつかり合って接続できない場合があります。

筐体ロック( 🕅 )

市販のロック付き盗難防止ケーブルを取り付けます。

参照、「Mate NXセキュリティ/マネジメント機能(P.77)

アース端子( 🕀 )

アース線を接続します。

通風孔

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。壁などでふさがないように注 意してください。

PCI**スロット** 

本体の機能を強化したり拡張したりするための、各種ボードを挿入する スロットです。モデルによっては、LANボード、FAXモデムボード、SCSIイ ンタフェースボードなどが挿入されています。

- 「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード(P.72)「FAXモデム ボード(P.74)「PART3 SCSI設定」
- 参照 本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについて は、『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。

PS/2接続キーボードコネクタ( ==== )

PS/2109キーボードのモデルでは、PS/2109キーボード(ミニDIN6ピン) を接続します。「キーボード(P.40)

PS/2**接続マウスコネクタ(** 🖰 )

PS/2109キーボードのモデルでは、マウス(ミニDIN6ピン)を接続します。 「マウス(P.49)

MA46H/Z

保守用FDDコネクタまたは空き

NetPCモデルの場合、再セットアップするために別売の外付けのフロッ ビーディスクドライブを接続します。

MA70J/S, MA55J/S, MA50J/S

ネットワークアクセスランプ

ネットワーク上で読み込み/書き込みが発生すると点灯します。また、ハ プ(マルチポートリピータなど)から、リンクパルスを受信すると点灯し ます。ただし、必ずしも本機の読み込み/書き込みとは限りません。

MA70J/S, MA55J/S, MA50J/S

100BASE-TX/10BASE-T**用コネクタ** 

<u>別売の専用ケーブル(リンクケーブル)を使って、LAN(ローカルエリア ネットワーク)に接続します。</u>

「LAN( ローカルエリアネットワーク )ボード (P.72 )

MA46H/S

MIDI/Joystick **J**AP

MIDI楽器やジョイスティックなどの機器を接続します。このコネクタにはディスプレイを絶対に接続しないでください。発火の原因になります。

② SCSIインタフェースボードまたは空き

Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)が内蔵されたモデルは、SCSI インタフェースを持つ機器と接続できます。

「PART3 SCSI設定」『ハードウェア拡張ガイド』

1

本体の構成各部



ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源 の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうこと があるので、特に注意してください。

### 電源の状態と操作方法

#### 電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っている状態」サスペンド状態」の3つの状態があります。



電源が切れている状態

Windowsを終了するなどして本体の使用を終了している状態です。

電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

サスペンド状態

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、ハードディスクドライブ などのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどし て消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は 供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されている ため、レジュームする(サスペンド状態から復帰させる)ときは素早く 元の状態に戻すことができます。

電源の状態による電源ランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
入っている	緑色に点灯する	表示される	緑色に点灯する
切れている	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯
サスペンド	オレンジ色に点灯する	表示されない	オレンジ色に点灯

使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

電源を操作するには次の方法があります。詳しくは、後述の電源について の記載をご覧ください。

電源を入れる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Timer-NX <b>を利用する</b>
LANによるリモートパワーオン機能を利用する

電源を切る

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windowsの終了メニューから「シャットダウンする」を選択し、「OK」ボタンを押す
Timer-NX <b>を利用する</b>
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する

サスペンド状態にする

電源の操作方法

電源スイッチを押す

BIOSセットアップメニューで「自動サスペンドタイムアウト」を設定する

サスペンド状態から復帰(レジューム)する

電源の操作方法

電源スイッチを押す

### 電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

電源を入れる

- ジチェック? 電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔を空けて行ってください。
  - 1 フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライ ブに何もセットされていないことを確認する

- 2 ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる
- 3 本体の電源スイッチを押す
- チェック! メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示 されるまでの時間は、メモリの組み合わせによって変わってきます。256MB に増設した場合、約4秒かかります。

#### 電源を切る

 ◆チェック!?
電源投入後、Windows NT 4.0やアプリケーションの起動中には、電源を切ら ないでください。また、マウスポインタが砂時計表示されていないこと、およ びディスクアクセスランプなどが点灯していないことを確認してから電源を 切ってください。

「スタート」ボタン「シャットダウン」による方法

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- 2 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリック
- 3 「シャットダウンする」またばコンピュータをシャットダウン する」をクリック
- **4**「OK」ボタンまたは、はい」ボタンをクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れます。電源ス イッチを押さないでください。「スタート」ボタン「設定」「コン トロールパネル」「ソフトウェア電源断」の、全般」タブで「シャッ トダウン後の自動電源断を有効にする」をクリックしてチェック を外した場合は、自動で電源は切れず、コンピュータのシャットダ ウン」画面が表示されますので、電源スイッチを押して電源を切っ てください。
- 5 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

1 本体の構成各部

電源スイッチによる方法

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- **2** 電源スイッチを押す

本体の電源は自動的に切れます。

### ⚠注意

電源スイッチを押して電源を切る場合は、電源スイッチを4秒以上 押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に 電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

- 「スタート」ボタン「コントロールパネル」「ソフトウェア電源 断」の「サービス」タブで終了確認ダイヤログを表示する」をクリッ クしてチェックを付けた場合は、「Windows NTのシャットダウン」 画面が表示されますので「はい」ボタンをクリックして電源を切っ てください。「サービス」タブのパラメータ欄がグレー表示で入力で きない場合は、電源スイッチによるシャットダウンはできません。 「スタート」ボタン「シャットダウン」でシャットダウンを行って ください。
- 3 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

ХE

ソフトウェアのエラーなどで、Windows NT 4.0の操作ができなくなって しまった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』『PART3 トラブル解決 Q&A」をご覧ください。

### サスペンド/レジューム(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、サスペンド状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。 なお、本機を電源スイッチによってサスペンド/レジュームするには、シ ステムスイッチの変更が必要になります。

- 参照 システムスイッチの変更「PART2 システム設定」省電力の設定(P.100) MA46H/Sの場合は『本機をお使いの方へ』の「Power Management Setupの 設定」
- チェック // サスペンド/レジュームする操作は、電源ランプの色が変わってから5秒以上の間隔を空けて行ってください。

サスペンド状態にする

電源が入っている状態から手動でサスペンド状態にするには、次の手順 があります。

電源スイッチを押す
電源ランプがオレンジ色に点灯し、サスペンド状態になります。

サスペンド状態から復帰(レジューム)する

サスペンド状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の 手順があります。

**1** 電源スイッチを押す

電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、サスペンド状態から 復帰(レジューム)します。

#### ⚠注意

電源スイッチを押してサスペンド/レジュームをする場合は、電源ス イッチを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し 続けると強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてし まいます。

サスペンド/レジュームするときの注意

サスペンド/レジューム機能を使用するときには、次のような注意が必要 です。この注意を守っていただけないと、サスペンドの内容が失われた り、サスペンド内容が復元できないことがあります。
サスペンド/レジューム機能が使用できないとき

- ・使用するアプリケーションによっては、レジュームができなかった り、アプリケーションが正常に動作しないことがあります。このよう なアプリケーションの使用時には、サスペンド/レジューム機能を使 用しないでください。
- ・使用する周辺機器によっては、レジュームができないことがあります。
- ・FAXモデムを使って通信中のときは、サスペンド機能が使用できな い場合があります。この場合は、通信ソフトウェアを終了してからサ スペンド状態にしてください。

サスペンド内容が失われるとき

サスペンド状態のときに次のことが起きると、サスペンド内容は失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・停電が起きたとき
- ・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

サスペンド内容の復元が保証されない場合 サスペンド内容の記憶中、または復元中に次のようなことを行うと、サ スペンド内容は保証されません。

- ・フロッピーディスクを取り出したり、交換したとき
- ・CD-ROMなどを取り出したり、交換したとき
- ・PCカードの抜き差しをするなど、本機の環境を変更したとき
- ・サスペンド状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態でサスペンド機能を起動しても、サスペンド内容 は保証されません。

- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- ・サスペンド機能に対応していないアプリケーションを使用中
- ・サスペンド機能に対応していない周辺機器を使用中
- ・Windows NTの起動処理中、終了処理中
- ・通信用ソフトウェアを実行中
- ・モデム/LANなどを使って通信中のとき
- ・ネットワークに接続しているとき
- ・本機にNEC製キーボード以外のキーボードを接続しているとき

レジューム機能が正しく実行されない場合

次のような場合には、レジューム機能が正しく実行されなかったことを表しています。

- ・アプリケーションが動作しない
- ・サスペンド内容を復元できない
- ・電源スイッチを押してもレジュームされない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、サスペンド/レ ジューム機能は使わないでください。万一、電源スイッチを押してもレ ジュームできなかったときには、電源スイッチを約4秒以上、押し続け てください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、保 存していないデータは、消去されます。また、BIOSセットアップメ ニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要 な場合は、再設定してください。

その他の注意

- ・通信ソフトウェアを使用中の場合は、通信ソフトウェアを終了させてから、サスペンド状態にしてください。通信状態のままサスペンドすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。
- CD-ROMドライブにフォトCDが入っているときにサスペンド状態
   にした場合は、レジュームに多少の時間がかかることがあります。
- ・CDの再生中にサスペンド状態にした場合、CDは再生され続ける場合 があります。サスペンド状態にする前にCDの再生を止めてください。
- ・サスペンド中にUSBキーボード/マウスの抜き差しを行わないでく ださい。誤ってサスペンド中にUSBキーボード/マウスを抜き差しし た場合、レジューム後、そのUSBキーボード/マウスが使用できなく なることがあります。その場合は、「キーボード」の「使用上の注意」 (P.40)をご覧ください。
- ・サスペンド状態では、ネットワーク機能がいったん停止します。従って、ネットワークを使用するアプリケーションによっては、サスペンド状態になったときに、データが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを実行する場合は、システム管理者に確認の上、サスペンド機能を使用してください。
- ・サスペンド中にLANケーブルの抜き差しを行わないでください。レジューム後、ネットワークが使用できなくなることがあります。

### 電源の自動操作

タイマやLAN(ローカルエリアネットワーク)のアクセスによって、自動的に電源の操作を行うことができます。

### タイマ

BIOSセットアップメニュー

「BIOSセットアップメニュー」の「省電力管理」の「自動サスペンドタイムアウト」を設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディスクへのアクセスなどがない場合、自動的にサスペンド状態にすることができます。

参照 「PART2 システム設定」省電力の設定(P.100) MA46H/Sの場合は『本機をお使いの方へ』の「Power Management Setupの 設定」

Timer-NX

「Timer-NX」のタイマ機能を使って、指定した時刻に電源を入れたり、 切ることができます。「Timer-NX」のタイマ機能を使って、サスペンド/ レジュームを行うことはできません。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追 加」Timer-NX」

リモートパワーオン機能(LANボードによる電源の自動操作)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるPCの電源を入れる機能です。リモートパワーオン機能を使って、サスペンド/レジュームを行うことはできません。

参照「Mate NXセキュリティ/マネジメント機能」運用管理機能」リモートパワー オン機能(P.81)



キーボード

ここでは、さまざまなキーボード、日本語入力、キーボードの使用上の注意について説明します。キーボードの設定については、「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」の「キーボード」で行ってください。

参照 / Windows NTのヘルプ

## 添付されるキーボードの種類

本機に添付されるキーボードには、接続するインタフェース、キーの配列などの違いにより、次の種類のキーボードがあります。

キーボードの種類・名称		インタフェース	キー配列
	USB109 <b>キーボード</b>		109 <b>配列</b>
USB <b>接続のキーボード</b>	USB <b>小型キーボード</b>	USB	109 <b>準拠</b>
	USB98 <b>配列キーボード</b>		98 <b>配列</b>
PS/2 <b>接続のキーボード</b>	PS/2 109 <b>キーボード</b>	PS/2	109 <b>配列</b>

### 使用上の注意

Nキーロールオーバ

Nキーロールオーバとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力 したキーが有効になる機能です。ただし、本機のキーボードは、疑似Nキー ロールオーバのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示さ れないことや、有効にならないことがあります。

USB接続キーボードの抜き差し

サスペンド中には、USB接続のキーボード/マウスを抜き差しを絶対に行 わないでください。誤って行ってしまった場合、レジューム後は、USB接 続のキーボード/マウスが使用できなくなります。このようなときは、電 源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。この方 法で強制的に電源を切った場合、保存していないデータは消えてしまい ます。

## USB109キーボードとPS/2 109キーボード

#### キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、ソフトウェアの操作に使う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するソフトウェア によって異なります。



テンキー





キーをロックする

【Caps Lock 】Num Lock 】Scroll Lock 】は、ロックされているときと、ロッ クされていないときでキーの機能が異なります。 それぞれのキーがロックされているときはキーボード上部のランプが点

それそれのキーかロックされているときはキーホード上部のランフか点 灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき	
	英字が大文字で入力され	英字が小文字で入力され	
Caps Lock J	ます。	ます。	
【Num Lock】	キー前面に表示されてい	キー上面の文字が入力さ	
	る数字や記号が入力され	れます。	
	ます。		
【Scroll Lock】	アプリケーションによって機能が異なります。		

### USB小型キーボード

#### キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、ソフトウェアの操作に使う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するソフトウェア によって異なります。









キーをロックする

キーのロックについては、「キーをロックする (P.42)をご覧ください。

### USB98**配列キーボード**

#### キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、プログラムの操作に使う 特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するプログラムに よって異なります。



- 「園 : かなキーランプ 【かな】を押すと点灯します。
- CAPS : キャプスキー
- [かな]:かなキー
- [COPY]: コピーキー
- f・1 ~ f・10 vf・1 ~ vf・2 :ファンクションキー
- vf·3 (Num Lock-側面文字)
  - : Windows NT上では、Num Lockとして動作します。
- vf-4
   (Scroll Lock-側面文字)

   : Windows NT上では、Scroll Lockとして動作します。

   vf-5
   (半角/全角・側面文字)

   : Windows NT上では、半角/ 全角として動作します。

   BS
   : バックスペースキー

   INS
   : インサートキー

   DEL
   : デリートキー

   HOME
   : ホームクリアキー
  - HELP: : ヘルプキー (End:エンドキー)
  - ROLL (PgDn:ページダウンキー)



 XFER:
 エクスファーキー

 :
 スペースキー

 NFER:
 エヌファーキー

 GRPH:
 グラフキー

 (Alt:オルトキー)

 CTRL:
 コントロールキー

 TAB:
 タブキー

 ESC:
 エスケープキー

 STOP:
 ストップキー

### アプリケーションキーとWindowsキー

アプリケーションキーとWindowsキーは、Windowsで使用できるキーで す。アプリケーションによってどのように利用するかは異なりますが、標 準で次のような機能が割り当てられています。

アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状態になります。

Windows+-(

Windowsキーだけを押すと、「スタート」メニューを表示します。 Windowsキーを押しながら次のキーを押すと、次のような機能を利用す ることができます。

	「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを表示する
■ <b>+M</b>	現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化する
∱shift+ ∭∄+M	IIII+Mでアイコン化しているウィンドウを元に戻す
₩ <b>⊞</b> +F1	Windows <b>のヘルプを起動する</b>
⊞+F	ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示する
∱shift + ∭∄+ F	コンピュータを検索するウィンドウを表示する
∎+ Tab I	タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える

### 日本語入力

漢字やひらがななどの日本語を入力するには、日本語入力プログラムを 使います。本機では各モデルごとに以下の日本語入力プログラムが使用 できます。

日本語入力 プログラム	アプリケーション なしモデル	Office 2000 Personalモデル および Office 2000 Professionalモデル	ー太郎10・花子10 パック & 1-2-3 2000モデル
MS-IME97			
MS-1ME2000			
ATOK13			

- : インストールされており、工場出荷時に標準で使用する設定になっている日本語入力プログラム
- : インストールされている日本語入力プログラム

### 日本語入力のオン/オフ

日本語入力のオン/オフを切り替えるには次の方法があります。

PS/2 109キーボード、USB109キーボード、USB小型キーボードの場合

- ・キーボードの【Alt】を押しながら【半角/全角/漢字】を押す
- タスクパーの右下の / をクリックし、表示されるメニューから選 択する

USB98配列キーボードの場合

- ・【CTRL】を押しながら【XFER】を押す
- タスクパーの右下の をクリックし、表示されるメニューから選 択する
- ▼チェック? NEC 98 Layout Keyboard(XFER)を設定した場合、MS-IME 2000で【XFER】 で日本語入力をOFFにすることはできません。【XFER】で日本語入力をOFFに できるようにするには、「Microsoft IME 2000詳細プロパティ」の「キーの設 定」で、【変換】の入力/変化済み文字なしの設定を「再変換」から「-」に変更して ください。

### 日本語変換の手順

日本語の変換にはさまざまな方法があります。ここでは、MS-IMEと ATOK13での最も簡単な手順を示します。詳しくは、MS-IMEまたは、 ATOK13のヘルプをご覧ください。

- 1 MS-IMEツールバー(ATOK13ツールバー)の一番左のアイコン をクリックして入力する文字の種類をクリック
- 2 文字を入力する(この段階では未確定の仮の状態)
- 3 【スペース】を押す(変換の結果が正しくない場合は、正しく変換 されるまで繰り返す)
- 4 【Enter】を押す(この段階で確定し、文字が入力される)

### メモ

日本語変換のヘルプを表示するには、ツールバーのヘルプアイコンをク リックしてください。

# マウス

ここでは、マウスの使用方法について説明します。マウスの設定については、「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」の「マウス」で行ってください。

参照 / Windows NTのヘルプ

## マウスについて

本機に添付されるマウスは、ご購入時に選択されたキーボードの種類により異なります。



マウスのクリックとは、マウスのボタンを押して放す操作です。特に指定がない場合は左ボタンを使います。

スクロールボタン付きマウスのスクロールボタンの使い方

USB接続のキーボードに添付されるスクロールボタン付きマウスには、 スクロールボタンがあります。通常はスクロールボタンを上に押し続け たり、手前へ引き続けることで上下にスクロールします。また、スクロー ルボタンをクリックしたり、押し続けたときに(金)(スクロールアイコン) が表示されます。その場合は、三角マークの方向にマウスを動かすと画面 を上下にスクロールさせることができます。スクロールボタンを再度ク リックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。



# ディスプレイ

本機には、ウィンドウアクセラレータ機能が標準で搭載されています。お 使いの用途に応じた解像度や表示色に切り換えて使用できます。ディス プレイの設定については、「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパ ネル」の「画面」で行ってください。

参照 / Windows NTのヘルプ

## 表示できる解像度と表示色

本機で表示可能な解像度、表示色、水平走査周波数、垂直走査周波数の関係は次の表の通りです。

- チェック? 使用するディスプレイによっては、画面の位置、サイズなどの調整が必要な場合があります。調整方法については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。なお、液晶ディスプレイの場合は、「液晶ディスプレイ調整ツール」を利用すると簡単に画面の調整が行えます。デジタル液晶ディスプレイ (F14T52、F15S32、F15T42)の場合は不要です。
  - 参照 液晶ディスプレイ調整ツール 『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 ア プリケーションの概要と削除/追加」の「液晶ディスプレイ調整ツール」

本機の表示能力			セレクションメニューで選択できるモニタとの対応							
解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	15型 CRT <b>ディ スプレイ</b> (DV15A3)	17型 CRT <b>ディ スプレイ</b> (DV17D2)	19型 CRT <b>ディ スプレイ</b> (FE90)	14型 デジタル 液晶ディ スプレイ (F14T52)	15型 デジタル 液晶ディ スプレイ (F15T42) (F15S32)	15.4型 液晶ディ スプレイ (F15R42W)	18型 液晶ディ スプレイ (F18S1W)
	256 <b>色</b>	43.3	85				×	×	×	×
640×480	65,536色	37.5	75				×	×		
	1,677 <b>万色</b>	31.5	60				1	1		
	256 <b>色</b>	53.7	85				×	×	×	×
800×600	65,536色	46.9	75				×	×		
	1,677 <b>万色</b>	37.9	60				1	1		
	256 <b>色</b>	68.7	85				×	×	×	×
1,024×768	65,536色	60.0	75				×	×		
	1,677 <b>万色</b>	48.4	60				1	1		
	256 <b>色</b>	91.1	85	×	×		×	×	×	×
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×	×		×	×		
	1,677万色 2	64.0	60	×			×	×		
	256色	106.3	85	×	×	×	×	×	×	×
1,600×1,200	65,536色	93.8	75	×	×		×	×	×	×
	1,677万色 3	75.0	60	×	×		×	×	×	×

### MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/M、MA50J/M

- 1 デジタル液晶ディスプレイ(F14T52、F15S32、F15T42)は、垂直走査周波数の設 定は60Hzに固定です。
- 2 垂直走査周波数は60Hz、75Hzのみです。
- 3 垂直走査周波数は60Hzのみです。

MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C	, MA46H/C, MA46H/Z, MA46H/L,
MA46H/S	

本機の表示能力			セレクションメニューで選択できるモニタとの対応							
解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	15型 CRT <b>ディ スプレイ</b> (DV15A3)	17型 CRT <b>ディ スプレイ</b> (DV17D2)	19型 CRT <b>ディ スプレイ</b> (FE90)	14型 デジタル 液晶ディ スプレイ (F14T52)	15型 デジタル 液晶ディ スプレイ (F15T42) (F15S32)	15.4型 液晶ディ スプレイ (F15R42W)	18型 液晶ディ スプレイ (F18S1W)
	256 <b>色</b>	43.3	85				×	×	×	×
640×480	65,536色	37.5	75				×	×		
	1,677 <b>万色</b>	31.5	60							
	256 <b>色</b>	53.7	85				×	×	×	×
800 × 600	65,536 <b>色</b>	46.9	75				×	×		
	1,677万色	37.9	60							
	256 <b>色</b>	68.7	85				×	×	×	×
1,024×768	65,536 <b>色</b>	60.0	75				×	×		
	1,677 <b>万色</b>	48.4	60							
	256 <b>色</b>	91.1	85	×	×		×	×	×	×
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×	×		×	×		
	1,677 <b>万色</b>	64.0	60	×			×	×		
		106.3	85	×	×	×	×	×	×	×
1,600×1,200	256 <b>色</b>	93.8	75	×	×		×	×	×	×
		75.0	60	×	×		×	×	×	×

デジタル液晶ディスプレイ(F14T52、F15S32、F15T42)は、垂直走査周波数の設 定は60Hzに固定です。

# ディスプレイの省電力機能

本機は、VESA(Video Electronics Standards Association)で定義されてい るディスプレイの省電力モード(DPMS:Display Power Management System)に対応しています。 ディスプレイセットモデルをお使いの場合、工場出荷時の状態ではマウ スやキーボードからの入力がない状態が15分間続いた場合に、ディスプ レイの電源を省電力モードにするように設定されています。なお、19イン チCRTディスプレイ(FE90)をご利用の場合、工場出荷時はディスプレイ の省電力機能を設定する必要があります。

- ジチェック?! 省電力機能に対応していないディスプレイでは、本機能は使用できません。 ディスプレイに損傷を与える可能性がありますので、ご利用の前にディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
  - 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
  - 2 「画面」をダブルクリック
  - 3 「スクリーンセーバー」タブをクリック
  - 4 「スクリーンセーバー」の「省電力対応スクリーンセーバー」をク リック
  - 5 「設定」ボタンをクリック
  - 6 「ディスプレイの電力設定」で「サスペンド」または「オフ」を選択する サスペンド … 一定時間経過後ディスプレイを消費電力の少な いサスペンド状態にします。
    - オフ ………… 一定時間経過後ディスプレイをより消費電力の 少ない状態にします。

メモ

「ディスプレイの電力設定」で設定する「サスペンド」オフ」とは、VESAで 定義されているディスプレイの省電力モード(DPMS)のことです。VESA では、ディスプレイの電源の状態をオン(電源が入っており、画面表示し ている状態)省電力モード(スタンバイ、サスペンド、オフ)、コンプリー トオフ(電源が切れた状態)と定義しています。

- **7**「OK」ボタンをクリック
- 8 「実行までの待ち時間」にシステムがアイドル状態になってから省電力状態に移行するまでの時間を設定する
- **9** 「OK」ボタンをクリック

## 適合するディスプレイを使う

本機に接続するディスプレイは「表示できる解像度と表示色(P.50)を参考に、適合するディスプレイを使用してください。

別売のディスプレイについて

本機には別売のディスプレイも接続することができます。別売のディスプレイを使用する場合は、以下のことに注意してください。

 ・ 別売のデジタル液晶ディスプレイを使用する場合は、VESAのDFP (Digital Flat Panel)に準拠したデジタルインタフェースを持つデジタ ル液晶ディスプレイをご利用ください。

メモ

- デジタルインタフェースを持つディスプレイとアナログインタフェー スを持つディスプレイを同時に利用することはできません。
- Windows NT 4.0を使用する場合は、640×480ドット以上の解像度に対応したディスプレイを使用してください。
   別売のディスプレイを使用する場合は、ディスプレイにあわせて解像度などの本体の設定を変更する必要があります。
- 本体が、ディスプレイに合わせて正しく設定されていないと、ディスプレイに何も表示されないことがあります。
- 別売のディスプレイを使用する場合は、解像度、走査周波数の条件を満たしていることを確認してください。
- ディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ 側の微調整が必要な場合もあります。

# ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは、プログラムやデータを保存する非常に精密 な装置です。振動や衝撃などが加わらないよう、取り扱いにご注意くださ い。コンピュータの使用中に、ハードディスクドライブで障害が発生する こともありますが、軽い障害であればエラーチェックプログラムを使っ て修復できる場合があります。また、大切なデータを保護するため、定期 的にデータのバックアップをとるようおすすめします。

使用上の注意

# ⚠ 注 意

ハードディスクドライブは、たいへん精密な機械です。次のことに注意してください。

温度、湿度条件を守ってください。 温度10 ~35 、湿度20%~80%(ただし結露しないこと) ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。 電源が入っているときは、本体に衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。 電源を切るときは、Windows NT4.0のシャットダウンを行ってから電源を切ってください。 正常な終了手順に従わずに電源を切ると、データがこわれてしまうことがあります。 電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。

バックアップはこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクドライブは、非常に精密に作られ ています。毎分数千回転するディスク面と情報を読み取る磁気ヘッドの 間は、わずかしか空いていません。このため、データを読み書きしている ことを示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少しの衝撃を 与えても故障の原因となることがあります。また、温度、湿度条件を守れ ない環境での使用が続いた場合は、ハードディスクドライブ内部で使用 している部品から極微量なガスが発生します。このガスは、磁気ヘッドに 付着したり、二次的にマイクロダストを発生し、磁気ヘッドの姿勢を乱す など故障の原因となることがあります。ハードディスクドライブが故障 すると、大切なデータが一瞬にして使えなくなってしまい、復帰できない 可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、 バックアップをこまめにとることをおすすめします。本機にはハード ディスクをバックアップするアプリケーション「Masty Data Backup」が 添付されています。なお、MA46H/Lには添付していません。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追 加」の「Masty Data Backup」Windows NTのヘルプ アプリケーションで作成したデータは、アプリケーションによっては自動的に保存場所が決められている場合がありますので、バックアップを とる場合はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」またばスキップセクタ」といいます。パーソナルコンピュータは、このような場所にはデータを記録しないようにしています。

ハードディスクに対して、Windows NT 4.0の「チェックディスク」などを 実行すると、「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることが ありますが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように予防 されていたことを表しており、異常ではありません。なお、「不良セクタ」 または「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」また は「全ディスク容量」のバイト数が次の表の値であれば不良ではありま せんので、正常にお使いいただけます。

内蔵ハードディスク	正常値
6.4G <b>バイト</b>	6,400,000,000 <b>バイト以上</b>
8.4G <b>バイト</b>	8,400,000,000 <b>バイト以上</b>
13.0G <b>//ኅ ト</b>	13,000,000,000 <b>バイト以上</b>
20.0G <b>バイト</b>	20,000,000,000バイト以上

表の正常値は、領域を分割しない場合の値です。

#### メモ

ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト= 1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。 OSによっては、1Mバイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト= 1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小 さな値で表示されます。

ハードディスクドライブの動作音について

ハードディスクドライブの動作中、本体から小さな音がする場合があり ますが、異常ではありません。

## ドライブ番号の割り当て

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブには、それぞれ 呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」といいます。 本機のハードディスクドライブ(プライマリマスタ)は、工場出荷時には 第1パーティション(ドライブ番号:Cドライブ)として2GBの領域が確保 されています。残りの領域は確保されていません。また、3.5インチベイに 増設ハードディスクドライブ(プライマリスレーブ)が標準で搭載されて いるモデルは、工場出荷時に追加ハードディスクドライブの領域確保/ フォーマットは行っていません。

工場出荷時に割り当てられているドライブ番号は次の通りです。

CD-ROM**ドライブまたは**CD-RW**ドライブが搭載されているモデルの** 場合

ドライブ番号	ドライブの種類
A <b>ドライブ</b>	フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ
C <b>ドライブ</b>	<b>ハードディスクトライブ(プライマリマスタ、第1パーティション、</b> 2GB、
	FAT16 )
D <b>ドライブ</b>	CD-ROM <b>ドライブまたは</b> CD-RW <b>ドライブ</b>

5インチベイにスーパーディスクドライブが搭載されているモデルの 場合

ドライブ番号	ドライブの種類
A <b>ドライブ</b>	フロッピーディスクドライブ
B <b>ドライブ</b>	スーパーディスクドライブ(5インチベイ用)
C <b>ドライブ</b>	<b>ハードディスクドライブ( プライマリマスタ、第1パーティション</b> 、2GB、
	FAT16)
D <b>ドライブ</b>	CD-ROM <b>ドライブまたは</b> CD-RW <b>ドライブ</b>

#### Zip ドライブが搭載されているモデルの場合

ドライブ番号	ドライブの種類
A <b>ドライブ</b>	フロッピーディスクドライブ
C <b>ドライブ</b>	<b>ハードディスクトライブ( プライマリマスタ、第1パーティション</b> 、2GB、
	FAT16)
D <b>ויקיו</b> ס	Zip <b>ドライブ</b>
E <b>ドライブ</b>	CD-ROM <b>ドライブまたは</b> CD-RW <b>ドライブ</b>

NetPCモデルの場合

ドライブ番号	ドライブの種類
C <b>ドライブ</b>	<b>ハードディスクトライブ(プライマリマスタ、第1パーティション、</b> 2GB、
	FAT16)

#### メモ

領域の確保については、ディスクアドミニストレータを使用します。詳し くはディスクアドミニストレータのヘルプをご覧ください。なお、ディス クアドミニストレータのヘルプは手順に沿った十分な説明がされていま せんので、領域を確保する場合は、できるだけシステム管理者など、ディ スク管理に詳しいユーザの元で行ってください。

### エラーチェックの操作手順

- 1 Windows NT 4.0デスクトップで マイコンピュータ」をダブル クリック
- **2** エラーチェックするハードディスクのアイコンをクリック
- 3 「ファイル」「プロパティ」をクリック
- 4 「ツール」タブをクリック
- 5 「チェックする」ボタンをクリック
- 6 「チェックディスクオプション」を選択する

#### メモ

「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」にチェックを付けると、 ディスクチェック中に発見したエラーを自動的に修復します。「不良なセ クタを走査し、回復する」にチェックを付けると、ディスクの表面検査を 行い、不良セクタを検出したときは使用しないようにします。

### 7 「開始」ボタンをクリック

♥チェック // 定期的にエラーチェックを起動して、ハードディスク上にエラーがないことを確認してください。

# フロッピーディスクドライブ

コンピュータに入力したプログラムやデータは、フロッピーディスクに 書き込んで保存することができます。なお、フロッピーディスクに飲み物 等をこぼした場合は使用しないでください。

## 使用できるフロッピーディスク

フロッピーディスクには2DD、2HDの2種類の媒体があります。本機で読み書きまたはフォーマットできるフロッピーディスクは次の通りです。

フロッピーディスクの種類	容量	読み書き	フォーマット
2DD	640KB	×	×
	720KB		
2HD	1.2MB		
	1.44MB		

参照 フロッピーディスクのフォーマット Windows NTのヘルプ

メモ

1.2MBは、1.2MB(512バイト/セクタ)と1.25MB(1024バイト/セクタ)の2 種類があります。1.25MB(1024バイト/セクタ)は、PC-9800シリーズでサ ポートしているモードです。

## フロッピーディスクの内容の保護

フロッピーディスクは保存したデータを誤って消してしまわないように するために、ライトプロテクト(書き込み禁止)ができるようになってい ます。ライトプロテクトされているフロッピーディスクは、データの読み 出しはできますが、フォーマットやデータの書き込みはできません。重要 なデータの入っているフロッピーディスクは、ライトプロテクトしてお く習慣をつけましょう。ライトプロテクトノッチを、図のように穴の開く 方にスライドさせると、書き込み禁止になります。





# スーパーディスクドライブ

スーパーディスクドライブが標準で搭載されているモデルでは、従来の フロッピーディスクに加えて、120MBの記憶容量を持つスーパーディス クが使用できます。なお、フロッピーディスクまたはスーパーディスクに 飲み物等をこぼした場合は使用しないでください。

# 使用できるディスク

本機では、2DD、2HDの2種類のフロッピーディスクと、スーパーディスク が使用できます。本機で読み書きおよびフォーマットできるディスクは 次の通りです。

ディスクの種類	容量	読み <b>書</b> き	フォーマット
<b>フロッピーディスク</b> 2DD	640KB	×	×
	720KB		
<b>フロッピーディスク</b> 2HD	1.2MB		
	1.44MB		
スーパーディスク	120MB		

スーパーディスクドライブのセットアップについてはマニュアルド活 用ガイド 再セットアップ編』PART1 再セットアップする」個別再 セットアップをする」の「スーパーディスク3モードドライブ対応ドラ イバと専用フォーマットユーティリティについて」をご覧ください。

### ×E

1.2MBは、1.2MB(512バイト/セクタ)と1.2MB(1024バイト/セクタ)の2種 類があります。1.2MB(1024バイト/セクタ)は、PC-9800シリーズの1.25MB (1024バイト/セクタ)のことです。専用フォーマットユーティリティで は、3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)と表示されます。

## ディスク内容の保護

ディスクは保存したデータを誤って消してしまわないようにするため に、ライトプロテクト(書き込み禁止)ができるようになっています。ライ トプロテクトされているディスクは、データの読み出しはできますが、 フォーマットやデータの書き込みはできません。重要なデータの入って いるディスクはライトプロテクトしておく習慣をつけましょう。 ライトプロテクトノッチを、図のように穴の開く方にスライドさせると、 書き込み禁止になります。



## ディスクのフォーマット

市販のフロッピーディスク、スーパーディスクには、フォーマット済みの ものと、未フォーマットのものがあります。未フォーマットのディスクを 購入した場合は、使用する前にフォーマット処理、初期化)を行う必要が あります。

- スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティ リティが必要です。使用方法については、『活用ガイド 再セットアップ編』 「PART1 再セットアップする「個別再セットアップをする」の「スーパー ディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリ ティについて をご覧ください。
  - ・スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティ リティをセットアップした場合には、720KB/1.2MB/1.44MBのフロッピー ディスクおよびスーパーディスク(120MB)のフォーマットはすべて専用 フォーマットユーティリティで行ってください。Windows NTエクスプロー ラやコマンドプロンプトからのformatコマンドでのフォーマットはできま せん。スーパーディスク3モード対応ドライバをセットアップしていない場 合には、720KB/1.44MBのフロッピーディスクおよびスーパーディスク (120MB)のフォーマットは、Windows NTのコマンドプロンプトからの formatコマンドで行うことができます。

## 非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクイジェクトボタン を押してもディスクが取り出せない場合は、次の手順で強制的に取り出 すことができます。

- ▼チェック!/ 本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。
  - 細くて丈夫な針金を用意する 大きめのペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



2 スーパーディスクドライブの非常時ディスク取り出し穴(直径約2mm)に針金を差し込み、強く押すディスクが少し飛び出します。



省スペース型の場合

デスクトップ型またはミニ タワー型の場合





3 ディスクを取り出す

# Zip **ドライブ**

5インチベイにZipドライブが標準で搭載されているモデルでは、大量の データを扱うことができます。Zipディスクは1枚で100MBの記憶容量を 持っているので、ハードディスクのデータのバックアップをとるのに便 利です。

♥ チェック!? Zipディスクの挿入は、本機に電源が入っている状態で行ってください。電源 が入っていない状態でZipディスクを挿入するとZipドライブがこわれるおそ れがあります。

### 使用できるディスクについて

本機では、100MBのZipディスクのみが使用できます。本機で読み書きで きるディスクは次の通りです。

ディスクの種類	容量	読み書き	フォーマット
Zip <b>ディスク(</b> 100MB <b>)</b>	100MB		
Zip <b>ディスク(</b> 250MB <b>)</b>	250MB	×	×

Zipディスクをフォーマットするには、専用のフォーマット可能なユー ティリティソフトウェアが必要です。



- ✓ チェック // ・本機では、FAT16フォーマットのZipディスクを利用できます。FAT32や NTFSには対応していません。
  - ・Zipドライブには、他の種類のディスクを絶対に挿入しないでください。Zip ドライブがこわれるおそれがあります。

# ディスク内容の保護

ディスクは保存したデータを誤って消してしまわないようにするため、 また重要なデータを保護するために、専用のユーティリティソフトウェ アによってリード/ライトプロテクト(読み込み/書き込み禁止)ができる ようになっています。ライトプロテクトのみされているディスクは、デー タの読み出しはできますが、データの書き込みにはパスワードを入力す る必要があります。リード/ライトプロテクトされているディスクは読み 出し/書き込みのどちらにもパスワードが必要になります。

 チェック? リード/ライトプロテクトされたZipディスクを利用するには、専用のリード/ ライトプロテクト可能なユーティリティソフトウェアが必要になります。本 機では、Zipディスクのリード/ライトプロテクト可能なユーティリティソフ トウェアは添付されていませんので、リード/ライトプロテクトされたZip ディスクはご利用になれません。

## ディスクのフォーマット

市販のZipディスクは、フォーマット済みになっています。不要なデータ をすべて消去するために、フォーマット処理(初期化)を行うことができ ます。なお、フォーマットを行うと、書き込まれたデータはすべて消えて しまい、復元できませんのでご注意ください。

 ✓チェック!? Zipディスクをフォーマットするには、専用のフォーマット可能なユーティリ ティソフトウェアが必要です。本機では、Zipディスクのフォーマット可能な ユーティリティソフトウェアは添付されていませんので、Zipディスクは フォーマットできません。FAT16でフォーマットされたZipディスクをご利用 ください。

## 非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、イジェクトボタンを押して もZipディスクが出てこない場合は、次の手順で強制的に取り出すことが できます。

▼チェック / ・本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

- ・Zipドライブを取り外した後で作業を行ってください。Zipドライブの取り 外しについてばパードウェア拡張ガイド』のPART3またはPART4の「ファ イルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け」をご覧ください。
  - 細くて丈夫な針金を用意する 大きめのペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



2 緊急イジェクトホール(直径約2mm)に針金を差し込み、強く押す

Zipディスクが少し飛び出します。



**3** Zipディスクを取り出す

# CD-ROM**ドライブ**

CD-ROMはデータやプログラムが書き込まれているCDです。本機では音楽用のCDを再生することもできます。なお、CDにラベルを貼ったり、信号面(文字などが印刷されていない面)に傷を付けないようにしてください。

### ⚠警告

CD-ROM、CD-R、CD-RWは、CD-ROM対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。大音量により耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。

### 再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-ROMドライブでは、ISO9660に準拠した 下記のCDを再生・表示することができます。CD TEXTのTEXTデータ部 は、読み出せません。



省スペース型の場合、8センチCDはご利用になれません。

規格	概要
Photo CD マルチセッション	写真を100枚まで記録できる追記型のCD
CD-DA(CD-Digital Audio)	<b>一般の音楽</b> CD
	プログラム用のCD-ROMでは音楽トラックの部分の
	こと
CD-ROM XA	CD-Iで提案されたマルチメディアシステムを、既存
(CD-ROM eXtended Architecture)	のパーソナルコンピュータでも実現できるようにした
	規格
CD-I( CD-Interactive media )	マルチメディアシステムを実現するために提案され
	た規格
	再生用のソフトウェアやハードウェアまでを含めて規
	格されている
CD Extra( CD PLUS )	一般の音楽CDに文字や画像などを記録できるよう
	にした規格
CD-G(CD-Graphic)	カラオケ用CDなどに使用される音楽CDの規格。歌
	詞や簡単な絵などの表示もできる
CD-R(CD-Recordable)	<b>書き込みができる</b> CD-ROM
	マルチセッション対応の場合は、複数回に分けての
	書き込みも可能
CD-RW(CD-Rewritable)	<b>書き込み/書き換えができる</b> CD-ROM
	1000回もの書き換え/消去が可能

# CD-ROMのセット(省スペース型の場合)

- ディスクトレイイジェクトボタンを押す トレイが出てきます。
- 2 CD-ROMをトレイに置く 文字が書かれている面が見えるように置いてください。
- **3** ディスクトレイのツメを出す ツメには下記のようなタイプがあります。





4 ディスクトレイイジェクトボタンを押す ディスクトレイイジェクトボタンは、ボタンを軽く押せばトレイ が収納されます。

## 非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、次の手順で強制 的に取り出すことができます。

▼チェック!・本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

・省スペース型をご利用の場合、筐体カバーを取り外した後で作業を行って ください。筐体カバーの取り外しについては、『ハードウェア拡張ガイド』を ご覧ください。

 細くて丈夫な針金を用意する 大きめのペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



2 非常時ディスク取り出し穴(直径約2mm)に針金を差し込み、強く押す

ディスクトレイが15mmほど飛び出します。



3 ディスクトレイを手で引き出し、ディスクを取り出す



4 ディスクトレイをドライブの中に押し込む



# CD-RW**ドライブ**

CD-RW(Compact Disc ReWritable)ドライブが標準で搭載されている モデルでは、CD-RおよびCD-RWへ大量のデータやプログラムを記録す ることができます。なお、CDにラベルを貼ったり、信号面(文字などが印 刷されていない面)に傷を付けないようにしてください。

### ⚠警告

CD-ROM、CD-R、CD-RWは、CD-RW対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでく ださい。大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となり ます。また、ディスクがこわれて書き込むことができなくなる場合があります。

## 再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-RWドライブでは、ISO9660に準拠した CDを再生・表示することができます。CD TEXTのTEXTデータ部は、読み 出せません。再生できるCDについては、「CD-ROMドライブ」「再生できる CDの種類(P.66)の表をご覧ください。

## CD-RおよびCD-RWへの書き込みおよびCD-RWのフォーマット

本機に内蔵されているCD-RWドライブは、CD-ROMドライブの機能に加えて、CD-Rへの書き込み機能とCD-RWへの書き換え機能を加えたものです。

#### 使用できるディスク

CD-RおよびCD-RWについては、ISO9660、Orange Book Part2(CD-R)およびPart3(CD-RW)に準拠したディスクをご利用ください。

書き込みできる容量は、使用するソフトウェアによって異なります。詳し くは、使用するソフトウェアのヘルプをご覧ください。

### 使用するソフトウェア

本機のCD-RWドライブを使って、CD-Rへの書き込み、CD-RWへのフォー マット/書き換えをするには、Easy CD Creator LiteまたはDirectCDが必 要です。

使用方法については『活用ガイド ソフトウェア編』 PART1 アプリ ケーションの概要と削除/追加」の「Easy CD Creator Lite」または 「DirectCD」をご覧ください。

- チェック !! ・ 書き込みに失敗したCD-Rは再生できなくなります。書き損じによるCD-R
   の補償はできませんのでご注意ください。
  - ・作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他のCD-ROMドライブ、CD-Rドライブ、CD-RWドライブでは使用できない場合があ りますのでご注意ください。
  - ・お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどからのコピーの作成およびその利用のための著作権を所有していなかったり、著作権の所有者からのコピーの許可を得ていない場合は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの際は、オリジナルのCDの使用許諾条件、複製に関する注意事項に従ってください。

### 非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、強制的に取り出 すことができます。

非常時のディスクの取り出し手順については、「CD-ROMドライブ」「非常時のディスクの取り出し(P.68)をご覧ください。



# サウンド機能

本機には音声を録音、再生するためのサウンド機能が内蔵されています。 音声は内蔵スピーカまたは外部のオーディオ機器などから再生すること ができます。音量の設定については、「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」「マルチメディア」「ポリュームコントロール」で行って ください。

参照 ボリュームコントロールのヘルプ

Sチェック! MA46H/Sをご利用の場合、再生には外付けスピーカが必要です。

## 音量の調節

音量の調節には内蔵スピーカボリューム(省スペース型の場合)または 「ボリュームコントロール」による方法があります。どちらかの方法で音 量が最小になっていると、音が出ないので注意してください。

# LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード

LANボードまたは100BASE-TX/10BASE-Tコネクタが標準で内蔵されて いるモデルでは、LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続することに より、離れた所にあるコンピュータ同士で、データやプログラムなどを共 有したり、メッセージを送受信することができます。ここではLANへの接 続手順を簡単に説明します。



MA70J/S, MA55J/S, MA50J/S

本体に内蔵している100BASE-TX/10BASE-Tコネクタを使用しない場合 は、BIOSセットアップメニューの「詳細」の「内蔵LAN」を「使用しない」に してください。また、「使用しない」に設定した場合はリンクケーブルを接 続しないでください。



### LAN( ローカルエリアネットワーク )への接続

接続前の確認

LANボードまたは100BASE-TX/10BASE-Tコネクタが標準で内蔵されて いるモデルでは、100BASE-TXまたは10BASE-Tに対応したLANに接続す ることができます。本機をネットワークに接続するには、別売のマルチ ポートリピータ(ハブ)と、別売の専用ケーブル(リンクケーブル)が必要 です。

100BASE-TXで使用するためには、カテゴリ5のリンクケーブルが必要で す。

参照 PART4 付録 / 機能一覧 (P.134)

#### 接続方法

リンクケーブルの接続方法については"はじめにお読みください』をご覧 ください。

◆ チェック // 本機を稼働中のLANに接続するには、システム管理者またはネットワーク管 理者の指示に従って、リンクケーブルの接続を行ってください。
### LANの設定

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方 法を簡単に説明します。必要な構成要素の詳細については『Microsoft® Windows NT® Workstation ファーストステップガイド』の「第4章 ネット ワークの基礎」の「ネットワークを使うようにコンピュータをセットアッ プする」以降をご覧ください。

ネットワークソフトウェアをセットアップする

✓チェック!! 工場出荷時は、ネットワークプロトコル(NetBEUI)が設定されています。

- **1** 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「ネットワーク」をダブルクリック ここで、識別」、「サービス」、「プロトコル」、「アダプタ」および「バイン ド」をセットアップできます。必要な構成要素を追加してください。
- メモ

必要な構成要素がわからない場合は、システムの管理者またはネット ワークの管理者に相談してください。

- 3 「識別」タブをクリック
- 4 「変更」ボタンをクリック
- 5 「コンピュータ名」、「ワークグループ」または「ドメイン」に、必要な情報を入力する。

メモ

コンピュータ名などがわからない場合は、システム管理者またはネット ワークの管理者に相談してください。

6 入力を終えたら「OK」ボタンをクリック

ジチェック!/ ネットワークをインストールしたり、新しいコンポーネントを追加または変
 更した場合は、再度サービスパック5をインストールする必要があります。イ
 ンストール方法については『活用ガイド ソフトウェア編』 PART1アプリ
 ケーションの概要と削除/追加」の「この章の構成」の「マイクロソフト ウィ
 ンドウズ NT サービスパック 5」について」をご覧ください。



# FAXモデムボード

FAXモデムボードが標準で内蔵されているモデルでは、データ通信機能 などを利用できます。また市販の電話機を接続するためのコネクタがつ いています。ATコマンドについては、『ATコマンド』(電子化マニュアル) をご覧ください。

# FAXモデムボードについて

ここでは、FAXモデムボードの機能を説明します。

データ通信機能

本機にインストールされている次のデータ通信ソフトウェアを使用する ことにより、パソコン通信などのデータ通信を行うことができます。

・ Microsoft Windows NT 4.0のハイパーターミナル その他のデータ通信ソフトウェアでは動作しないことがあります。

FAX通信機能

本機のデータをダイレクトにFAXに送信できます。また、本機でFAXを受信でき、効率的にFAX送受信をサポートします。

最高56000bpsまでの各種通信

FAXモデムは、米国CONEXANT SYSTEMS社等提唱のK56flex、および V.90を採用しています。K56flex、およびV.90では、受信時最高56,000bps、送 信時最高33,600bpsのデータ通信が可能です。

**電話回線を利用して、最高**56,000bpsの全二重データ通信と最高14,400bps の半二重FAX通信ができます。

# FAXモデムボードを使用するときの注意

#### 適用電話回線について

回線は、電話回線(以降、加入電話回線と呼びます)、総合デジタル通信網 (ISDN)、ファクシミリ通信網、専用回線に区別することができます。FAX モデムボードは、加入電話回線に適合するように設計され、端末機器の設 計についての認証を受けています。

「技術基準等適合認定について(P.7)

加入電話回線以外と接続すると、FAXモデムボードやパソコン本体等を 破損する場合があります。 加入電話回線を使用する場合、送信レベルは工場出荷時の設定から変更 する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場 合は送信レベルの調整が必要な場合があります。送信レベルの調整は、認 定された工事担任者以外が行うことは法律で禁じられていますので、送 信レベルの調整については、当社指定のサービス窓口にお問い合わせく ださい。

当社指定のサービス窓口の電話番号、受付時間については、『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

通信するときの注意

- 通信中は、電話機用モジュラーコネクタに接続した電話機の受話器を 外さないようにしてください。受話器が外れると、通信が中断されることがあります。
- ・電話機用モジュラーコネクタには、他のモデムを接続しないでください。他の外付けモデムなどが、電話機用モジュラーコネクタに接続されている場合は取り外してください。
- コードレスホンや親子電話、構内回線など、加入電話回線以外の回線を ご使用の場合は、正常なデータの送受信ができない場合があります。
- ・FAXモデムボードは、ファクシミリ通信網には対応していません。
- キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がか かってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。
- FAXモデムボードのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダイヤル信号に合わせた調整が必要です。加入電話回線がトーン式かパルス式かわからないときは電話装置メーカや保守業者、第1種通信事業者(NTTなど)に確認してください。
- 本体にアース線を接続していない場合や、回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できないことや、接続しにくい場合があります。
- ・FAXモデムボードに接続できる電話機などは2線式の回線用のみです。 電話機などの種類によっては動作しない機種がありますので注意して ください。また、接続する電話機などによっては、FAXモデムボードが 正常に通信できない場合があります。正常に通信できない場合は、次の いずれかの方法で正常に通信できるようになります。
  - ・ 接続する電話機などのアース接続用の端子がある場合は、アース線 をつなぐ。

- ・電話機などに別の電話を接続するためのコネクタがある場合は、接続の順番を変える(加入電話回線==電話機==本機のようにする)。接続については、電話機などのマニュアルをご確認ください。
- モデムによる通信の際は、電話機などを取り外す。

FAXモデムボードの電話機用モジュラーコネクタに電話機などを接続 している場合や、市販の分岐コネクタを使用して電話機などと本機と を加入電話回線に接続している場合は、モデムによる通信の際に電話 機などを使用していないことを確認してください。また、モデムで通信 中は電話機などを操作しないようにしてください。電話機などを操作 すると、通信が妨害され、切断されることがあります。

- ・電話機用モジュラーコネクタに接続されている外付け電話機をパソコン本体から離れたところに設置している場合は、送信/受信の際に外付け電話機が使用されていないことを確認してください。
- データ通信を行う場合、フロー制御はハードウェア(RTS/CTS)(工場 出荷時の設定)に設定してください。それ以外に設定するとデータ抜け が生じる可能性があります。
- FAXを送信する相手が音声応答機能付きのFAXの場合、相手からの音声の内容によってはFAXの送信ができなくなることがあります。この場合は、外付け電話機で相手からの音声が終わったのを確認してから送信を始めてください。
- ・電話局の交換機の種類によっては、14400bpsでFAXの通信ができない ことがあります。この場合は通信速度を9600bps以下にしてください。
- 海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常に通信できないことがあります。
- K56flexおよびITU-T V.90の最大受信速度56000bpsは、理論値であり、加入電話回線での通信速度とは異なります。

COMポートの設定について

FAXモデムボードが標準で搭載されているモデルのポート番号は、工場 出荷時の状態ではCOM5が割り当てられています。通常はこのままご使 用ください。

# Mate NXセキュリティ/マネジメント機能

本機は、システム管理者が効率よく本機をマネジメントするための運用 管理、セキュリティ、障害管理、資源管理および遠隔操作・保守を行うため の機能を備えています。

# セキュリティ/マネジメント機能の概要

システム管理者が、効率よくパソコンをセキュリティ/マネジメントする ためには、次のような手段・機能を利用することが効率的であるといわれ ています。

- 機密データの漏洩、改ざん防止、コンピュータウィルスの侵入を防ぐため、外部からデータを取り込むフロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブを使用できないようにする(ロックする)、(1/Oロック)
- ・メモリやPCIボードなどパソコンのハードウェア構成を変更させない ようにする。(筐体ロック)
- 一般のユーザが、Windowsのシステムに影響のあるファイルを変更・削除したり、アプリケーションをインストールできないようにする。 (CyberAccess)
- システム管理者のパソコンから管理するパソコンの電源、システムを 遠隔操作できる。(リモートパワーオン/オフ機能)
- ソフトウェアのバージョンアップのために、必要なパソコンのハード ウェア構成情報(メモリ容量、ハードディスクの空き容量など)、ソフト ウェア構成情報を管理する。(Intel® LANDesk® Client Manager 6.0( with NEC Extensions))
- ハードウェアに異常が発生したことを一般ユーザやシステム管理者に 通知する。(Intel<sup>®</sup> LANDesk<sup>®</sup> Client Manager 6.0( with NEC Extensions ))

本機には、このような手段・機能を利用するために、次のような機能を備 えています。

### セキュリティ機能

#### **BIOS LOCK**

BIOSレベルで本機の使用者を限定し、本機の起動を制限します。これにより、コンピュータウイルスやデータ改ざんなどからパソコンを守ります。

 「PART2 システム設定」の「セキュリティの設定(P.97)、MA46H/Sの場合は
 『本機をお使いの方へ』の「Security Setupの設定」

 BIOS LOCKには、次の方法があります。

パスワードを設定する

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、本機の 使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することができま す。BIOSセットアップメニューでそれぞれのパスワードを設定し、「起 動時のパスワード」を「使用する」に設定してください。

指紋認証を利用する

本体の起動時やパスワードの入力を要求される場合、別売の指紋認証 ユニット(シリアル)(PK-FP002)を利用して指紋を照合することで、 ユーザーの不正使用やデータの漏洩を防止します。また、パスワードを 忘れる、パスワードを解読されるといったことを未然に防ぎます。 MA46H/L、MA46H/Sではご利用になれません。

スマートカードを利用する 別売のスマートカードリーダ/ライタ(PK-SM001)とスマートカード発 行ツール(PK-SM002V2)、スマートカード(PK-SM003)を利用すること で、本体起動時にスマートカードを差し込むだけで個人認証をするこ とができます。MA46H/L、MA46H/Sではご利用になれません。

- 参照 / スマートカード発行ツール(PK-SM002V2)に添付のマニュアル
- ◆チェック // 下記の状態で、管理者側のパソコンからリモートパワーオン機能で本機を起動するには、BIOSセットアップメニューの「セキュリティ」の「ネットワーク 起動時の設定」の「BIOS LOCK」を「使用しない」にしなければなりません。
  - ・スーパバイザパスワード、ユーザパスワードが設定され、BIOSセットアップ
     メニューの「セキュリティ」の「起動時のパスワード」が「使用する」に設定されている場合
  - ・本機に指紋認証ユニットが接続され、指紋認証ユニットのBIOS LOCKが設 定されている場合
  - ・本機にスマートカードリーダが接続され、スマートカードのBIOS LOCKが 設定されている場合

I/O**ロック** 

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/O(フロッピーディスク ドライブ、CD-ROMドライブ、シリアルポート、パラレルポートなど)を利 用できないようにする機能です。この機能を利用することで、部外者の データアクセスを防止したり、システムに影響を及ぼすアプリケーショ ンをインストールすることを防止することができます。

参照 「PART2 システム設定」I/Oロック(P.99) MA46H/Sの場合は「本機をお使 いの方へ」の「Peripheral Setupの設定」

#### 筐体ロック

筐体ロックを使用することで、本体カバーをロックし、本体のハードウェ ア構成の変更や内蔵機器の盗難防止、パスワードの解除防止に役立てる ことができます。また、市販のロック付き盗難防止ケーブルを使用するこ とで、本体の開閉や盗難防止にも役立てることができます。



MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA60J/M、 MA50J/M

省スペース型およびミニタワー型をご利用の場合、筐体ロックは Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムのみに対応し ており、別途購入していただく必要があります。入手方法については、次 の国内総販売代理店にお問い合わせください。

日本ポラロイド株式会社 電子映像事業部

〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番地2号第30森ビル TEL:03-3438-8879 FAX:03-5473-1630(1999年12月現在)



MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/S

デスクトップ型をご利用の場合、セキュリティプレートを取り付けることで本体カバーをロックすることができます。セキュリティプレートの 取り付けについては『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。 ルーフカバーオープン検知

カバーセンサにより、ルーフカバーの開閉を検知します。開閉が検知され た場合は、Intel® LANDesk® Client Manager 6.0( with NEC Extensions )に より通知されます。メモリ、ハードディスクドライブが盗難されていない か、スーパーバイザーパスワード・ユーザーパスワードが解除されていな いか、データの改ざん、コンピュータウイルスの侵入がないか調査してく ださい。MA46H/Lではご利用になれません。

参照 「活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「Intel® LANDesk® Client Manager 6.0( with NEC Extensions )」

#### 運用管理機能

エンドユーザ管理

本機に添付されているCyberAccessを使用することで、使用できるアプリ ケーションやシステムに影響を与える動作を制限することができます。 また、別売のCyberAccess Ver2.0により、管理者PCから一括して設定、変 更することができます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追 加」の「CyberAccess」

ネットワークブート

別売のESMPRO/ClientManager Ver3.0以上により、以下の操作を管理者 側のパソコンから複数のクライアントPCに対して一括でリモート操作 することができます。MA46H/Lではご利用になれません。また、MA46H/ SではBIOSフラッシュはご利用になれません。

- ・ OSのセットアップ
- ・ BIOSフラッシュ(BIOS ROMの書き換え)
- ・ BIOS設定変更

#### 一括ファイル配信

管理者PCからリモート操作で、複数のクライアントPCに対して一括で ファイルやアプリケーションの配信が行えます。別売のESMPRO/ DeliveryManagerが必要です。 リモートパワーオン機能 Remote Power On機能)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を入れる機能です。

本体およびLANボードがリモートパワーオン機能に対応しているシステ ムでは、本体の電源が切れているときも、リモートパワーオン用の専用コ ントローラは通電されています。管理パソコンはIntel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)からのリモートパワーオンのコマン ド指示により、パワーオンを指示する特殊なパケットを離れたところに あるパソコンに送信します。そのパケットを離れたところにあるパソコ ンの専用コントローラが受信すると、専用コントローラはパワーオン動 作を開始します。これにより離れたところにある管理パソコンから、LAN 接続された本機の電源を入れることができます。

リモートパワーオン機能を利用するためには、パワーオンメッセージを 発信するパソコンには別売のDMITOOL Ver8.1(pcAnywhere™ 9.0 EXコ ンプリート版付)が、パワーオンメッセージを受信するパソコンには BIOSの設定が必要です。

- 参照 BIOSの設定「PART2 システム設定」起動の設定(P.104)MA46H/Sの場 合ば本機をお使いの方へ』の「Power Management Setupの設定」
- ◆チェック ?? ・前回のシステム終了が正常に行われなかった場合、リモートパワーオン機能にて電源を入れることはできません。一度電源スイッチを押して、Windows NT 4.0を起動させ、再度、正常な方法で電源を切ってください。
  - ・本機がサスペンド状態のとき、リモートパワーオン機能によるレジューム はできません。
  - ・リモートパワーオンで起動したときに自動的にWindows NTにログオンするには、Timer-NXのオートログオンの設定が必要です。

リモートコントロール

参照 「活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「pcAnywhere 9.0 EX」

本機のデータやシステムファイルなどのバックアップ、ファイル転送、ア プリケーションのインストール、アプリケーションの実行などの操作 ()を離れたところにあるシステム管理者のマシンから、本機を操作す ることができます。その際にはシステム管理者のマシンに別売の DMITOOL Ver8.1(pcAnywhere<sup>™</sup> 9.0 EXコンプリート版付)または pcAnywhere(Symantec社製)が必要です。MA46H/Lではご利用になれま せん。 なお、商品の最新情報は、インターネットのホームページ<sup>98</sup>Information」 の「ソフトウェア」で提供しています。次のアドレスにアクセスしてくだ さい。

http://www.nec.co.jp/98/

アプリケーションによっては、できないものがあります。

プリブートマネジメント(Preboot Management)

**別売の**ESMPRO/ClientManager Ver3.0以上および別売のESMPRO/ PrebootManager Ver1.0により、OS起動前の障害発生時に、リモートクラ イアントPCの状況確認や障害対応を行うことができます。 MA46H/L、MA46H/Sではご利用になれません。

### 障害管理機能

本機には、次のような障害管理機能があり、異常を検出すると、Intel® LANDesk® Client Manager 6.0( with NEC Extensions )の状態監視機能へ 異常を通知します。

OFF state Alert II機能

本機の電源が切れている状態での筐体の開閉、CPU/LANケーブル抜け等 の異常を検出し、LANで接続された管理者側パソコンに通知します。ま た、オペレーティングシステムがハングアップした場合、LANで接続され た管理者側パソコンに通知し、管理者側パソコンからリモートで電源を 切ったり、再起動させることができます。なお、この機能を使用する場合、管 理者側パソコンに別売のESMPRO/ClientManager Ver3.1以上(Windows 98/Windows NT版 )をインストールする必要があります。 MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA46H/Sではご利用になれません。 なお、商品の最新情報は、インターネットのホームページ 98Information」 の「ソフトウェア」で提供しています。次のアドレスにアクセスしてくだ さい。

http://www.nec.co.jp/98/

#### SMART機能

ハードディスクドライブの異常を監視します。標準装備されているハー ドディスクドライブは、S.M.A.R.T (Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology )に対応しています。また、「Masty Data Backup」との連携 によってバックアップをとることができます。 MA46H/Lではご利用になれません。

『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追 参照/ 加 \_の Masty Data Backup 」

#### クライアントモニタリング

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0( with NEC Extensions )により、離れ たところにあるマシンから本機の状態を知ることができます。また、シス テム管理者が別売のPCMANAGER Ver2.0を利用して一括でクライアン トPCの障害情報を監視できます。 MA46H/Lではご利用になれません。

『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追 参昭 加 or Intel<sup>®</sup> LANDesk<sup>®</sup> Client Manager 6.0( with NEC Extensions )」

#### 資源管理

本機のメモリ容量、PCIスロットの使用状況などのハードウェア構成 およびインストールされているソフトウェアについての情報が得られ ます。また、離れたところにあるマシンから、本機の情報を知ることが できます。

#### 状態監視

筐体内温度、電圧、CPUファン監視機能から障害管理機能が異常値を検 出すると、本機の状態監視アイコンやポップアップメッセージにより 異常を通知し、バックアップツールの連携操作などができます。また、 離れたところにあるマシンから、本機の状態を知ることができます。

ECQ Error Correcting Code )機能

メモリエラーを自動的に検出/訂正を行います。 MA60J/C, MA55J/C, MA50J/C, MA46H/C, MA46H/Z, MA46H/L, MA46H/Sではご利用になれません。

ソフトウェアパワーオフ機能

Windows動作中に誤って電源ボタンに触れるなど、不用意に電源を切ってしまうことにより生じるファイルの破壊を防止します。

ウイルス検出・駆除

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うには「VirusScan for Windows NT」を使用します。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追 加」の「VirusScan for Windows NT」

#### サーバ管理機能

LAN上のサーバーを一括管理するための機能を提供する、「ESMPRO/ ServerAgent Ver3.1(Windows NT版)」があります。本機にて「ESMPRO/ ServerAgent Ver3.1(Windows NT版)」をお使いいただくには本機に対応 するためのモジュールが必要になります。本機に対応するモジュールは 次のインターネット情報サービスからダウンロードしてください。

PICROBO http://www.nec.co.jp/picrobo/



# システム設定

この章では、BIOSセットアップメニューについて説明します。BIOSセットアップメニューは、セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定することができます。

MA46H/Sをご利用の場合は、『本機をお使いの方へ』をご覧ください。

#### この章の読み方

次ページの「BIOSセットアップメニューについて」を読んだ後に、目的に あわせて該当するページをお読みください。

#### この章の内容

BIOSセットアップメニューについて	
メインの設定	89
詳細の設定	
セキュリティの設定	
省電力の設定	100
起動の設定	104

# BIOS セットアップメニューについて

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵 されています。なお、初期起動時は、BIOSセットアップメニューは英語で 表示されます。以降の説明は日本語で表示されたメニューを説明してい ます。日本語のメニューを表示する場合は、「日本語のメニューを表示す る」をご覧ください。

# BIOSセットアップメニューの起動とメイン画面

- 1 電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot. ()と表 示されたら、【F2】を押す 以下の画面が表示されます。
  - 「日本語のメニューを表示する」でメニューを日本語に設定した場合は、 「F2:BIOSセットアップメニューを起動します、F12:ネットワークブートします。」と表示されます。



# 日本語のメニューを表示する

英語のメニューを日本語で表示する方法について説明します。

- 1 メニューバーの「Main\_の「English(US)」を選択し、[Enter]を押す
- 2 「日本語(JP)」を選択し、【Enter】を押す
- 3 【F10】を押す
- **4** 「はい」を選択する BIOSセットアップメニューが日本語で表示されます。

以上で作業は終了です。

# BIOSセットアップメニューの終了

メニューバーの 終了」の選択項目

選択項目	説明
変更を保存して終了する	変更した内容を保存してから終了します。
	(【F10】を押す終了方法と同じ)
変更を保存せずに終了する	変更した設定を保存せずに終了します。
デフォルト値をロードする	すべての選択項目を工場出荷時の設定値に
	戻します。
変更を取り消す	変更前の値に戻します。
変更を保存する	変更した値を保存します。

# 工場出荷時の設定値に戻す

工場出荷時の設定値に戻す方法について説明します。

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」ロゴの画面で、「F2:BIOSセットアップメニューを起動します、F12:ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押す BIOSセットアップメニューが表示されます。
- **3** 【F9】を押す 「セットアップ確認」のダイアログボックスが表示されます。
- 4 「はい」を選択する デフォルト値(工場出荷時の設定値)を読み込みます。
- 5 【F10】を押す
- 6 「はい」を選択する 設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

以上で作業は終了です。



### メインの設定

項目の右側に( )マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

システム時刻() 現在の時刻を「時:分:秒」で入力します。

システム日付( ) 日付を「年/月/日」で入力します。

言語()

BIOSで使用する言語を設定します。日本語または英語を選択できます。工場出荷時は「English(US)」に設定されています。

フロッピーディスクA

フロッピーディスクドライブのモードを選択します。

省スペース型でスーパーディスクドライブが搭載されているモデルは 「使用しない」に設定されています。フロッピーディスクドライブが搭 載されているモデルおよびNetPCモデルば1.44/1.25MB 3.5"」に設定 されています。「使用しない」にするとフロッピーディスクドライブが 使用できなくなります。(1/〇ロック)

設定項目	設定内容	
フロッピーディスクA	使用しない	
	360Kb	5.25"
	1.2Mb	5.25"
	720Kb	3.5"
	1.44/1.25Mb	3.5"
	2.88Mb	3.5"

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

フロッピーディスクB

フロッピーディスクAの設定と同じです。工場出荷時ば、使用しない」に 設定されています。本項目が表示されない機種もあります。 プライマリマスタ()

現在接続されているIDEデバイス(工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ)が表示されます。この項目にカーソルをあわせ 【Enter】を押すと設定画面となります。

▼チェック/ 本項目の設定は変更しないでください。

プライマリスレープ() プライマリマスタの設定と同様です。 3.5インチベイに増設されるIDEデバイスの設定画面になります。 追加ハードディスクドライブが搭載されたモデルでは、追加ハード ディスクドライブの設定画面になります。

▼チェック!/ 本項目の設定は変更しないでください。

セカンダリマスタ()) プライマリマスタの設定と同様です。 工場出荷時に内蔵されているCD-ROMドライブまたはCD-RWドライ プの設定画面となります。

▼チェック/ 本項目の設定は変更しないでください。

セカンダリスレープ()

プライマリマスタの設定と同様です。

5インチベイに増設されるIDEデバイスの設定画面になります。スー パーディスクドライブが搭載されたモデルでは、スーパーディスクド ライブの設定画面となります。Zipドライブが搭載されたモデルでは、 Zipドライブの設定画面になります。

▼チェック/ 本項目の設定は変更しないでください。

キーボード機能

キーボード機能を設定します。この項目にカーソルを合わせ【Enter】を 押すとサブメニュー設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
Num lock	自動/オン/オフ	起動時にNum lockをオン
		にするかを設定します。
キークリック	使用しない/使用する	キークリック音を使用する
		かどうかを設定します。
キーボード自動	30/秒、26.7/秒、21.8/秒	キーリピート間隔を設定しま
リピート間隔	18.5/ <b>秒、</b> 13.3/ <b>秒、</b> 10/ <b>秒</b>	す。
	6/ <b>秒、</b> 2/ <b>秒</b>	

設定項目	設定内容	説明
キーボード自動	1/4 <b>秒、</b> 1/2 <b>秒、</b> 3/4 <b>秒</b>	キーリピートが開始されるま
リピート待ち時間	1 <b>秒</b>	での待ち時間を設定します。
USB <b>レガシー機能</b>	使用する /	USB <b>レガシー機能を設定し</b>
	使用しない	<b>ます。工場出荷時は</b> 、USB
		キーボード(注)の場合は「使
		用する」、PS/2 109キーボー
		ドの場合は「使用しない」に
		設定されています。
		Windows 98 <b>の場合は「使</b>
		用する」に設定してください。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

注 USB109キーボード、USB小型キーボード、USB98配列キーボードです。

#### 起動時の自己診断画面

起動時に自己診断画面を表示するかを設定します。「使用する」にする とNECのロゴを表示せずに自己診断画面を表示します。工場出荷時は 「使用しない」です。

#### システムメモリ

搭載されているシステムメモリ容量を表示します。

#### 拡張メモリ

搭載されている拡張メモリ(メインRAM)を表示します。

#### BIOS**リビジョン**

搭載されているBIOSのリビジョンを表示します。

#### Processor Serial Number

Pentium<sup>®</sup>IIIプロセッサの「Processor Serial Number」機能を設定しま す。工場出荷時は「使用しない」に設定されています。MA46H/C、 MA46H/Z、MA46H/L、MA46H/Sをご利用の場合は、本項目は表示され ません。



#### 詳細の設定

項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

**プラグ&プレイ**O/S

プラグ&プレイ対応のオペレーティングシステムを使用している場合 は、「はい」を選択します。工場出荷時ば「いいえ」に設定されています。 Windows 98をご利用の場合ば「はい」に設定してください。Windows NT 4.0にWindows 98を追加してセットアップ(デュアルプート)した 場合は、起動するOSによって設定内容を変更してください。

設定値の初期化

PCIボードなどのプラグ&プレイ機器の設定値のみを初期化したい場合には、「する」を選択します。工場出荷時ばしない」に設定されています。ただし、「する」に設定した後、再度BIOSセットアップメニューを起動すると「しない」に戻ります。

PCI設定

各PCIデバイスの割込み番号(IRQ)を設定します。この項目にカーソル を合わせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
PCI IRQ line 1	使用しない/自動選択/3/	PCI IRQ line 1 <b>で使用す</b>
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ <b>番号を設定します。</b>
PCI IRQ line 2	使用しない/自動選択/3/	PCI IRQ line 2 <b>で使用す</b>
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	<b>る</b> IRQ <b>番号を設定します。</b>
PCI IRQ line 3	使用しない/自動選択/3/	PCI IRQ line 3 <b>で使用す</b>
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	<b>る</b> IRQ <b>番号を設定します。</b>
PCI IRQ line 4	使用しない/自動選択/3/	PCI IRQ line 4 <b>で使用す</b>
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ <b>番号を設定します。</b>

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

PCI設定の設定項目とPCIスロットは、次のように対応しています。

PCI設定の設定項目	ミニタワー型	デスクトップ型	省スペース型
PCI IRQ line 1	PCI <b>スロット</b> #1、	PCI <b>スロット</b> #1	LAN <b>ボードまたは</b> FAX <b>モデ</b>
	PCI <b>スロット</b> #5		ムボード専用スロット
PCI IRQ line 2	PCI <b>スロット</b> #2	PCI <b>スロット</b> #2	PCI <b>スロット</b> #1
PCI IRQ line 3	РСІ <b>スロット</b> #3	PCI <b>スロット</b> #3	PCI <b>スロット</b> #2
PCI IRQ line 4	PCI <b>スロット</b> #4	-	-

NetPC**の場合は、**LANボードのみ

キャッシュメモリ

本項目の設定は変更しないでください。

#### 周辺機器設定

各種周辺機器の設定を行います。この項目にカーソルを合わせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
シリアルポートA	使用しない	シリアルポートAが使用でき
(シリアルコネクタ		なくなり(1/0ロック)、割り
またはシリアルコ		込みが開放されます。
<b>ネクタ</b> 1)	使用する	/0ベースアドレスと割込
		みが設定で <del>さ</del> ます。
	自動	/0ペースアドレスと割込
		みを自動的に設定します。
	PnP OS	<b>プラグ&amp;プレイ対応</b> OSが
		/0ベースアドレスと割込
		みを自動的に設定します。
1/0ペースアドレ	3F8/2F8/3E8/2E8	1/0ペースアドレスを設定し
ス		ます。
割込み	IRQ3/IRQ4	割り込み番号を設定します。
シリアルポートB	シリアルポートAと同様です。	工場出荷時は「使用する」
(シリアルコネクタ2)		です。省スペース型の場合
		は表示されません。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
パラレルポート	使用しない	パラレルポートが使用できな
(パラレルコネクタ)		くなり(1/0ロック),割り込み
		が開放されます。
	使用する	<b>パラレルポートのモード、</b> 1/0
		ベースアドレス、割込み番号
		を設定で <del>さ</del> ます。
	自動	自動的にパラレルポートを設
		定します。
	PnP OS	プラグ&プレイ対応OSが自
		動的に設定します。省スペ
		ース型の場合は表示されま
		せん。
モード	出力のみ/ <mark>双方向</mark> /ECP	モードを設定します。
1/0 <b>ベースアドレス</b>	378 /278/3BC	オプションを使用してパラレ
		ルポートに1/0アドレスを設
		定します。
割込み	IRQ5/ IRQ7	パラレルポートに割込み番
		号を設定します。
フロッピィコントロ	使用しない /	フロッピーディスクドライブの
ーラ	使用する /自動	使用を設定します。工場出
		荷時は、フロッピーディスクド
		<b>ライブおよび</b> NetPC <b>モデル</b>
		の場合は「使用する」、省ス
		ペース型のスーパーディスク
		ドライブのモデルの場合は「使
		用しない」です。
1/0 <b>ペースアドレス</b>	プライマリ/セカンダリ	オプションのフロッピーディス
		<b>クドライブの</b> 1/0ベースアドレ
		スを設定します。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

大容量ディスクアクセスモード 本項目の設定は変更しないでください。 ローカルバスIDE アダプタ

内蔵用のIDEアダプタを使用するかを設定します。工場出荷時は「両 方」に設定されています。「プライマリ」ではセカンダリマスタ/スレー プ接続のIDEデバイスが、「セカンダリ」ではプライマリマスタ/スレー プ接続のIDEデバイスが、「使用しない」ではすべてのIDEデバイスが使 用できなくなります。(1/0ロック)

ビデオ詳細設定

使用するビデオの設定を行います。省スペース型の場合は、本項目は表 示されません。

設定項目	設定内容	説明
グラフィックスア	4Mb/8Mb/16Mb/	AGP <b>ビデオデバイスが使用</b>
パーチャ	32Mb/64Mb/128Mb/	するグラフィックアパーチャ
	256Mb	サイズを設定します。
ビデオのプライマ	AGP/PCI	使用するビデオデバイスを
リ設定		選択します。PCIスロットに
		ビデオカードが増設されて
		いない場合は「PCI」に設
		定してもAGPが有効になり
		ます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

クィックブート

「使用する」に設定した場合、本機起動時の一部のテストをスキップします。システム起動時間が短縮されます。工場出荷時ば「使用する」に設定されています。

サウンド

サウンドのリソースを設定します。この項目にカーソルをあわせ 【Enter】を押すとサプメニューの設定画面となります。本項目がない機 種もあります。

設定項目	設定内容	説明
サウンド	使用しない	サウンドを切り離します。
	使用する	サウンドが使用できます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

内蔵LAN

「使用しない」を設定すると内蔵LANを切り離します。「使用しない」に 設定した場合は、リンクケーブルを接続しないでください。本項目は、 MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合に表示されます。 2 システム設定

DMI**イベントログ** 

起動時に起きたイベントログを参照できます。この項目にカーソルを あわせて【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
イベントログの	(設定項目はありません)	【Enter】を押すとDMIイ
表示		ベントログを表示します。
イベントログの	いいえ/はい	「はい」を選択すると、再
クリア		起動後すべてのDMIイベ
		ントログをクリアします。
イベントログ	使用する/使用しない	「使用する」ではDMIイベ
		ントログを記録します。
イベントログの	はい/いいえ	【Enter】を押し、「はい」を
既読設定		選択すると表示されている
		ログは既読状態となります。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

#### メモ

DMI(Desktop Management Interface)とは、システム管理を行うために各 PCの管理を容易に行うためのハードウェア/ソフトウェアのインタ フェースの標準仕様のことです。

LANDesk (R) Service ()

本体BIOSに標準搭載しているLANDeskService機能の設定を行います。工場出荷時は「使用する」に設定されています。

Preboot Management () Preboot Management機能の設定を行います。工場出荷時は「使用しない」に設定されています。

Service を使用するには、管理者側のパソコンに別売の ESMPRO/ClientManager Ver3.0が必要です。

<sup>デチェック
Preboot Management
機能を使用するには、管理者側のパソコンに別売の
ESMPRO/ClientManager Ver3.0以上および
ESMPRO/PrebootManager
Ver1.0が必要です。</sup> 

PART1 本体の構成各部」の「Mate NXセキュリティ/マネジメント機能」
 (P.77)



#### セキュリティの設定

セキュリティに関する各種設定を行います。

項目の右側に( )マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

スーパバイザパスワード

スーパバイザパスワードの設定状態を表示します。

設定項目	設定内容	説明
スーパバイザパスワード	設定	スーパバイザパスワードが設定さ
設定		れています。
	クリア	スーパバイザパスワードが設定さ
		れていません。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

ユーザパスワード()

ユーザパスワードの設定状態を表示します。スーパバイザパスワード の設定と同様です。

メモ

スーパバイザパスワードとはBIOSセットアップメニューの使用者を制限するための機能です。

スーパバイザパスワードの設定を行うとBIOSセットアップメニュー起 動時、パスワードの入力画面となり設定されたスーパバイザパスワード を入力しない限りBIOSセットアップメニューの起動はできません。

ユーザパスワードとはBIOSセットアップメニューの使用者を制限し、 BIOSセットアップメニューで設定可能な項目も制限するための機能で す。「システム設定」の設定項目の右側に( )マークが付いている項目は、 ユーザパスワードで起動したときに変更可能な項目です。また、「起動時 のパスワード」を「使用する」にすることで本機の使用者を制限すること ができます。 セキュリティモード

セキュリティモードを選択します。「パスワード」と「スマートカード」 と「指紋」が選択できます。工場出荷時は「パスワード」です。

起動時のパスワード

起動時にパスワード入力を行うかの設定をします。「セキュリティモード」がパスワード」の場合に表示されます。リモートパワーオン機能を利用するときは、「ネットワーク起動時の設定」の「BIOS LOCK」を「使用しない」に設定します。工場出荷時は「使用しない」です。

ハードディスク起動セクタ

ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかの設定をします。 「書き込み禁止」にすると起動セクタをウイルスから保護します。工場 出荷時は「通常動作」です。

フロッピィアクセス

「スーパパイザ」に設定するとスーパバイザ以外フロッピーディスクド ライブにアクセスできなくなります。ただし、スーパーディスクドライ ブへのアクセスは制限できません。工場出荷時ば、スーパバイザ」です。

ネットワーク起動時の設定()

この項目にカーソルをあわせ、【Enter】を押すと、サブメニュー設定画 面となります。

設定項目	設定内容	説 明
キーボード/マウス	使用する/使用しない	「使用する」を選択すると、
コック		<b>リモート(</b> PME <b>)起動時(</b> OS
		が起動されるまで )にキーボ
		ード/マウスをロックします。
BIOS LOCK	使用する/使用しない	「使用しない」を選択すると、
		「起動時のパスワード」、「ス
		マートカード」または「指紋
		認証」が設定されていても
		リモート(PME) 起動時に
		パスワード入力を要求しま
		せん。この項目は、パスワ
		ードを設定した場合、スマー
		トカードリーダまたは指紋認
		証ユニットを接続した場合
		に表示されます。
BIOS LOCK	使用する/ <u>使用しない</u>	が起動されるまで)にキ ード/マウスをロックします 「使用しない」を選択する 「起動時のパスワード」、 マートカード」または「打 認証」が設定されてい リモート(PME)起動時 パスワード入力を要求 せん。この項目は、パ ードを設定した場合、ス トカードリーダまたは指約 証ユニットを接続したす に表示されます。

網かけの部分

は、工場出荷時の設定値です。

- - 参照 リモート(PME)「PART1 本体の構成各部」の「Mate NXセキュリティ/マ ネジメント機能(P.77)

ウイルスチェック警告

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングば 使用し ない」、「毎日」、「毎週」「毎月」の中から選択します。工場出荷時ば 使用 しない」に設定されています。

システムのバックアップ警告

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングば 使用し ない」、「毎日」、「毎週」、「毎月」の中から選択します。工場出荷時ば 使用 しない」に設定されています。二度と同じものを作れないような大切な データがある場合には、定期的にバックアップをとれるよう、設定を変 更することをおすすめします。

カバーオープン時の起動制御

「使用する」を選択すると、本体のカバーが取り外された状態では起動できなくなります。工場出荷時は「使用しない」に設定されています。

メモ

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/Oを使用しないように する(ロックする)機能です。BIOSセットアップメニューで以下のI/Oを 「使用しない」に設定することでロックを有効にすることができます。 (FDDインターフェース、IDEインターフェース(プライマリマスタ/ス レープ)、IDEインタフェース(セカンダリマスタ/スレープ)、シリアル ポートA、シリアルポートB、パラレルポート)

## パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)

本機では、BIOSセットアップメニューの使用者をスーパバイザパスワード、ユーザパスワードの設定、スマートカードリーダまたは指紋認証ユニットの接続により制限することができます(BIOSLOCK)。もし設定したこれらのパスワードを忘れてしまったり、キーとなるスマートカードをなくしてしまった場合のBIOSLOCKの解除方法については、『ハードウェア拡張ガイド』「PART5 付録」の「ストラップスイッチの設定」をご覧ください。



# 省電力管理

本機の省電力管理設定を行います。

項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

省電力()

パワーマネジメントモードを選択します。モードを選択することに よって本機のパワーマネジメント設定を変更します。

設定項目	設定内容	説明
省電力	使用しない	パワーマネジメント機 能を
		停止します。
	カスタマイズ 注	自動サスペンドおよびハー
		ドディスクのタイムアウト時
		間をユーザが選択できます。
	最大省電力 注	消費電力を最小限におさ
		えることができます。このと
		きのタイムアウト時間は以
		下の通りです。
		自動サスペンドタイムアウト:5分
		ハードディスクタイムアウト:1分
	性能優先	電力をより多く消費します
		が、性能は最大限に発揮し
		ます。このときのタイムアウ
		ト時間は以下の通りです。
		自動サスペンドタイムアウト:60分
		<b>ハードディスクタイムアウト</b> :15分

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

注 10分未満に設定した場合、設定した時間になってもハードディスク の電源が切れないこともありますのでご注意ください。 自動サスペンドタイムアウト()

本機が自動的にサスペンド状態に移行するまでの時間を設定します。 工場出荷時は「オフ」に設定されています。「システムスイッチ」が「パ ワーボタン」に設定されている場合もサスペンド/レジュームします。

ハードディスクタイムアウト()

ハードディスクの電源が切れるまでの時間を設定します。工場出荷時 ば 使用しない」です。

 ◆チェック / 10分未満に設定した場合、設定した時間になってもハードディスクの電源が 切れないこともありますのでご注意ください。

> システムスイッチ() システムスイッチは、本体前面にある電源スイッチをパワーボタンま たはスリープボタンとして利用できるようにする機能です。 工場出荷時の設定は、「パワーボタン」に設定されています。

- 「パワーボタン」に設定した場合は、電源スイッチを押すことによって電源を切る/入れることができます。
- 「スリープボタン」に設定した場合は、電源スイッチを押すことに よってサスペンド/レジュームすることができます。
- ◆チェック!? 電源スイッチでサスペンド/レジュームするには、「システムスイッチ」を「ス リープボタン」に変更後、「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」 「ソフトウェア電源断」の「ドライバ」タブの「サスペンド/レジューム機能を 使用する」にチェックが付いている必要があります。

システムスイッチの設定をパワーボタン(工場出荷時)から「スリープボタン」に変更した場合、電源を切る操作は次のようになります。

正しく電源を切る方法

 「スタート」ボタン「シャットダウン」「シャットダウンする」「OK」ボタンをクリック 自動的に電源が切れます。

強制的に電源を切る方法

次の方法で強制的に電源を切ることができます。「方法1」で切れない場合は、「方法2」を行ってください。なお、強制的に電源を切った場合は、 本機の電源を入れ直してWindows NTを起動させ、再度、正しく電源を 切ってください。 **方法**1

- 電源スイッチを押す
   電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。
- 2 電源スイッチを4秒以上押し続ける 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、電源が切れると 電源ランプが点灯しなくなります。

**方法**2

1 電源スイッチを4秒以上押し続ける 電源が切れると電源ランプが点灯しなくなります。

入力装置によるレジューム()

「オン」に設定すると入力デバイスによるレジュームを有効にします。 工場出荷時ばオフ」に設定されています。Windows 98をご利用の場合 ばオン」に設定してください。省スペース型の場合は、本項目は表示さ れません。

モデムリングによるレジューム()

「オン」に設定すると、モデムが呼出し信号を受信したときに、本機をサ スペンド状態から復帰します。なお、この項目は本機でWindows NTをご 利用の場合は使用できません。工場出荷時は「オフ」に設定されています。

時刻指定によるレジューム()

「オン」に設定すると、レジューム時刻設定時間で本機をサスペンド状態から復帰します。工場出荷時は「オフ」に設定されています。

レジューム時刻()

レジュームする時刻を設定します。

IDEデバイス0監視()

「使用する」に設定するとIDEデバイス((プライマリマスタ、工場出荷時に内蔵されている標準ハードディスクドライブ)が動作中にサスペンド状態へ遷移しないように監視します。省スペース型の場合は、本項目は表示されません。

IDEデバイス1監視()

「使用する」に設定するとIDEデバイス1(プライマリスレーブ、増設 ハードディスクドライブが搭載されたモデルは増設ハードディスクド ライブが動作中にサスペンド状態へ遷移しないように監視します。省 スペース型の場合は、本項目は表示されません。

IDEデバイス2監視()

「使用する」に設定するとIDEデバイス2(セカンダリマスタ、CD-ROM ドライブまたはCD-RWドライブ)が動作中にサスペンド状態へ遷移しな いように監視します。省スペース型の場合は、本項目は表示されません。

IDEデバイス3監視()

「使用する」に設定するとIDEデバイス3(セカンダリスレーブ、5インチ ベイにスーパーディスクドライブが搭載されているモデルはスーパー ディスクドライブ、Zipドライブが搭載されたモデルはZipドライブ)が 動作中にサスペンド状態へ遷移しないように監視します。省スペース 型の場合は、本項目は表示されません。

PCI**バス監視()** 

「使用する」に設定するとPCIバスが動作中にサスペンド状態へ遷移し ないように監視します。工場出荷時ば使用しない」です。省スペース型 の場合は、本項目は表示されません。

設定項目	設定内容	説明
バスの使用頻度	0~255	256 <b>クロックサイクル期間に</b>
		検出されるデータフェーズ
		<b>数を設定します。</b> 0 <b>から</b> 255
		までの値が設定で <del>き</del> ます。
バスの占有時間率	0~100	スタンバイタイマをリロードす
		るためのバスの占有時間
		<b>率を設定します。</b> 0 <b>から</b> 100
		までの値が設定で <del>き</del> ます。



#### 電源の設定

AC電源投入時の電源状態や、PCIデバイスにより電源を入れるための設定を行います。

項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動した場合のみ変更可能です。

AC投入時の電源状態()

AC電源(AC100V)が失われ、再投入されたとき、どの状態に復旧するか を設定します。工場出荷時のミニタワー型、デスクトップ型は「オフ」、 省スペース型は「自動」です。なお、省スペース型の場合はスーパバイザ パスワードで起動した場合のみ変更できます。

設定項目	設定内容	説明
AC <b>投入時の電</b>	オフ	AC投入時に電源がオン(電
源状態		源は入らない )しない。
	オン	AC <b>投入時に電源がオン(電</b>
		源が入る )する。
	自動	AC <b>電源が失われたときの</b>
		状態に戻します。電源が入
		っている状態でAC電源が
		切れた場合は、電源が入り
		ます。電源が切れている状
		態でAC電源が切れた場
		合は、電源は入りません。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

PCIデバイスによる電源オン()

PCIデバイス(LANボード等)による電源オンを有効にします。リモート パワーオン機能を利用するには、本項目を「する」に設定します。工場出 荷時ばしない」に設定されています。

#### メモ

電源オンとは、電源を入れることです。 電源オフとは、電源を切ることです。

#### 起動順位の設定

起動するデバイスを優先順に従ってリスト表示します。本機を起動する デバイス(ブートデバイスともいいます)を設定します。

設定項目	設定内容	説明
1	[取外し可能デバイス]	本機を起動するデバイスの
2	[ATAPI CD-ROM ]	順番を決めます。起動順
3	[ ハードディスク ]	位1に指定したデバイスか
4	[ネットワークブート]	ら順番に起動されます。
5	[LANDesk(R)Service]	

起動するデバイスを変更するには【 】 陸使用して変更したいデバイ スにカーソルを合わせます。【+】を押すとリストの上側に移動し、【-】を 押すとリストの下側に移動します。

複数のデバイスが存在する「ハードディスク」取り外し可能なデバイス」 についてはさらにその中で起動する順位を設定することができます。

ハードディスク()

本機は、起動順位1のハードディスクドライブからオペレーティングシ ステムを起動します。本機は、オペレーティングシステムを検出するま で、表示されたリストの順序(1、2...)に従い検索を続けます。

取外し可能なデバイス()

この項目は、取り外し可能なデバイスのうち、内蔵フロッピーディスク ドライブ、スーパーディスクドライブなどについて設定します。 本機は、オペレーティングシステムを検出するまで、表示されたリスト の順序(1、2...)に従い検索を続けます。

取外し可能なフォーマット(この項目はスーパーディスクドライブを 搭載している装置のみ表示)() 取外し可能なデバイスに挿入されているメディアのフォーマットが、 ハードディスクか、取り外し可能デバイスかを設定します。

セットアップ情報画面

「使用する」に設定すると起動時にシステム設定状況を表示します。工 場出荷時は「使用しない」に設定されています。



# SCSI**設定**

この章では、SCSI SELECTについて説明します。SCSI SELECTは、 Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)を搭載しているモデルの ユーティリティで、Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)に対し てさまざまな設定を行うものです。

### この章の読み方

「SCSI SELECTについて」を読んだ後に、「SCSI SELECTでの設定項目」を お読みください。

# この章の内容

SCSI SELECT について	
SCSI SELECT <b>での設定項目</b>	

# SCSI SELECT CONT

Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応) PC-M-SCUWS2)が標準で 内蔵されているモデルでは、Ultra SCSIインタフェースに対してさまざま な設定を行うためのユーティリティとして、SCSI SELECTが搭載されて います。ここではSCSI SELECTの使用方法や注意事項を説明します。

#### SCSI SELECTでの設定が必要な場合

SCSI SELECTを使用して設定することが必要になるのは次の場合です。 接続されているSCSI機器のSCSI IDを変更した場合

使用するSCSI機器を増設・変更した場合

これらの場合、SCSI SELECTを使用して、データ転送に関しての設定変更 や、使用するSCSI機器によっては低レベルフォーマットを行う必要があ ります。

# SCSI SELECTを使用するときの注意

- SCSI SELECTを使用して設定を変更するためには、SCSI に関する知識 を必要とすることが多数あります。設定する内容を十分理解した上で 変更してください。間違った設定を行うと、データの破壊や本体が起動 しないなどのトラブルの原因となります。
- ・ SCSI SELECTで可能なデータ転送に関しての設定は、接続している SCSI機器の種類、台数、総ケーブル線長によって変わります。これらの 制限に関しては、『ハードウェア拡張ガイド』 PART5 付録」の「別売の SCSIインタフェース機器の増設」をご覧ください。
- ディスク装置に低レベルフォーマットを行う場合は、誤って他のSCSI 機器をフォーマットしてしまわないように注意してください。ディス ク装置を低レベルフォーマットすると、すべてのデータが消えてしま います。
- 内蔵Ultra SCSIインタフェースボードを持つ本機に別売のSCSIボード を実装して使用する場合、起動させたいSCSI機器を接続しているSCSI ボードのBIOSのみ起動する(有効)に設定し、それ以外のすべてのSCSI ボードのBIOSは起動しない(無効)に設定してください。

参照 SCSIボードのBIOSの起動について「SCSI SELECTでの設定項目(P.109)
# SCSI SELECTでの設定項目

ここではSCSI SELECTで設定可能なすべての項目について説明します。

## SCSI SELECTの設定項目一覧と初期設定

SCSI SELECTで設定できる項目と、その工場出荷時の設定値は次の通り です。また、SCSI SELECTでは低レベルフォーマットとディスクのベリ ファイを行うことができます。

SCSI SELECT <b>の機能</b>		工場出荷時の設定
		Ultra SCSI <b>(</b> Wide <b>対応 )</b>
SCSIボードの設定 ボードのSCSI ID設定		7
	パリティ機能の有効/無効設定	Enabled <b>(有効)</b>
	終端機能設定	Automatic <b>(自動)</b>
	起動チャネルの設定	A First
	起動SCSI IDを指定	0
	起動LUN <b>を指定</b>	0
デバイスの設定	転送速度の設定	40.0MB/Sec
	Wide <b>転送の有効/無効設定</b>	Yes <b>( 有効 )</b> *
	ディスコネクトの有効/無効設定	Yes <b>(有効)</b>
	スタートユニットコマンドの有効/無	No( 無効 )
	効設定	
	ライトバックキャッシュの有効/無効	N/C <b>( 無効 )</b>
	設定	
	マルチプルLUNの有効/無効設定	No <b>( 無効 )</b>
	BIOSスキャンの有効/無効設定	Yes <b>(有効)</b>
SCSI <b>ボードの拡張</b>	SCAM <b>の有効/無効設定</b>	Disabled <b>( 無効 )</b>
設定	SCSI <b>バスリセットの有効/無効設定</b>	Enabled <b>(有効)</b>
	<ctrl><a>メッセージ表示有効/無</a></ctrl>	Enabled <b>(有効)</b>
	効設定	
	1GB <b>以上デバイスサポートの有効</b> /	Enabled <b>(有効)</b>
	無効設定	
	Verbose/Silent <b>設定</b>	Verbose
	BIOS <b>の有効/無効設定</b>	Enabled <b>( 有効)</b>
	リムーバブルディスク設定	Boot Only( 起動デバイスのみ)
	起動CD-ROM機能有効/無効設定	Enabled <b>(有効)</b>
	INT13 <b>サポートの有効/無効設定</b>	Enabled <b>(有効)</b>
フォーマット	低レベルフォーマット	
ベリファイ	ディスクのベリファイ	

工場出荷時の設定は通常使用する上で、推奨する設定になっています。 (\*を除く)

\*は接続するSCSI機器によって設定を変更する必要があります。

## SCSI SELECTの画面の説明

SCSI SELECTの画面はすべて英語で表示されます。ここではSCSI SE-LECTを起動して表示される各画面に対して次のように説明しています。



各部の説明

│画面名称│ :説明が書かれている各画面の説明です。

- 表示画面
   :SCSI SELECTを起動し、操作したときにディスプレイに表示される画面(一部)です。
- | キ−操作|| :表示画面で行うキー操作について説明しています。

選択肢 :画面で選択可能な選択肢を選択した場合、次にどの画面説明 に進めばよいかを示す画面名称を記述しています。

| 画面説明 | :画面に表示されている選択肢の説明をしています。

## SCSI SELECTの構造

SCSI SELECTは次のような階層構造になっています。設定や処理を行う 場合はSCSI SELECTを起動し、下図を参照して各設定項目の画面へ移動 してください。

SCSI SELECTを起動する。



## 各画面の説明

SCSI SELECTを起動する

## 1 本体の電源を入れる 「NEC のロゴ画面が表示した後に、次の画面が表示されます。

Adaptec AHA-29XX XXXX BIOS v x.xx (c)1998 Adaptec, Inc. All Right Reserved

Press<Ctrl><A>for SCSI Select (TM) Utility!

## 2 【Ctrl 】を押しながら【A 】を押す

SCSI SELECTが起動し、次の画面が表示されます。もし、画面が表示されずOSが起動してしまった場合は、OSを正常終了した後にシステムを再起動させ、少し早めに【Ctrl】を押しながら【A】を押してください。

[SCSI SELECT起動画面]



【 】 を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。

┏ <選択肢> —

 ・
 ボードの設定を行う。
 [コンフィグレーション画面][P.113]へ

 II
 フォーマット/ペリファイを行う。
 ②[ディスクユーティリティ起動画面][P.128]へ

 【ESC】前の画面に戻る。
 [ユーティリティ終了確認画面][P.128]へ

## 画面説明

- Configure/View Host Adapter Settings(ホストアダプタ設定)-この項目を選択するとボードの各設定を変更する項目画面が表示されます。
- SCSI Disk Utilities(SCSIディスクユーティリティ)-この項目を選 択すると、接続されているSCSIデバイスに対して低レベルフォー マットを行う、またはベリファイを行う画面が表示されます。
- 【F5】を押すとモノクロモードとカラーモードを切り換えることができます。

## [コンフィグレーション画面]



【 】 を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。工場出荷時の設定に戻す場合は【F6】を押してください。

~~ 選択	時 >	
1	ボードのSCSI ID設定	[ ボードのSCSI ID設定画面 ]( P.114 )へ
П	パリティ機能の有効/無効設定	[パリティ有効/無効設定画面 ]( P.115 )へ
- 111	終端機能設定	[終端機能設定画面](P.115)へ
IV	起動デバイス指定	[ 起動コンフィグレーション起動画面 ]( P.116 )へ
V	SCSI <b>デバイスの個別設定</b>	[ SCSI <b>デバイスコンフィグレーション画面 )(</b> P.118 <b>)へ</b>
VI	ボードの拡張設定	[ 拡張設定画面 ]( P.123 )へ
【F6】	工場出荷時の設定に戻す。	[初期設定変更画面](P.127)へ
【ESC	】前の画面に戻る。	[ SCSI SELECT <b>起動画面 ](</b> P.112 <b>)へ</b>
【ESC	】設定の保存(設定変更した場合)	[設定保存画面](P.127)へ

## 画面説明

 Host Adapter SCSI ID(ホストアダプタSCSI ID) - この項目を選択 するとボードのSCSI IDを変更する画面が表示されます。
 工場出荷時の設定はSCSI ID#7に設定されています。これはSCSI バ スの中でボードが最も高い優先順位を持つ設定です。このまま変更 しないで使用することを推奨します。

- SCSI Parity Checking(SCSIパリティチェック)-この項目を選択 するとボードのパリティチェック機能を有効(Enabled)/無効 (Disabled)に設定する画面が表示されます。 パリティチェックは、SCSIパス上のデータ転送が正確に行われたか をチェックする機能です。ボードにパリティ機能をサポートしない SCSIデバイスを接続する場合は、無効にしてください。ほとんどの SCSIデバイスは、パリティ機能をサポートしています。 SCSIデバイスがサポートしているかわからない場合は、SCSIデバイ スの説明書を参照してください。
- Host Adapter SCSI Termination(ホストアダプタSCSIターミネーション)-この項目を選択すると、ボードの終端状態を変更する画面が表示されます。本機のボードのターミネーション設定は、Automatic(自動)のままにしてください。
- ・ Boot Device Options( ブートデバイスオプション) この項目を選 択すると、起動させたいSCSIデバイスを指定する画面が表示されま す。
- SCSI Device Configuration(SCSIデバイスコンフィグレーション)
   この項目を選択すると、ボードと接続しているSCSIデバイス間の 設定を行う画面が表示されます。
- Advanced Configuration Options(アドバンスドコンフィグレー ションオプション)-この項目を選択すると、ボードの拡張設定の 変更を行う画面が表示されます。

[ボードのSCSIID設定画面]



.....

【 】 を使用して、変更したい値を反転させて【Enter】を押してください。

- <選択肢 >	
I ボードのSCSIID設定を行う。	[ コンフィグレーション画面 ] P.113 )へ
【ESC】 <b>変更を中止する。</b>	[ コンフィグレーション画面 ] P.113 )へ

#### 画面説明

画面に表示されている0~15の値はボードに設定可能なSCSIIDです。 ここで、値を選択することによりボードのSCSIIDを変更します。

\* 工場出荷時の設定値を表しています。

[パリティ有効/無効設定画面]



【 】 を使用して、変更したい値を反転させて【Enter】を押してください。

- / 澤切時 \		
∣ パリティ	機能を有効にする。	[ コンフィグレーション画面 ]( P.113 )へ
□ パリティ	機能を無効にする。	[ コンフィグレーション画面 ]( P.113 )へ
【ESC】 <b>変更を</b>	中止する。	[ コンフィグレーション画面 ]( P.113 )へ

#### 画面説明

パリティチェック機能の有効(Enabled)、無効(Disabled)を選択します。 \* 工場出荷時の設定値を表しています。

[終端機能設定画面]



【 】 を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

< 選択版	t >	
- JES J/ (II)		
1	自動に設定する。	[ コンフィグレーション画面 ] P.113 )へ
П	すべて有効にする。	[ コンフィグレーション画面 ] P.113 )へ
111	すべて無効にする。	[ コンフィグレーション画面 ] P.113 )へ
IV	上位8ビットだけ有効にする。	[ コンフィグレーション画面 ] P.113 )へ
[ESC]	変更を中止する。	[ コンフィグレーション画面 ] P.113 )へ

画面説明

終端設定を自動にする場合は、Automaticを選択してください。 終端設定をすべて有効にする場合は、Low ON/High ONを選択してく ださい。

終端設定をすべて無効にする場合は、Low OFF/High OFFを選択して ください。

終端設定をデータビットの上位8ビットのみ有効にする場合は、Low OFF/High ONを選択してください。

\* 工場出荷時の設定値を表しています。

・終端設定について

SCSIインタフェースは電送路の両端を終端する必要があります。お 使いのボードにより、下記のコネクタがあります。これらのコネク タに接続するSCSIデバイスの構成により終端設定は変わります。 Automatic以外の設定を行う場合は以下の表を参照して正しく終端 設定を行ってください。

コネクタ 終端設定	内蔵Wide コネクタ	内蔵Narrow コネクタ	外付け コネクタ
Low ON/High ON		-	-
	-		-
	-	-	
Low OFF/High ON			-
	-		
Low OFF/High OFF		-	

:SCSIデバイスを接続している - :SCSIデバイスを接続しない

Automaticの設定にすると、ボードが自動的にSCSIデバイスの接続状況 を判断して、適した終端設定を行います。

## [起動コンフィグレーション起動画面]



【 】 を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。 ■ <選択肢> =

I.	起動SCSI IDを指定する。	[ 起動SCSI ID設定画面 ] P.117 )へ
П	起動LUNを指定する。	[ 起動LUN設定画面 ] P.118 )へ
[ESC]	前の画面へ戻る。	[ コンフィグレーション画面 ] P.113 )へ

#### 画面説明

- Boot SCSI ID( ブートSCSI ID )- この項目を選択すると、起動させたいSCSIデバイスのSCSI IDを指定する画面が表示されます。
   ここで選択されたSCSI IDは起動デバイスで構成されたIDと対応している必要があります。
- Boot LUN Number(ブートLUNナンバー) この項目を選択すると、
   起動させたいSCSIデバイスのLUN(Logical Unit Numbers)を指定する画面が表示されます。

起動デバイスに複数のLUNを持っている場合は、起動させたいSCSI デバイスのLUNを指定する必要があります。

(このとき、Multiple LUN Supportが有効になっている必要があります。)

[起動SCSI ID設定画面]



【 】 を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

= <選択肢> =

1	起動するSCSI IDを選択する。	[ 起動コンフィグレーション起動画面 ]( P.116 )へ
<b>[</b> ES	C】前の画面へ戻る。	[ 起動コンフィグレーション起動画面 ]( P.116 )へ

## 画面説明

画面に表示されている0~15の中から、起動させたいSCSIデバイスの SCSIIDを選択します。

\* 工場出荷時の設定値を表しています。

[起動LUN設定画面]



【 】 を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

I 起動するLUNを選択する。	[ 起動コンフィグレーション起動画面 ]( P.116 )へ
【ESC】 <b>前の画面へ戻る。</b>	[ 起動コンフィグレーション起動画面 ]( P.116 )へ

#### 画面説明

画面に表示されている0~7の中から、起動させたいSCSIデバイスの LUN(Logical Unit Numbers)を選択します。

\* 工場出荷時の設定値を表しています。

## [SCSIデバイスコンフィグレーション画面]

SCSI Device Configuration	
SCSI Device ID #0 #1 #2 #3 #4 #5 #6 #7	
Sync Transfer Rate (MB/Sec) • • • • • • 40.0 40.0 40.0 40.0 40.0 40	
Initiate Wide Negotiation • • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	◄ ॥
Enable Disconnection • • • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	<b>→</b> III
Send Start Unit Command ••••• Yes	🗕 IV
Enable Write Back Cache •••••• N/C	<b>-</b> ∨
Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled	
BIOS Multiple LUN Support • • • • • • No No No No No No No No	🗕 VI
Include in BIOS Scan •••••• Yes	🗕 VII
SCSI Device ID #8 #9 #10 #11 #12 #13 #14 #15	
Sync Transfer Rate (MB/Sec) • • • • • • 40.0 40.0 40.0 40.0 40.0 40	- 1
Initiate Wide Negotiation • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	◄ ॥
Enable Disconnection • • • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	<b>→</b> III
Send Start Unit Command ••••• Yes	🗕 IV
Enable Write Back Cache •••••• N/C	🗕 V
Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled	
BIOS Multiple LUN Support • • • • • • No No No No No No No No	🗕 VI
Include in BIOS Scan •••••• Yes	🗕 VII

【 】 】 】を使用して、接続されているSCSIデバイスのSCSIID に対応した設定を反転させて[Enter]を押してください。

< 選択	時 >	
1	転送速度の設定	[転送速度設定画面](P.121)へ
II	Wide <b>転送の有効/無効設定</b>	[ デバイス有効/無効選択画面 ]( P.121 )へ
111	ディスコネクトの有効/無効設定	[ デバイス有効/無効選択画面 ]( P.121 )へ
IV	スタートユニットコマンドの有効/無効設定	[デバイス有効/無効選択画面 ]( P.121 )へ
V	ライトバックキャッシュの有効/無効設定	[デバイス有効/無効/変化なし選択画面 ](P.122)へ
VI	マルチプルLUNの有効/無効設定	[デバイス有効/無効選択画面 ](P.121 )へ
VII	BIOS <b>スキャンの有効/無効設定</b>	[ デバイス有効/無効選択画面 ]( P.121 )へ
[ESC]	前の画面に戻る。	[ コンフィグレーション画面 ]( P.113 )へ

## 画面説明

設定可能なデータ転送方式、データバス幅、転送速度は次の通りです。

			ューティリティで設	定可能な値
SCSIインタフェース		転送方式	データバス幅	転送速度
			[単位:ビット]	<b>[単位:</b> MB / 秒]
Wide	Ultra SCSI	非同期	8	*
			16	*
		同期	8	20.0 10.0
				16.0 8.0
				13.4 6.7
				5.0
			16	40.0 20.0
				32.0 16.0
				26.8 13.4
				10.0
	SCSI-2	非同期	8	*
			16	*
		同期	8	10.0 6.7
				8.0 5.0
			16	20.0 16.0
				13.4 10.0
Narrow *2	Ultra SCSI	非同期	8	*
		同期	8	20.0 10.0
				16.0 8.0
				13.4 6.7
				5.0
	SCSI-2	非同期	8	*
		同期	8	10.0 6.7
				8.0 5.0

\* 転送方式を非同期に設定した場合、転送速度を設定しても、その値は、無効となります。

ジチェック !! ・ 接続するSCSI機器がどのインタフェースに該当するかは、お使いのSCSI機器に添付されているマニュアルをご覧ください。

・接続するSCSI機器がどのSCSIインタフェースに該当するSCSI機器である か不明の場合は、「Narrow」でかつ「SCSI-2」インタフェース機器として設定 を行ってください。

- ・ Sync Transfer Rate(最大同期転送速度)-この項目を選択すると、 ボードとデバイス間の最大同期転送速度を設定する画面が表示されます。
- Initiate Wide Negotiation(Wide転送の取り決め)-この項目を選択 すると、Wide転送機能の有効(Yes)/無効(No)を設定する画面が表示されます。

Wide転送を行う(Yes)設定にしている場合は、ボードはデバイスに対して16ビットの幅でデータ転送を行います。

Wide転送を行わない(No)設定にしている場合は、ボードはデバイ スに対して8ビットの幅でデータ転送を行います。

Wide転送するには、接続されているSCSIデバイスがWideに対応している必要があります。

Wideデバイスに対しては、有効(Yes)、無効(No)どちらでも設定が 可能ですが、Narrowデバイスに対しては、必ず無効(No)に設定して お使いください。

 Enable Disconnection(ディスコネクトを有効にする)-この項目 を選択すると、ディスコネクト機能の有効(Yes)/無効(No)を設定す る画面が表示されます。
 ディスコネクトを行う設定になっているとSCSIデバイスが一時的

に切り離され、その間ボードはSCSIバスを使い、他の操作を行うことができます。

 Send Start Unit Command(スタートユニットコマンドを送る)-この項目を選択すると、スタートユニットコマンド機能の有効 (Yes)/無効(No)を設定する画面が表示されます。 ほとんどのデバイスでこのような設定を行う必要はありません。 スタートユニットコマンドを送る(Yes)設定にしている場合は、本 機の起動時、ボードがコマンドを送ることによって接続している

SCSIデバイスが1台ずつ電源ONとなります。これにより本機の電源 にかかる負荷を軽減します。

スタートユニットコマンドを送らない(No 設定にしている場合は、 本機の起動時に接続されているSCSIデバイスすべてが一緒に電源 ONになります。

この機能を使用するためには、接続するSCSIデバイスもこの機能に 対応していなくてはなりません。

 Enable Write Back Cache(ライトバックキャッシュを有効にする)
 この項目を選択すると、ライトバックキャッシュ機能の有効 (Yes)無効(No)変化なし(N/C)を設定する画面が表示されます。

- BIOS Multiple LUN Support(BIOSマルチプルLUNサポート)-この項目を選択すると、マルチプルLUNサポート機能の有効(Yes)/無效(No)を設定する画面が表示されます。起動デバイスに複数のLUNがある場合は、この設定を有効にする(Yes)にしてください。
- Include in BIOS Scan(BIOSスキャン) この項目を選択すると、 BIOSスキャン機能の有効(Yes)/無效(No)を設定する画面が表示されます。
   BIOSスキャンを行わない(No)設定にすると、BIOSを使用している OS上からデバイスが認識されなくなります。
   BIOSスキャンを行う(Yes)設定で使用することを推奨します。
- ◆チェック パイメージスキャナ、DATユニットを接続する場合は、イメージスキャナ、DAT ユニットに接続しているSCSI ID番号に対応した「Include in BIOS Scan」の 設定を、必ず No」に設定してください。

[デバイス有効/無効選択画面]



【 】 を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。

く澤切時、

設定を有効にする。	[ SCSIデバイスコンフィグレーション画面 ]( P.118 )へ
設定を無効にする。	[ SCSIデバイスコンフィグレーション画面 ]( P.118 )へ
【ESC】 <b>変更を中止する。</b>	[ SCSI <b>デバイスコンフィグレーション画面 ](</b> P.118 <b>)へ</b>

#### 画面説明

前の画面で選択した機能の有効(Yes),無効(No)を選択します。 \* 工場出荷時の設定値を表しています。

[転送速度設定画面]



【 】 】を使用して、変更したい転送速度の値を反転させ、【Enter】を 押してください。

- <選択肢 > ------

転送速度を選択する。	[ SCSIデバイスコンフィグレーション画面 )( P.118 )へ
【ESC】 <b>変更を中止する。</b>	[ SCSIデバイスコンフィグレーション画面 )( P.118 )へ

画面説明

画面に表示されている転送速度の中から、デバイスに設定可能な範囲 内で値を選択します。

\* 工場出荷時の設定値を表しています。

▼チェック データバス幅の設定によって、設定できる転送速度が変わります。

[デバイス有効/ 無効/ 変化なし選択画面]



【 】 を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter 】を押してく ださい。

_ /澤切別	± <	
- > 送1/小	x -	
1	設定を有効にする。	[ SCSI <b>デバイスコンフィグレーション画面 ](</b> P.118 <b>)へ</b>
II	設定を無効にする。	[ SCSI <b>デバイスコンフィグレーション画面 ](</b> P.118 <b>)へ</b>
111	設定を変化なしにする。	[ SCSIデバイスコンフィグレーション画面 ]( P.118 )へ
[ESC]	変更を中止する。	[ SCSI <b>デバイスコンフィグレーション画面 ](</b> P.118 <b>)へ</b>

画面説明

前の画面で選択した機能の有効(Yes) 無効(No) 変化なし(N/C)を選択します。

\* 工場出荷時の設定値を表しています。

#### [拡張設定画面]

Adbanced Configuration Options	
Plug and Play SCAM Support • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
Reset SCSI Bus at IC Initialization • • • • • • • • • • • • • • Enabled	
Display <ctrl><a> Message During BIOS Initialization • • • • • Enabled</a></ctrl>	<b>◄</b> ∰ Ⅲ
Extended BIOS Translation for DOS Drives > 1 GByte • • • • • Enabled	<li>◄ IV</li>
Verbose/Silent Mode	<b>∢</b> ∥ ∨
Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled —	
Host Adapter BIOS • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	◄ VI
Support Removable Disks Under BIOS as Fixed Disks • • • • • Boot Only	/ 🗕 📙 VII
BIOS Support for Bootable CD-ROM · · · · · · · · · · · · Enabled	◄    VIII
BIOS Support for Int13 Extensions • • • • • • • • • • • • • Enabled	<b>→</b>

## 【 】 を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。

- く 道路 3	彩菇>	
I.	SCAM <b>の有効/無効設定</b>	[オプション有効/無効選択画面 ]( P.125 )へ
П	SCSI <b>バスリセットの有効/無効設定</b>	[オプション有効/無効選択画面 ]( P.125 )へ
Ш	<ctrl><a><b>メッセージ表示有効/無効設定</b></a></ctrl>	[オプション有効/無効選択画面 ]( P.125 )へ
IV	1GB <b>以上サポートの有効/無効設定</b>	[オプション有効/無効選択画面 ]( P.125 )へ
V	Verbose/Silent <b>の有効/無効設定</b>	[ Verbose/Silent <b>選択画面 ](</b> P.125 <b>)へ</b>
VI	BIOS <b>の有効/無効設定</b>	[BIOS <b>の有効/無効設定画面 ](</b> P.125 <b>)へ</b>
VII	リムーパプルディスク設定	[ リムーバブルディスク設定画面 ]( P.126 )へ
VIII	起動CD-ROM機能有効/無効設定	[オプション有効/無効選択画面 ]( P.125 )へ
IX	INT13 <b>サポートの有効/無効設定</b>	[オプション有効/無効選択画面 ]( P.125 )へ
[ESC]	変更を中止する。	[ コンフィグレーション画面 ]( P.113 )へ

## 画面の説明

.\_\_ .\_\_ .

- Plug and Play SCAM Support(SCAM機能サポート)-この項目を 選択すると、SCAM機能の有効(Enabled)/無効(Disabled)を設定す る画面が表示されます。
   SCAM機能を使用する(Enabled)に設定した場合、ボードに接続され ているSCSIデバイスのID番号が自動的に設定されます。
   ただし、この機能を使用するためには、接続したSCSIデバイスが SCAM機能に対応していなくてはなりません。
- Reset SCSI Bus at IC Initialization(SCSIバスリセット時のIC初期化)-この項目を選択すると、SCSIバスリセット時のIC初期化機能の有効(Enabled)/無効(Disabled)を設定する画面が表示されます。この機能は、Plug and Play SCAM Support設定でSCAM機能を使用する設定にした場合必ず、有効(Enabled)に設定してください。SCAM機能を使用しない場合は、無效(Disabled)に設定してください。

- Display <Ctrl><A> Message During BIOS Initialization(Ctrl-Aメッ セージの表示)-この項目を選択すると、起動時に「Press<Ctrl><A> for SCSI Select(TM)Utility!」メッセージを表示する機能の有効 (Enabled)無效(Disabled)を設定する画面が表示されます。 起動時に「Press<Ctrl><A>for SCSI Select(TM)Utility!」を表示しない (Diabled)設定にしても、起動時に[Ctrl]を押しながら[A]を押すと ユーティリティは起動します。
- Extended BIOS Translation for DOS Drives > 1 GByte( DOSで1GB 以上のドライブ使用) - この項目を選択すると、1GB以上の大容量デ バイスを使用可能にする機能の有效( Enabled )/無效( Disabled )を設 定することができます。
   この設定は、有效( Enabled )のまま使用することを推奨します。
- Verbose/Silent Mode(起動時のパナー表示) この項目を選択する と、起動時に「Adaptec AHA-29XX XXXX BIOS v x.xx...」のメッセージを表示する機能の有効(Verbose)/無効(Silent)を設定する画面が 表示されます。起動時にメッセージを表示しない(Silent)を設定して も、起動時に【Ctrl]を押しながら【A]を押すとユーティリティは起動 します。
- Host Adapter BIOS(ホストアダプタBIOS) この項目を選択すると、SCSI-BIOSの有効(Enabled)/無効(Disabled:NOT scan)/無効(Disabled:scan bus)を設定することができます。この機能を無効(Disabled:NOT scan)/無効(Disabled:scan bus)にすると、ボードに接続されているSCSIデバイスからの起動はできなくなります。無効(Disabled:NOT scan)にすると、scan busも無効になります。この設定は、有効(Enabled)のまま使用することを推奨します。
- Support Removable Disks Under BIOS as Fixed Disks(リムーバ ブルディスクサポート)- この項目を選択すると、BIOS上でのリ ムーバブルディスクの認識設定を変更する画面が表示されます。
- BIOS Support for Bootable CD-ROM(起動CD-ROMのBIOSサポート)-この項目を選択すると、CD-ROMドライブ起動機能の有効 (Enabled)無数(Disabled)を設定する画面が表示されます。
- BIOS Support for Int13 Extensions(BIOSのINT13サポート)-この項目を選択すると、BIOSが1024シリンダより大きい容量のデバイスを使用可能にする機能の有效(Enabled ) 無效(Disabled )を設定する画面が表示されます。

この設定は、有効(Enabled)のまま使用することを推奨します。

[オプション有効/無効選択画面]



【 】 を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

< 選択時	>	
L I	選択した機能を有効にする。	[ 拡張設定画面 ] P.123 )へ
11	選択した機能を無効にする。	[ 拡張設定画面 ] P.123 )へ
[ESC]	変更を中止する。	[ 拡張設定画面 ] P.123 )へ

#### 画面説明

前の画面で選択した機能の有効(Enabled) 無効(Disabled)を選択します。

\* 工場出荷時の設定値を表しています。変更したいモードによって異 なります。

[Verbose/Silen 選択回面]



【 】 を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter 】を押してく ださい。

- <選択肢> --

1	メッセージを表示(Verbose)に設定する。	[ 拡張設定画面 ] P.123 )へ
Ш	メッセージを表示しない(Silent)に設定する。	[ 拡張設定画面 ] P.123 )へ
[ESC]	変更を中止する。	[ 拡張設定画面 ] P.123 )へ

#### 画面説明

前の画面で選択した機能のVerbose、Silentを選択します。

\* 工場出荷時の設定値を表しています。

[BIOS の有効/ 無効設定画面]



【 】 を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。

- <	選択肢	>
-----	-----	---

I	設定を有効にする。	[ 拡張設定画面 ]( P.123 )へ
П	設定を無効、scan bus無効にする。	[拡張設定画面](P.123)へ
111	設定を無効、scan bus有効にする。	[拡張設定画面](P.123)へ
[ESC]	変更を中止する。	[ 拡張設定画面 ]( P.123 )へ

#### 画面説明

前の画面で選択した機能の有効(Enabled) 無効(Disabled)を選択します。

\* 工場出荷時の設定値を表しています。

[リムーバブルディスク設定画面]

*	Boot Only	-	<u> </u>
	All Disks	-	
	D: 11 1	-	
	Disabled	-	III

【 】 を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

#### 

I	起動デバイスのみハード	[拡張設定画面](P.123)へ
Ш	ティスクに設定する。 全てのリムーパブルディスクを ハードディスクに設定する。	[ 拡張設定画面 ] P.123 )へ
III	無効に設定する。	[ 拡張設定画面 ] P.123 )へ
[ESC]	変更を中止する。	[ 拡張設定画面 ] P.123 )へ

#### 画面説明

- ・ 起動デバイスとして指定されるリムーバブルデバイスだけを、ハードディスクとして認識させる場合は、Boot Only(起動のみ)を選択してください。
- ・BIOSがサポートするすべてのリムーバブルデバイスをハードディ スクとして認識させる場合は、All Disks(ディスクすべて)を選択し てください。
- ・ リムーバブルディスクをハードディスクとして認識させない場合は、Disabled(無効)を選択してください。この設定を行うと、リムーバブルディスクを認識させるために、ソフトウェアのドライバが必要となります。
- \* 工場出荷時の設定値を表しています。

# ジチェック パードディスクとして認識させた場合は、リムーパブルディスクの媒体を取 り出さないでください。

[初期設定変更画面]



【 】 Jを使用して、項目を反転させて【Enter 】を押してください。

	< 選択肢 >		
I.	工場出荷時の設定に戻す。	[ コンフィグレーション画面 ]( P.113 )へ	
Ш	変更を中止する。	[ コンフィグレーション画面 ]( P.113 )へ	

## 画面説明

すべての設定を工場出荷時の設定に戻す(Yes)変更を中止する(No)のどちらかを選択してください。

### [設定保存画面]



【 】 】を使用して、項目を反転させて【Enter】を押してください。

#### 

I	変更した設定を保存する。	[ SCSI SELECT <b>起動画面 ](</b> P.112 <b>)へ</b>
П	変更した設定を保存しない。	[ SCSI SELECT <b>起動画面 ](</b> P.112 <b>)へ</b>

## 画面説明

変更した値を保存する(Yes)中止する(No)のどちらかを選択してく ださい。

中止する(No)を選択すると、変更した設定はすべて変更前に戻ります。

[ユーティリティ終了確認画面]



## 【 】 】を使用して、項目を反転させて【Enter】を押してください。

— <選		
I	SCSI SELECTを終了する。	(2)[ 再起動画面 ]へ
П	SCSI SELECT <b>を終了しない。</b>	[ SCSI SELECT <b>起動画面 ](</b> P.112 <b>)へ</b>

#### 画面説明

\_\_\_\_

SCSI SELECTを終了する(Yes),終了しない(No)を選択してください。

2)[再起動画面]

Please press any key to reboot

このメッセージが画面に表示されたら、【Enter】を押してください。 本体が再起動し、設定が有効になります。

22[ディスクユーティリティ起動画面]



【 】 】を使用して、処理を行いたいSCSIデバイスを反転させて 【Enter】を押してください。このとき、デバイスは、デバイス名称ではな く、必ず設定されているSCSIID設定を元にして選択してください。 (本ボードに対してフォーマットまたはベリファイ処理を行うことは できません。)

< 選択肢 >						
デバイスを選択する。	③[フォーマット/ベリファイ選択画面](P.129)へ					
【ESC】 <b>変更を中止する。</b>	[SCSI SELECT <b>起動画面 ](</b> P.112 <b>)へ</b>					

画面説明

ボードに接続されているSCSIデバイスの一覧をSCSIデバイスが返す 情報を元に表示しています。(SCSI ID #7: AHA-29XX XXXXは本ボード を示しています。)

接続しているSCSIデバイスの種類や、ボードの設定によって表示内容 が異なります。また、ここで表示されるSCSIデバイスの名称は、使用し ている製品名と一致しないことがあります。

②[フォーマット/ベリファイ選択画面]



【 】 を使用して、行いたい処理項目を反転させて【Enter】を押して ください。

- <選択肢> -

 I
 フォーマットをする。
 迎[フォーマット確認画面1 【 P.129 )へ

 II
 ペリファイをする。
 迎[ペリファイ確認画面 】 (P.131 )へ

画面説明

- Format Disk(フォーマットディスク)-この項目を選択すると、指定したSCSIデバイスに対して低レベルフォーマットを行うことができます。
- Verify Disk Media(ベリファイディスクメディア)-この項目を選 択すると、指定したSCSIデバイスに対してベリファイを行うことが できます。

(24)[フォーマット確認画面1]

\_ . \_ . .



【 】 Jを使用して、項目を反転させて【Enter 】を押してください。

■ < 選択肢 >							
I	フォーマットをする。	(25) フォーマット確認画面2 J. P.130 )へ					
П	フォーマットを中止する。	@[ ディスクユーティリティ起動画面 ] P.128 )へ					

画面説明

低レベルフォーマット処理を行うSCSIID、デバイス情報そして容量が 上部に表示されます。本当に低レベルフォーマットを行うデバイスで あることを確認の上、フォーマットを行う(Yes)、中止する(No)のどち らかを選択してください。

ジチェック
 ・フォーマットを行うと、ディスク上のすべてのデータは消されてしまいます。
 ・フォーマット中は、本体およびSCSI機器の電源を切らないでください。

25[フォーマット確認画面2]



【 】 Jを使用して、項目を反転させて【Enter 】を押してください。

#### 画面説明

再度、低レベルフォーマットを行うかどうかを確認を求めてきますの で、再度、SCSIID、デバイス情報、そして容量等を確認の上、フォーマッ ト処理を行う(Yes)処理を中止する(No)のどちらかを選択してくだ さい。

ジチェック
 ・フォーマットを行うと、ディスク上のすべてのデータは消されてしまいます。
 ・フォーマット中は、本体およびSCSI機器の電源を切らないでください。

## 28[フォーマット中画面]

 III please Wait III
 Depending on your disk Capacity,formatting may take from one minute to several hours.
 III please Wait III
 III please Wait III

フォーマットが終了すると、迎 フォーマット終了画面 が表示されます。

#### 画面説明

低レベルフォーマットが開始されます。そのまま、しばらくお待ちくだ さい。

接続されているSCSIデバイスの容量によって数分から数時間かかる ことがあります。 Formatting Complete

何かキーを押すと<sup>22</sup>[ディスクユーティリティ起動画面 [P.128)へ戻 ります。

## 画面説明

低レベルフォーマットが正常に終了するとフォーマットは完了しました(Formatting Complete )と表示されます。

## 28[ペリファイ確認画面]



【 】 Jを使用して、項目を反転させて【Enter 】を押してください。

	<選折	肢	>	
--	-----	---	---	--

I	ベリファイをする。	29 <b>[ ベリファイ中画面 ] </b> P.131 <b>)へ</b>
Ш	ベリファイを中止する。	22[ ディスクユーティリティ起動画面 ] P.128 )へ

#### 画面説明

ベリファイ処理を行うSCSIID、デバイス情報そして容量が上部に表示 されます。

ベリファイ処理を行うか再度確認してきますので、ベリファイ処理を 行う(Yes)処理を中止する(No)のどちらかを選択してください。

#### 29[ペリファイ中画面]

	Verifying	nEC	D3866
Sector	#00003D620h		0233MBytes
	40	% Complete	
	Press	<esc> to abo</esc>	ut

## 【Esc 】を押すと処理を中止することができます。

ベリファイが終了すると30[ベリファイ終了画面]が表示されます。

【ESC 】 <b>処理を中止する。</b>	33 <b>[ ベリファイ中止確認画面 ](</b> P.132 <b>)へ</b>

#### 画面説明

ベリファイ処理が開始されます。画面中央のバーが右へ進んで行き、実施状況を画面に表示しています。

③[ペリファイ終了画面]



何かキー押すと②[ディスクユーティリティ起動画面][P.128)に戻ります。

#### 画面説明

ベリファイが正常に終了すると、ディスク調査は完了しました(Disk Verification Complete)と表示されます。

### ③[ベリファイ中止確認画面]



【 】 Jを使用して、項目を反転させて【Enter 】を押してください。

ペリファイを中止する。	22[ ディスクユーティリティ起動画面 )( P.128 )へ
ベリファイを続行する。	28 <b>[ ペリファイ中画面 ](</b> P.131 <b>)へ</b>

#### 画面説明

ベリファイ処理中止を行うか再度確認を求めてくるので、ベリファイ を中止する(Yes)、ベリファイを続行する(No)のどちらかを選択して ください。



## この章の内容

機能一覧	134
<b>割り込みレベル・</b> DMAチャネル	148
本機のお手入れ	149



## 型番の読み方

型番の表示場所や確認方法については、『はじめにお読みください』をご 覧ください。

## 仕様一覧

## MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C本体機能仕樣

機種名				MA60J/C	MA55J/C	MA50J/C	
CPU CPU <b>種別</b>		Intel®Pentium®IIIプロセッサ					
	クロック周波数			600MHz	550MHz	500MHz	
	内蔵	キャッシュメモリ	一次	32KB			
			二次	512KB			
	シス	テムバス		100MHz(メモリバス:100MHz	z)		
メモリ	BIO	S ROM <b>(</b> Flash RO	ом)	512KB、プラグ&プレイ対応			
	Xr	RAM		最大512MB DIMMスロット	×2		
	ディブ	スプレイキャッシュ		4MB			
	ビデ	<b>才</b> RAM		メインRAMと共有して使用(メ	<b>ተン</b> RAM <b>から</b> 8~11MB <b>占</b>	ī有)	
表示機能	ウル	パウアクセラレータ		Intel <sup>®</sup> 810E Chipset <b>に内蔵(</b>	AGP <b>相当、</b> DVM <b>アーキ</b> テ	クチャ採用)	
	グラコ	フィック表示		640×480 <b>ドット 最大</b> 1,67	77万色		
				800×600 <b>ドット 最大</b> 1,67	77万色		
				1,024×768 <b>ドット 最大</b> 1,67	77万色		
				1,280×1,024 <b>ドット 最大</b> 1,677万色			
				1,600×1,200 <b>ドット 最大</b> 256色			
				(使用するディスプレイにより表示解像度は異なります)			
サウンド機能	E .			YAMAHA社製YMF752搭載	PCM 録音再生機能内	<b>3蔵(ステレオ、量子化8ビット</b> /16ビット、	
				サンプリングレート 8~48KHz)、全二重対応(モノラル、量子化8ビット時)、内蔵モノラルスピ			
				ーカ装備			
補助記憶	70%	ッピーディスクドライス	プ	3.5型フロッピーディスクドライブ(	(3モード対応 )×1、または	はスーパーディスクドライブ(4モード対応)	
装置	また	はスーパーディスクト	・ライブ	×1			
	ハー	ドディスクドライブ		UltraATA <b>対応、</b> SMART機能対応			
		出荷時ソフトウェア	占有量	アプリケーションなしモデル:約720MB			
				Office 2000 Personal <b>モデル:約</b> 1,100MB			
				Office 2000 Professional 7	<b>デル:約</b> 1,150MB		
				ー太郎10·花子10パック & 1-2-3 2000モデル:約1,400MB			
				(搭載するメモリの容量により	異なります)		
		CD-ROM <b>ドライブ</b>	,	内蔵 最大40倍速			
		CD-RW <b>ドライブ</b>		内蔵 読み込み:CD-ROM/C	CD-R <b>は最大</b> 24倍速、CD-	-RW <b>は最大</b> 8倍速	
				書き込み:CD-Rは最大	4 <b>倍速、</b> CD-RW <b>は</b> 2倍速		

機種名			MA60J/C	MA55J/C	MA50J/C	
インタ	ディン	スプレイ				
フェース		アナログRGB	アナログRGBセパレート信号出力(75 アナログインタフェース)、ミニD-sub15ピン			
		<b>デジタル</b> RGB	デジタルフラットパネル信号出力(TMDS), DFP20ピン			
	シリフ	PJV	最大115.200bps、D-sub9ピノ			
	パラ					
	USB	1	2 本体正面×1.本体背面×1)			
	サウ	ンド関連		,		
		λ <i>b</i>	マイク入力:モノラル	、ミニジャック、供給電源2.	.5V、マイク出力インピーダンス600、	
			マイク感度:48db			
			マイン 波波 (4000) ライン 入力: ステレオ、ミニジャック、入力インビーダンス10K、入力レベル最大2Vrms。			
			ゲイン-6db			
		出力	ヘッドホン出力:ステレ	オ、ミニジャック、出力レベル最大	大500mVrms( 負荷インピーダンス33 )	
			ライン出力:ステレオ、ミ	ニジャック、出力レベル最大1)	/rms(自荷インピーダンス47K)	
	诵信		212 11/11/12/11			
	~		R 145( 100 BASE TX /	10BASET ) AN <b>ገአሳላ ሀ</b> ቸ	ートパワーオン機能	
		<b>FAXモデムボード</b>	雷話回線田モジュラ-	.m. ・コネクタ 雷託機田モジュラー・		
	λ <del>1</del>		電相国際用しノユノ			
	100			B コネクタに 逆続 マウフトキー	ポードに接続	
			キーホートは、本体USBコインダに接続、マリスはキーホートに接続			
			-			
		D3B98記列ーー小ー1- DS/2 100キーボード	キーボードは 木休PS/2接続キーボードコネクタに接続 マウスはPS/2接続マウスコネクタに接続			
PCIZOWH	空き	1	220% ハーフサイズッ2 101 (SCS) ククフェースボード塔載時はハーフサイズッ1 ハーフサ			
	±0.	1	イズ×1(1)/(ハンジースペン222)(0001)シシンゴン(ハートロシー(ロースパー)) イズ×1(1)// SCSIイン/タフェースボード Wide対応)で占有済) Y 1 1			
ファイルペイ	3 57	しべれ 空き 1	1スロッド(フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブで占有済)[0]			
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	内蔵	<u>= 、 「 エこ 」</u> i3 5 刑 <b>ペイ</b> 空き 1	120%ト(檀準ハード)	イスクドライブで占有済ての1		
	5刑/	·····································		<u>ヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽ</u>	5 有済 1 0 1	
カレンダ時期	<u> </u>	· [[ _ C ]	「「「「「「「」」」、「「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」			
カキュリティ/	運田	管理繼能	Intel <sup>®</sup> LANDesk <sup>®</sup> Client Manager 6.0 with NEC Extensions ), <sup>r</sup> pcAnywhere 9.0 EX			
マネジメント	2/13		TCvberAccess, 標準添付			
(ホンハン) 機能	陪审	管理機能	SMART機能 温度監視 雷圧監視 CPII·言语ファン監視 OFF state Alert II機能			
INC DC	771	コリティ機能	3MARI ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (			
搢谙条件	雷源					
AR -36 35 IT	追渡	度多性	10~35 20~80%	但に結常しないこと)	~	
消費電力	本休	這進進機成時	10 33 、20 00 M( 約31W( 最大 60W)	にし 相違しない にこう		
	省雷		約19W以下			
	目电力時		RX + 0.014	<b>R区分</b> 0.016		
外形寸法	사망가는 추산		305( H )x 320( D )x	(W)mm(ゴム足 空起部除	<u>در</u>	
5170 512 <b>4</b> #		316(H)× 320(D)×	155(W)mm(スタピライザ)縦1	11.2 (前田時)		
	±_#_k					
	· ·	USB109 <b>キーボード</b>	39(H) × 178(D) × 4	71 <b>(</b> W)mm		
		USB小型キーボード	40(H) × 178(D) × 3	70(W)mm		
USB			39(H) × 178(D) × 4	71(W)mm		
		PS/2 100=-#-K	32(H) × 1/3(U) × 4/1(W) mm			
「「「」	木休	10/21001 101	<b>\$1</b> 69Kg			
<b>^</b>	===	ポード	maolony			
			<b>約</b> 1.2Kg			
		USB小型 <b>キーボード</b>	<b>\$</b> 110Ka			
			<b>40</b> 12Ka			
			mu1.2Ng			
PS/2 109 <b>年一ホード</b>		m.0000g				

4 付 録



## MA46H/C、MA46H/Z本体機能仕樣

機種名				MA46H/C MA46H/Z(NetPCモデル)				
CPU				Intel®Celeron™プロセッサ( 466MHz )				
	内蔵キャッシュメモリ 一次		一次	32KB				
			二次	128KB				
	システムバス			66MHz(メモリバス:100MHz)				
メモリ	BIOS ROM( Flash ROM ) メインRAM ビデオRAM			512KB、プラグ&プレイ対応				
				最大512MB DIMMスロット×2				
				メインRAMと共有して使用(メインRAMから10~	- 13MB <b>占有)</b>			
表示機能	ウイン	ドウアクセラレータ		Intel <sup>®</sup> 810 Chipset <b>に内蔵(</b> AGP <b>相当、</b> DVMア	?ーキテクチャ採用)			
	グラフ	イック表示		640×480 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>				
				800×600 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>				
				1,024×768 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>				
				1,280×1,024 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>				
				1,600×1,200 <b>ドット 最大</b> 256色				
				(使用するディスプレイにより表示解像度は異な	ります)			
サウンド機能	E .			YAMAHA社製YMF752搭載 PCM録音再会	<b>と機能内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、</b>			
				サンプリングレート 8~48KHz),全二重対応(	モノラル、量子化8ビット時 )、内蔵モノラルスピ			
				一力装備				
補助記憶	フロッ	ピーディスクドライフ	または	3.5型フロッピーディスクドライブ(3モード対応)				
装置	スーノ	ペーディスクドライブ	,	×1、またはスーパーディスクドライブ(4モード対				
				応)×1				
	ハート	ディスクドライブ		UltraATA <b>対応、</b> SMART機能対応				
	[	出荷時ソフトウェア	占有量	アプリケーションなしモデル:約720MB				
				Office 2000 Personal <b>モデル:約</b> 1,100MB				
				Office 2000 Professional <b>モデル:約</b> 1,150MB				
				ー太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000モデル:約1,400MB				
				(搭載するメモリの容量により異なります)				
	光ディ	スク関連						
		CD-ROM <b>ドライブ</b>		内蔵 最大40倍速				
		CD-RW <b>ドライブ</b>		内蔵 読み込み:CD-ROM/CD-Rは最大24				
				倍速、CD-RWは最大8倍速				
				書き込み:CD-Rは最大4倍速、CD-RWは2倍速				
インタ	ディス	プレイ						
フェース		<b>アナログ</b> RGB		アナログRGBセパレート信号出力(75 アナログ	インタフェース)ミニD-sub15ピン			
		<b>デジタル</b> RGB		デジタルフラットバネル信号出力(TMDS)、DFP20ピン				
	シリア	าเ		最大115,200bps、D-sub9ピン				
	パラレ	<b>J</b> L		D-sub25				
	USB			2(本体正面×1、本体背面×1)				
	+	<b>/</b> ·関連						
		入力		マイク入力:モノラル、ミニジャック、供給電	<b>源</b> 2.5V、 <b>マイク出力インピーダンス</b> 600 、			
				<b>マイク感度</b> -48db				
				ライン入力:ステレオ、ミニジャック、入力イン	<b>ピーダンス</b> 10K 、入力レベル最大2Vrms、			
				<b>ゲイン</b> -6db				
		出力		ヘッドホン出力:ステレオ、ミニジャック、出力レベ	<b>ル最大</b> 500mVrms(負荷インピーダンス33)			
				ライン出力:ステレオ、ミニジャック、出力レベル最大1Vrms(負荷インビーダンス47K))				
	通信	関連						
		LAN <b>ボード</b>		RJ45(100BASE-TX/10BASE-T )LANコネクタ	、リモートパワーオン機能			
		FAX <b>モデムボード</b>	:	電話回線用モジュラーコネクタ、電話機用モジ				
				ュラーコネクタ				

機種名			MA46H/C	MA46H/Z(NetPCモデル)		
インタ	入力	]関連				
フェース		USB109 <b>キーボード</b>	キーボードは、本体USBコネクタに接続、マウスはキーボードに接続			
		USB <b>小型キーボード</b>				
		USB98 <b>配列キーボード</b>				
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	キーボードは、本体PS/2接続キーボードコネクタ	こ接続、マウスはPS/2接続マウスコネクタに接続		
	保守	明FDD <b>コネクタ</b>		管理者用外付けFDドライブを接続		
PCI <b>ZDyH</b>	[空き	]	2スロット(ハーフサイズ×2)[2](SCSIインタフェ	2スロット(ハーフサイズ×1、ハーフサイズ×1		
			ースボード搭載時は、ハーフサイズ×1、ハーフサイ	(保守用FDDコネクタで占有済)[1]		
			ズ×1(Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)			
			で占有済)[1]			
ファイルペイ	3.5	월ベイ[空き]	1スロット(フロッピーディスクドライブまたはスーパー			
			ディスクドライブで占有済 【0]			
	内蔵	i3.5型べれ空き]	1スロット(標準ハードディスクドライブで占有済)	0]		
	5型	べれ 空き]	1.70% CD-ROMF7778764CD-RWF7			
			イプで占有済 [0]			
カレンダ時言	ŧ		電池によるパックアップ			
セキュリティ/	運用	管理機能	<sup>r</sup> Intel <sup>®</sup> LANDesk <sup>®</sup> Client Manager 6.0( with NEC Extensions ), <sup>r</sup> pcAnywhere 9.0 EX,			
マネジメント			「CyberAccess」標準添付			
機能	障害	<b>F管理機能</b>	SMART機能、温度監視、電圧監視、CPU・電源ファン監視			
	セキ	ュリティ機能	スーパパイザパスワード、ユーザパスワード、筐体	ロック、ルーフカバーオープン検知		
環境条件	電源	Į	AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーオフ対応			
	温湿	夏条件	10~35 、20~80%(但し結露しないこと)			
消費電力	本体	<b>⊾標準構成時</b>	約29W(最大58W)	約28W(最大57W)		
	省電	力時	約19W以下			
	エネ	ルギー消費効率	R区分 0.035	R区分 0.033		
外形寸法	本体	2	305(H)×320(D)×86(W)mm(ゴム足、突起	2部除く)、		
			316(H)×320(D)×155(W)mm(スタビライザ(縦置き台)使用時)			
	+-	ボード				
		USB109 <b>キーボード</b>	39(H)×178(D)×471(W)mm			
		USB <b>小型キーボード</b>	40(H)×178(D)×370(W)mm			
		USB98 <b>配列キーボード</b>	39(H)×178(D)×471(W)mm			
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	32(H)×163(D)×467(W)mm			
質量	本体	2	<b>約</b> 6.8Kg	5.7Kg		
	キーボード					
		USB109 <b>キーボード</b>	<b>約</b> 1.2Kg			
		USB <b>小型キーボード</b>	<b>約</b> 1.0Kg			
		USB98 <b>配列キーボード</b>	<b>約</b> 1.2Kg			
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	<b>約</b> 650g			



機種名				MA46H/L				
CPU				Intel <sup>®</sup> Celeron™ <b>プロセッサ(</b> 466MHz <b>)</b>				
	内蔵キャッシュメモリ 一次		一次	32KB				
			二次	128KB				
	システムバス			66MHz(メモリバス:100MHz)				
メモリ	BIO	S ROM <b>(</b> Flash R	(мс	512KB、プラグ&プレイ対応				
	۲ ۲ ۲ ۲			最大512MB DIMM <b>スロット</b> ×2				
	ビデ	<b>才</b> RAM		メインRAMと共有して使用(メインRAMから10~13MB占有)				
表示機能	ウイン	パウアクセラレータ		Intel <sup>®</sup> 810 Chipset <b>に内蔵</b> (AGP <b>相当、</b> DVM <b>アーキテクチャ採用)</b>				
	グラコ	フィック表示		640×480 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>				
				800×600 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>				
				1,024×768 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>				
				1,280×1,024 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>				
				1,600×1,200 <b>ドット 最大</b> 256色				
				(使用するディスプレイにより表示解像度は異なります)				
サウンド機能				YAMAHA社製YMF752搭載 PCM録音再生機能内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、				
				サンプリングレート 8~48KHz)全二重対応(モノラル、量子化8ビット時)内蔵モノラルスピ				
				一力装備				
補助記憶	70:	ッピーディスクドライ	ナ	3.5型フロッピーディスクドライブ(3モード対応)×1、またはスーパーディスクドライブ(4モード対応)				
装置	また	はスーパーディスク	ドライブ	×1				
	ハー	ドディスクドライブ		UltraATA <b>対応</b>				
		出荷時ソフトウェア	'占有量	アプリケーションなしモデル:約720MB				
				Office 2000 Personal <b>モデル:約</b> 1,100MB				
				Office 2000 Professional <b>モデル:約</b> 1,150MB				
				ー太郎10•花子10 <b>パック</b> & 1-2-3 2000モデル:約1,400MB				
				(搭載するメモリの容量により異なります)				
	光デ	ィスク関連						
		CD-ROM <b>ויקרל</b> CD-RW <b>ויקרל</b>		内蔵 最大40倍速				
				内蔵 読み込み:CD-ROM/CD-Rは最大24倍速、CD-RWは最大8倍速				
				書き込み:CD-Rは最大4倍速、CD-RWは2倍速				
インタ	ディス	スプレイ						
フェース		<b>アナログ</b> RGB		アナログRGBセパレート信号出力(75 アナログインタフェース)、ミニD-sub15ピン				
		<b>デジタル</b> RGB		デジタルフラットパネル信号出力(TMDS), DFP20ピン				
	シリフ	PJV		最大115,200bps、D-sub9ピン				
	パラ	L11		D-sub25				
	USB	3		2(本体正面×1、本体背面×1)				
	サウ	ンド関連						
		入力		マイク入力:モノラル、ミニジャック、供給電源2.5V、マイク出力インピーダンス600、				
				<b>マイク感度</b> -48db				
				ライン入力:ステレオ、ミニジャック、入力インピーダンス10K、入力レベル最大2Vrms、				
				<b>ゲイン</b> -6db				
		出力		ヘッドホン出力:ステレオ、ミニジャック、出力レベル最大500mVrms(負荷インビーダンス33)				
				ライン出力:ステレオ、ミニジャック、出力レベル最大1Vrms(負荷インピーダンス47K)				
	通信	[関連						
		LAN <b>ボード</b>		RJ45(100BASE-TX/10BASE-T )LANコネクタ、リモートパワーオン機能				
		FAX <b>モデムボー</b> ト	:	電話回線用モジュラーコネクタ、電話機用モジュラーコネクタ				
	通信関連 LAN <b>ボード</b> FAX <b>モデムボード</b>		2	RJ45(100BASE-TX/10BASE-T )LANコネクタ、リモートパワーオン機能 電話回線用モジュラーコネクタ、電話機用モジュラーコネクタ				

機種名			MA46H/L			
インタ	入力	関連				
フェース		USB109 <b>キーボード</b>	キーボードは、本体USBコネクタに接続、マウスはキーボードに接続			
		USB <b>小型キーボード</b>				
		USB98 <b>配列キーボード</b>				
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	キーボードは、本体PS/2接続キーボードコネクタに接続、マウスはPS/2接続マウスコネクタに接続			
PCI <b>ZDッH</b>	空き	]	2 <b>スロット(</b> ハーフサイズ×2 】2 ]			
ファイルペイ	3.5₫	뮅べれ[空き]	1スロット(フロッピーディスクトライプまたはスーパーディスクトライプで占有済 10]			
	内蔵	3.5型べ <b>( 空き ]</b>	1スロット(標準ハードディスクドライブで占有済)[0]			
	5型	べれ[空き]	1 <b>スロット(</b> CD-ROM <b>ドライブまたは</b> CD-RW <b>ドライブで占有済 】</b> 0]			
カレンダ時計	ŀ		電池によるバックアップ			
セキュリティ/	運用	管理機能	「CyberAccess」標準添付			
マネジメント	障害	管理機能				
機能	セキ	ュリティ機能	スーパパイザパスワード、ユーザパスワード、筐体ロック			
環境条件	電源		AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーオフ対応			
	温湿	度条件	10~35、20~80%(但し結露しないこと)			
消費電力	本体	:標準構成時	約29W(最大58W)			
	省電力時		約19W以下			
	エネ	ルギー消費効率	R <b>区分</b> 0.037			
外形寸法	本体	:	305(H)×320(D)×86(W)mm(ゴム足、突起部除く)、			
			316(H)×320(D)×155(W)mm(スタビライザ(縦置き台)使用時)			
	+-:	ボード				
		USB109 <b>キーボード</b>	39( H )×178( D )×471( W )mm			
		USB <b>小型キーボード</b>	40( H )×178( D )×370( W )mm			
		USB98 <b>配列キーボード</b>	39( H )×178( D )×471( W )mm			
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	32( H )×163( D )×467( W )mm			
質量	本体		<b>約</b> 6.8Kg			
	キーボード					
		USB109 <b>キーボード</b>	<b>約</b> 1.2Kg			
		USB <b>小型キーボード</b>	<b>約</b> 1.0Kg			
		USB98 <b>配列キーボード</b>	約1.2Kg			
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	<b>約</b> 650g			



# MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S本体機能仕樣

機種名				MA7	0 J / S	MA55J/S	MA50J/S	
CPU	J CPU <b>種別</b>		Intel®	Pentium®III <b>プロセッサ</b>				
	クロック周波数		700 M I	Hz	550MHz	500MHz		
	内蔵	キャッシュメモリ	一次	32KB		•		
			二次	256KE	3	512KB		
	システムバス		100M	Hz <b>( メモリバス:</b> 100MH:	z)			
メモリ	вю	S ROM <b>(</b> Flash R	ОМ <b>)</b>	512KE	3、プラグ&プレイ対応			
	X1.	RAM		ECC機能対応 最大512MB DIMMスロット×2				
	ビデ	<b>才</b> RAM		8MB(SDRAM)				
表示機能	ウル	ドウアクセラレータ		S3社集	¥Savage4™ PRO搭載	(AGP <b>対応)</b>		
	グラ	フィック表示		640×480 <b>ドット 最大</b> 1,677万色				
				800×600 <b>ドット 最大</b> 1,677万色				
				1,02	4×768 <b>ドット 最大</b> 1,67	7万色		
				1,280	×1,024 <b>ドット 最大</b> 1,67	7万色		
				1,600	×1,200 <b>ドット 最大</b> 1,67	7万色		
				(使用するディスプレイにより表示解像度は異なります)				
サウンド機能				YAMA	HA社製YMF740C搭載	式 PCM 録音再生機能	能内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、	
				サンプ	<b>リングレート</b> 5~48KH	z ),全二重対応(モノラ	ラル、量子化8ビット時)、内蔵モノラルスピ	
				一力装備				
補助記憶	יםכ	ッピーディスクドライス	プ	3.5型フロッピーディスクドライブ(3モード対応)×1				
装置	ハー	ドディスクドライブ		UltraATA <b>対応、</b> SMART機能対応				
		出荷時ソフトウェア	占有量	アプリケーションなしモデル:約720MB				
				Office 2000 Personal <b>モデル:約</b> 1,100MB				
				Office 2000 Professionalモデル:約1,150MB				
				一太郎10·花子10バック& 1-2-3 2000モデル:約1,400MB				
				(搭載するメモリの容量により異なります)				
	光ディスク関連							
		CD-ROM <b>เริว</b> ไว้	*	内蔵	<b>最大</b> 40倍速			
		CD-RW <b>ドライブ</b>		内蔵 読み込み:CD-ROM/CD-Rは最大24倍速、CD-RWは最大8倍速				
				書き込み:CD-Rは最大4倍速、CD-RWは2倍速				
129	ディス	スプレイ						
フェース		<b>アナログ</b> RGB		アナログRGBセパレート信号出力(75 アナログインタフェース)、ミニD-sub15ピン				
	<b>รีวัรม</b> RGB			デジタ	ルフラットパネル信号出	h(TMDS), DFP20	א	
	シリフ	PJL						
		コネクタ1		■ 最大115,200bps、D-sub9ピン				
		コネクタ2		最大115,200bps、D-sub9ピン				
	バラ							
	USE			2( 本体正面×1、本体背面×1 )				
	סידין.	ンド関連						
		<b>^</b>		<b>1</b> 7	人力:モノラル、ミニシ	ヤック、供給電源2.	50、マイク出力インヒータンス600 、	
				マイク感度-48db				
				<b>ライン入力:ステレオ、ミニジャック、入力インビーダンス</b> 10K 、入力レベル最大2Vrms、				
				<b>ゲイン</b> -6db				
		出力		ラインと	コノリ:ステレオ、ミニジャッ	ジ、出刀レベル最大1	rms( <b>貝何1ンヒータンス</b> 47K )	
	遺信			DUE	1000 A OF TV////		المراقب المراقب	
		100BASE-1X/10E	SASE- L	RJ45(	100BASE-IX/10BASE	JLAN <b>3</b> 79, JE	ートハリーオン機能、	
		LAN <b>コネクタ</b>			OFF state Alert II機能			
	FAX <b>モデムボード</b>		電詰回	縁用モジュラーコネクタ	、電詰機用モジュラーコ	ነ <b>ጙ</b> 79		

機種名			MA70J/S	MA55J/S	MA50J/S		
インタ	入力	]関連					
フェース		USB109 <b>キーボード</b>	キーボードは、本体USBコネクタに接続、マウスはキーボードに接続				
		USB <b>小型キーボード</b>	1				
		USB98 <b>配列キーボード</b>					
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	<b>キーボードは、本体</b> PS/2接続キ	-ーポードコネクタに接続、マウスは	tPS/2 <b>接続マウスコネクタに接続</b>		
PCI <b>ZDyH</b>	空き	]	3 <b>スロット( フルサイズ × 3(</b> FAX	<b>モデムボードで占有あり))[</b> 3]or	[2](SCSI <b>12971-7ボード</b>		
			搭載時はフルサイズ×2(Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)で占有済)				
			フルサイズ×1(FAXモデムポードで占有あり)】2 ]or[ 1 ]				
AGP <b>スロット</b>	[ 空き	*]	1スロット(ウィンドウアクセラレー	9ポードで占有済 [0]			
ファイルベイ	3.5₫	월ベイ[空き]	1スロット(フロッピーディスクドラ	イブで占有済 [0]			
	内蔵	【3.5型べれ[空き]	2スロット(標準ハードディスクド	ライブで1スロットで占有済)[1]	(増設ハードディスク搭載時は2		
			スロット占有済 [0]				
	5型·	べれ[空き]	2 <b>スロット(</b> CD-ROM <b>ドライブま</b> /	<b>とは</b> CD-RW <b>ドライブで1スロット</b> 占	有済)[1](Zip <b>ドライブまたはス</b>		
			ーパーディスクドライブ搭載時に	【2スロット占有済】[0]			
カレンダ時言	ł		電池によるパックアップ				
セキュリティ	運用	<b>]</b> 管理機能	Intel <sup>®</sup> LANDesk <sup>®</sup> Client Manager 6.0(with NEC Extensions) JrpcAnywhere 9.0 EX				
マネジメント			CyberAccess」標準添付				
機能	障害	f管埋機能	SMARI機能、温度監視、電圧監視、CPU・電源プアン監視、ECC機能、OFF state Alert II機能				
	セキ	ュリティ機能	スーパパイサパスワード、ユーザパスワード、産体ロック、ルーフガバーオーノン検知				
<b>塤</b> 境杀仵	電源						
***	温湿	2 度条件 - 振荡機構 かけ	10~35、20~80%(但し結正	~35、20~80%(但し結審しないこと)			
消貨電刀	本14	▲標準構成時 	約32W(最大165W) 約34W(最大165W)				
	省電		約16W以下	約17W以下			
	エネ	ルキー消費効率	R区分 0.010	R区分 0.013	R <b>区分</b> 0.014		
外形寸法	本14		139.5( H )×394( D )×430( V	/ <b>)</b> mm			
	+-						
	USB109 <b>キーボード</b> USB <b>小型キーボード</b>		39(H)×178(D)×4/1(W)mm				
			40( H) x 178( D) x 370( W)mm				
			39(H)×178(D)×471(W)	nm			
后里	PS/2 109 <b>千一水一ド</b>		32(H)×163(D)×467(W)mm				
東重			#19.2Kg				
			<b>%</b> 11.2Ka				
			#10Ka				
			11.01\g				
			#101.2∩g				
		P3/2 109+-M-F	Breaks				



# MA46H/S本体機能仕樣

機種名					MA46H/S				
CPU					Intel <sup>®</sup> Celeron™ <b>プロセッサ(</b> 466MHz <b>)</b>				
	内蔵キャッシュ		キャッシュメモリ 一次		32KB				
					128KB				
	システムバス				66MHz(メモリバス:100MHz)				
メモリ	BIOS ROM( Flash ROM )				512KB、 <b>プラグ&amp;プレイ対応</b>				
X12RAM					最大256MB DIMM <b>スロット</b> ×2				
	ビデス	<b>T</b> RAM			メインRAMと共有して使用(メインRAMから10~13MB占有)				
表示機能	ウィン	ドウアクセラ	シータ		Intel <sup>®</sup> 810 Chipset <b>に内蔵(</b> AGP <b>相当、</b> DVM <b>アーキテクチャ採用 )</b>				
	グラフ	フィック表示			640×480 <b>ドット 最大</b> 1,677万色				
					800×600 <b>ドット 最大</b> 1,677万色				
					1,024×768 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>				
					1,280×1,024 <b>ドット 最大</b> 1,677万色				
					1,600×1,200 <b>ドット 最大</b> 256色				
					(使用するディスプレイにより表示解像度は異なります)				
サウンド機能	۱				PCM録音再生機能内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート				
	-				7~48KHz )、全二重対応、ソフトウェアサウンド機能				
補助記憶	フロッ	ピーディスク	フドライ:	1	3.5型フロッピーディスクドライブ(3モード対応)×1				
装置	<u>ハー</u>	・ディスクドラ	って		UltraATA <b>対応</b> 、SMART機能対応				
	[	出荷時ソフ	トウェア	沾有量	アプリケーションなしモデル:約720MB				
					Office 2000 Personal <b>モデル:約</b> 1,100MB				
					Office 2000 Professionalモデル:約1,150MB				
					ー太郎10·花子10パック & 1-2-3 2000モデル:約1,400MB				
					(搭載するメモリの容量により異なります)				
	光デ	ィスク関連							
	[	CD-ROM	CD-ROM <b>F517</b>		内蔵 最大40倍速				
	CD-RW <b>F717</b>			内蔵 読み込み:CD-ROM/CD-Rは最大24倍速、CD-RWは最大8倍速					
					書き込み:CD-Rは最大4倍速、CD-RWは2倍速				
インタ	ディス	プレイ							
フェース	]	<b>アナログ</b> R	GB		アナログRGBセパレート信号出力(75 アナログインタフェース)、ミニD-sub15ピン				
		デジタルR	GB		デジタルフラットパネル信号出力(TMDS) DFP20ピン				
	シリア	7ル			最大115.200bps、D-sub9ビン				
	パラレ	<i>/l</i> /			D-sub25				
	MID	I/Joystic			D-sub15ピン				
	USB	,			2(本体正面×1、本体背面×1)				
	サウン	パ関連	λ :	<u></u>	マイク入力:モノラル、ミニジャック、供給電源2.5V、マイク出力インピーダンス600、				
					マイク感度-48db				
					ライン入力:ステレオ、ミニジャック、入力インピーダンス10K 、入力レベル最大2Vrms、				
					<b>ゲイン</b> -6db				
			出 :	<u></u> л	ライン出力:ステレオ、ミニジャック、出力レベル最大1Vrms(負荷インビーダンス47K)				
	通信	関連							
	LAN <b>ボード</b> FAXモデムボード 入力関連				RJ45(100BASE-TX/10BASE-T)LANコネクタ、リモートパワーオン機能				
				:	電話回線用モジュラーコネクタ、電話機用モジュラーコネクタ				
	USB109 <b>=-#</b> - <b>K</b>		۰۴	キーボードは、本体USBコネクタに接続、マウスはキーボードに接続					
		USB小型キーボード		-ド					
	USB98配列キーボード		<u>しいSR98配列キーボード</u>						
		PS/2 109	キーボ・	-ド					
	P5/2109+-M-P			1					

機種名			MA46H/S
PCI <b>ZDył</b>	空き	]	3スロット(フルサイズ×2、ハーフサイズ×1(LANボートまたはFAXモデムボードで占有済))[2]、
			(SCSIインタフェースボード搭載時はフルサイズ×1、ハーフサイズ×1(Ultra SCSIインタフェースボ
			ード(Wide対応)で占有済),ハーフサイズ×1(LANボードまたはFAXモデムボードで占有済))[1]
ファイルベイ	3.5₫	켙ベイ[空き]	1スロット(フロッピーディスクドライブで占有済 )[0]
	内蔵	3.5型べ <b>( 空き ]</b>	2スロット(ハードディスクドライブで1スロット占有済)[1]、(増設ハードディスク搭載時は2スロット
			占有済 [[0]
	5型/	べれ[空き]	2 <b>スロット(</b> CD-ROM <b>ドライブまたは</b> CD-RW <b>ドライブで1スロット</b> 占有済 ) 1 ] ( Zip <b>ドライブまたはス</b>
			ーパーディスクドライブ搭載時は2スロット占有済 <u>(</u> 0]
カレンダ時計	ł		電池によるバックアップ
セキュリティ/	運用	管理機能	<sup>r</sup> Intel <sup>®</sup> LANDesk <sup>®</sup> Client Manager 6.0( with NEC Extensions ), <sup>r</sup> pcAnywhere 9.0 EX,
マネジメント			「CyberAccess」標準添付
機能	障害	管理機能	SMART機能、温度監視、電圧監視、CPUファン監視
	セキ	ュリティ機能	スーパパイザパスワード、ユーザパスワード、筐体ロック、ルーフカパーオープン検知
環境条件	電源	I	AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーオフ対応
	温湿	度条件	10~35、20~80%(但し結露しないこと)
消費電力	本体標準構成時		約45W(最大165W)
	省電力時		約22W以下
	エネ	ルギー消費効率	R <b>区分</b> 0.041
外形寸法	本体		139.5( H )×394( D )×430( W )mm
	+-:	ボード	
		USB109 <b>キーボード</b>	39( H )×178( D )×471( W )mm
		USB <b>小型キーボード</b>	40( H )×178( D )×370( W )mm
		USB98 <b>配列キーボード</b>	39(H)×178(D)×471(W)mm
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	32( H )×163( D )×467( W )mm
質量	本体		<b>約</b> 9.0Kg
	キーボード		
		USB109 <b>キーボード</b>	<b>約</b> 1.2Kg
		USB <b>小型キーボード</b>	約1.0Kg
		USB98 <b>配列キーボード</b>	約1.2Kg
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	<b>約</b> 650g

4 付 録



## MA60J/M、MA50J/M本体機能仕樣

機種名	名				MA60J/M	MA50J/M	
CPU	CPL	種別			Intel®Pentium®IIIプロセッサ		
	クロ	ック周波数			600MHz	500MHz	
	内蔵	ミャッシュメ	モリ	一次	32KB		
				二次	512KB		
	システムバス				100MHz(メモリバス:100MHz)		
メモリ	BIO	S ROM( Fla	ash R(	ОМ <b>)</b>	512KB、プラグ&プレイ対応		
	<b>ЖТУ</b> RAM				ECC機能対応 最大768MB DIMMスロット×3		
	ビデ	<b>才</b> RAM			8MB(SDRAM)		
表示機能	ウル	バウアクセラ	レータ		S3 <b>社製</b> Savage4 <sup>™</sup> PRO <b>搭載(</b> AGP <b>対応 )</b>		
	グラ	フィック表示			640×480 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>		
					800×600 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>		
					1,024×768 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>		
					1,280×1,024 <b>ドット 最大</b> 1,677 <b>万色</b>		
					1,600×1,200 <b>ドット 最大</b> 1,677万色		
					(使用するディスプレイにより表示解像度は異な	ります)	
サウンド機能					YAMAHA社製YMF740C搭載 PCM録音再	生機能内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、	
					サンプリングレート 5~48KHz)、全二重対応(	(モノラル、量子化8ビット時)、内蔵モノラルスピ	
					一力装備		
補助記憶	70	ッピーディスク	パライ	1	3.5型フロッピーディスクドライブ(3モード対応)×	1	
装置	ハー	ドディスクドラ	イプ		UltraATA <b>対応、</b> SMART機能対応		
		出荷時ソフ	トウェア	占有量	アプリケーションなしモデル:約720MB		
					Office 2000 Personalモデル:約1,100MB		
					Office 2000 Professionalモデル:約1,150MB		
					ー太郎10•花子10 <b>パック</b> & 1-2-3 2000モデル:約1,400MB		
					(搭載するメモリの容量により異なります)		
	光ディスク関連						
		CD-ROM			内蔵 最大40倍速		
	CD-RW <b>F517</b>				内蔵 読み込み:CD-ROM/CD-Rは最大24倍速、CD-RWは最大8倍速		
					<b>書き込み:</b> CD-Rは最大4倍速、CD-RW	ま2倍速	
129	ディン	スプレイ					
フェース		<b>アナログ</b> RC	GB		アナログRGBセバレート信号出力(75 アナログインタフェース)、ミニD-sub15ビン		
	<b>デジタル</b> RGB				デジタルフラットバネル信号出力(TMDS),DF	P20	
	シリ	<b>P</b> JV					
		37791			最大115,200bps、D-sub9ピン		
		コネクタ2			最大115,200bps、D-sub9ビン		
					D-sub25		
	USE	3			2(本体止面×1、本体背面×1)		
	סידין	ンド関連	<b>^</b> :	מ	マイク入力:モノフル、ミニシャック、供給電	1.源2.57、マイク出力インヒータンス600 、	
				マイク感度-480D			
				ライン入力:ステレオ、ミニジャック、入力インピーダンス10K 、入力レベル最大2Vrms、			
				-			
	1 <b>7</b> /		щ	U I	フコノ田川:人テレオ、ミーンヤック、田川レベル最大	,1vrms( 貝何1ンビーツン人4/K )	
	世信						
						、リモードハンニオン機能、	
			، د		UFF state Aleft II 依肥 毎年回始日本パーニーコンクタ 電気学日本パー		
			シバード		电祜山縁用センユフーコネクタ、電話機用モジュ	コフーコインツ	
機種名			MA60J/M	MA50J/M			
-----------------------	---	-----------------------	---	--------------------------	--		
インタ 入力関連		関連					
フェース	USB109 <b>キーボード</b>		キーボードは、本体USBコネクタに接続、マウスは	はキーボードに接続			
		USB <b>小型キーボード</b>					
		USB98 <b>配列キーボード</b>					
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	キーボードは、本体PS/2接続キーボードコネクタ	こ接続、マウスはPS/2接続マウスコネクタに接続			
PCI <b>スロット[ 空き ]</b>		]	5スロット(フルサイズ×4、ハーフサイズ×1(LANボードまたはFAXモデムボードで占有済)】4]、				
			(SCSIインタフェースボード搭載時はフルサイズ×3、ハーフサイズ×1(Ultra SCSIインタフェースボ				
			ー代 Wide対応 )で占有済 )、ハーフサイズ×1(LANボートまたはFAXモデムボードで占有済 )】3]				
AGP <b>スロット[ 空き ]</b>			1スロット(ウインドウアクセラレータボードで占有済 )[0]				
ファイルベイ	イルベイ 3.5型ベイ[空き]		1スロット(フロッピーディスクドライブで占有済)[0]				
	内蔵3.5型べれ空き]		2スロット(標準ハードディスクドライブで1スロット占有済)(1)(増設ハードディスクドライブ搭載				
			時は2スロット占有済】[0]				
	5型ベイ[空き]		3スロット( CD-ROMまたはCD-RWドライブで1スロット占有済 ) 2 ] ( Zipドライブまたはスーパー				
			ディスクドライブ搭載時は2スロット占有済)[1]				
カレンダ時計			電池によるパックアップ				
セキュリティ	運用管理機能		Intel <sup>®</sup> LANDesk <sup>®</sup> Client Manager 6.0( with NEC Extensions ) pcAnywhere 9.0 EX				
マネジメント			「CyberAccess」標準添付				
機能	障害管理機能		SMART機能、温度監視、電圧監視、CPU・電源ファン監視、ECC機能、OFF state Alert II機能				
19 法 夕 //-	セキュリティ機能		スーパパイザパスワード、ユーザパスワード、筐体ロック、ルーフカバーオーフン検知				
填現余件	電源		AC100V±10%、50/60HZ、90PJエアパリース	17X916			
消费费力	温湿度条件		10~35、20~80%0(100結踊しないこと)				
府員電力	▲ 44 小学生 中 44 学生 中 45 学生						
	日間	山北二省春林家		P <b>V</b> 0.014			
从形式注	*	パーパリスが平	452(H) × 440(D) × 211(W) mm	0.014			
7177 J 74	44 ±-	、 ポード					
	<b>.</b> .		39(H) × 178(D) × 471(W) mm				
		USB小型キーボード	$40(H) \times 178(D) \times 370(W) mm$				
		USB98配列キーボード	39(H) × 178(D) × 471(W)mm				
		PS/2 109 <b>=-ボード</b>	32(H)×163(D)×467(W)mm				
質量	本体		約16.1Kg				
+-7		ボード					
		USB109 <b>キーボード</b>	約1.2Kg				
		USB <b>小型キーボード</b>	約1.0Kg				
		USB98 <b>配列キーボード</b>	約1.2Kg				
		PS/2 109 <b>キーボード</b>	<b>約</b> 650g				

#### LAN**ボード機能仕様**

ネットワーク形態	スター型ネットワーク	
伝送速度	100BASE-TX <b>使用時</b> :100Mbps	
	10BASE-T <b>使用時</b> :10Mbps	
伝送路	100BASE-TX <b>使用時</b> :UTP <b>カテゴリ</b> 5	
	10BASE-T <b>使用時</b> :UTP <b>カテゴリ</b> 3,4,5	
信号伝送方式	ペースパンド伝送方式	
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD <b>方式</b>	
ステーション台数	最大1024台/ネットワーク	
ステーション間距離/	100BASE-TX:最大約200m/ステーション間	
ネットワーク経路長 注	10BASE-T:最大約500m/ステーション間	
	最大100m/セグメント	

注 リピータの台数など、条件によって異なります。

### FAXモデムボード機能仕様

	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3 <b>ファクシミリ装置</b>		
	適用回線	加入電話回線		
	同期方式			
	通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps 注		
F	通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2		
â	変調方式	QAM:14400/12000/9600/7200bps		
機能		DPSK:4800/2400bps		
RC		FSK:300bps		
	送信レベル	-10~-15dBm <b>(出荷時</b> -15dBm <b>)</b>		
	受信レベル	-10~-40dBm		
	制御コマンド	EIA-578 <b>拡張</b> AT <b>コマンド(</b> CLASS1 )		
	適用回線	加入電話回線		
	同期方式	全二重調歩同期方式		
	通信速度	送受信:33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/		
		14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps 注		
		<b>受信のみ:</b> 56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/		
		48000/46667/46000/45333/44000/42667/42000/41333/		
		40000/38667/38000/37333/36000/34667/34000/33333/		
		32000/30667/29333/28000bps <b>注</b>		
<del>,</del>	通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21		
	変調方式	TCM: 56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/		
Ę		48000/46667/46000/45333/44000/42667/42000/41333/		
デ		40000/38667/38000/37333/36000/34667/34000/33600/		
機		33333/32000/31200/30667/29333/28800/28000/26400/		
彫		24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps		
		QAM: 9600/7200bps		
		DPSK: 4800/2400/1200bps		
		FSK: 1200/300bps		
	エラー訂正	ITU-T V.42( LAPM )MNP class4		
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5		
	送信レベル	-10~-15dBm <b>( 出荷時</b> -15dBm <b>)</b>		
	受信レベル	-10~-40dBm		
	制御コマンド	HayesAT <b>コマンド準拠</b>		
	適用回線	加入電話回線		
	ダイヤル方式	パルスダイヤル(10/20PPS)		
		<b>トーンダイヤル(</b> DTMF )		
č	NCU形式 注	AA (自動発信 / 自動着信型)		
し機		MA (手動発信/自動着信型)		
能		MM (手動発信 / 手動着信型)		
		AM (自動発信 / 手動着信型)		
	制御コマンド	HayesATコマンド準拠		
		EIA-578 <b>拡張</b> AT <b>コマンド(</b> CLASS1 )		

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

ATコマンド

ATコマンドについては、『ATコマンド』(電子化マニュアル)をご覧ください。

4

# 割り込みレベル・DMAチャネル

#### 工場出荷時の割り込みレベルは、次の通りです。

	割り込みデバイス			
割り込み優先順位	MA60J/C、MA55J/C、 MA50J/C、MA46H/C、 MA46H/Z、MA46H/L	MA70J/S、MA55J/S、 MA50J/S、MA60J/M、 MA50J/M	MA46H/S	
IRQ00	カウンタおよびタイマ			
IRQ01	PS/2 <b>接続キーボード</b>			
IRQ02	割り込みコントローラ			
IRQ03	シリアルポートB			
IRQ04	シリアルポートA			
IRQ05	(空き)		LAN <b>または</b> FAX	
IRQ06	フロッピーディスクドライブ			
IRQ07	パラレルポート			
IRQ08	リアルタイムクロック			
IRQ09	サウンド(シェア)	USB <b>およびサウンド</b> (シェア)	USB	
IRQ10	LAN <b>または</b> FAX		サウンド	
IRQ11	USB	グラフィック		
IRQ12	PS/2 <b>接続マウス</b>			
IRQ13	数値演算コプロセッサ			
IRQ14	<b>プライマリ</b> IDE			
IRQ15	セカンダリIDE			

IRQ03、IRQ04を別のI/O機器に変更する場合は、BIOSのシリアルポートA、 シリアルポートBの設定を変更してIRQ03、IRQ04を解放してください。

参照 「PART2 システム設定」詳細の設定」の「周辺機器設定(P.93) MA46H/Sの 場合は『本機をお使いの方へ』の「Peripheral Setupの設定」

工場出荷時のDMAチャネルの割り当ては、次の通りです。

DMA	データ幅	システムリソース
0	8または16ビット	(空き)
1	8または16ビット	(空き)
2	8または16ビット	フロッピーディスク
3	8または16ビット	(空き)
4		DMA <b>コントローラ</b>
5	16 <b>Ľット</b>	(空き)
6	16 <b>Ľット</b>	(空き)
7	16 <b>Ľット</b>	(空き)

省スペース型のスーパーディスク搭載モデルは、「(空き)」になります。



本機のお手入れは、それぞれ次の要領で行ってください。



- ◆チェック ?? ・水や中性洗剤は、絶対に本体やキーボードに直接かけないでください。故障
  の原因になります。
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しな いでください。本体の外装をいためたり、故障の原因となったりします。

#### マウスのクリーニング

マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪くなります。とくに汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングしてください。ローラーだけクリーニングするときは、4~6の手順は省略してもかまいません。

- 1 本機の電源を切り、マウスのケーブルをキーボードから外す
- 2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させる



3 ボール止めを取り外し、ボールを取り出す



- 4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とす
- 5 水で中性洗剤を洗い落とす
- 6 布で水分をふき取り、風通しの良いところで充分に乾燥させる

7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり 落とす

汚れが落ちないときは、柔らかい歯ブラシなどで汚れを取ります(このとき、歯ブラシに水やはみがき粉などを付けないでください)



8 ボールをマウスに戻す

**9** ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定

● チェック / ・クリーニング中に、マウス内部にゴミが入らないように注意してください。

- ・クリーニングの際にマウスから取り出した部品は、なくさないようにして ください。
  - ・水や中性洗剤は、絶対にマウスに直接かけないでください。故障の原因とな ります。
  - ・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。マウスの外 装をいためたり、故障の原因となったりします。
  - ・ローラーの汚れを取る場合には、絶対に金属ブラシやカッター、ヤスリなどのような硬いものは使用しないでください。ローラーに傷が付き、故障の原因となります。

### スーパーディスクドライブのクリーニング

スーパーディスクドライブでフロッピーディスクを使用していると、 ヘッドが汚れ、読み書き時にエラーが発生する場合があります。万一、ご 使用中にエラーが発生した場合には、スーパーディスクドライブ専用の クリーニングキットを使用してください。

推奨クリーニングキット

**イメーション株式会社製:**LS-120HCL

フロッピーディスクドライブ用のクリーニングディスクなどを使用すると、ヘッドが摩耗し、障害を招く場合がありますのでご注意ください。

4

付録





このマニュアルはエコマーク認定の 再生紙(古紙率:表紙50%、本文 100%)を使用しています。

## 活用ガイド ハードウェア編

# PC98-NX >U-X Mate NX

(Windows NT 4.0インストールモデル)

二版 2000年1月 NEC P

808-877675-130-A2